
**イスラエルにおける競争力強化に資する
スタートアップ投資に関する調査**

～報告書～

2021年4月

**日本貿易振興機構（JETRO）
対日投資部 対日投資課
DX推進チーム**

目次

内容

ページ

目次	P.1
調査対象資料、集計条件	P.3
(1) イスラエルにおけるスタートアップへの投資動向	P.5
(2) 日本企業によるイスラエルにおけるスタートアップへの投資動向	P.24
(3) 海外企業によるイスラエルにおけるスタートアップへの投資動向	P.35
－米国	P.37
－英国	P.46
－ドイツ	P.55
－中国	P.64
－韓国	P.73
(参考) 同一スタートアップに対する複数回に渡る投資分析	P.82
(4) イスラエルへの投資を通じた競争力強化の事例	P.90

本編の概要

<p>(1) イスラエルにおけるスタートアップへの投資動向</p>	<ul style="list-style-type: none">マクロデータを基に、イスラエルのスタートアップ投資市場の全体像を概観。投資件数は2018年をピークに微減の傾向だが、投資金額は2016年以降増加傾向にある。件数の微減は、Seed期のスタートアップへの投資件数の減少が主な要因。
<p>(2) 日本企業によるイスラエルにおけるスタートアップへの投資動向</p>	<ul style="list-style-type: none">日本企業からイスラエルのスタートアップへの投資では、事業会社による投資の割合が多いことが特徴的。投資先のスタートアップの業種は、件数・金額ともにIT&Enterprise Softwareが多いものの、他国の動向と比較すると偏りは少ない。
<p>(3) 海外企業によるイスラエルにおけるスタートアップへの投資動向</p>	<ul style="list-style-type: none">米国企業からイスラエルのスタートアップへの投資では、事業会社を除くVCなどからの投資の割合が75%ほどを占める。事業会社からの投資は、CVC経由が最も多く、スタートアップとの長期的な連携を求める傾向が強い。中国企業からイスラエルのスタートアップへの投資では、イスラエルのスタートアップの製品、サービスを自国市場で展開するために、投資して連携を強化するケースが多く見受けられる。
<p>(参考) 同一スタートアップに対する複数回に渡る投資分析</p>	<ul style="list-style-type: none">2017年から2020年の間に、イスラエルの同一スタートアップに対して、同一企業から複数回に渡って投資されたケースを分析したところ、日本の事業会社はフォロワーとして他国企業に追従して投資する傾向が強いことが判明した。
<p>(4) イスラエルへの投資を通じた競争力強化の事例</p>	<ul style="list-style-type: none">2015年以降の投資事例のうち、2年以上前に投資を実施した事業会社による投資事例を抽出。イスラエルのスタートアップの技術を自社の技術や製品開発に組み入れることを目的とした事業提携が見受けられる。VC、CVCへのインタビュー調査からは、イスラエルのスタートアップとのコミュニケーションへの留意、イスラエル側の技術を活用してマーケットに打ち出すという考え方の有効性を把握。

調査対象資料

- 本調査レポートは、以下の調査対象資料などに基づき、株式会社日本総合研究所に作成を委託した。

■ 調査対象資料

- 本資料の元データは、原則IVC Research Centerウェブサイト内「Analytics」データベース（2021年2月26日付）を基にして集計しているが、読みやすさを優先し、全頁より右記の表記を省略している。（Source:IVC Data and Insights）
上記データベースで取得可能なマクロデータは2016年以降、詳細データは2017年以降。
- IVCを用いて集計出来ない又は深掘り出来ないデータ項目については、Crunchbaseを用いて補足的に集計した。
Crunchbaseについては、2015年以降のデータを用いて集計している。
Crunchbaseのデータを用いた場合は、頁毎に右記の表記を明記している。（Source:Crunchbase）
- ただし、以下の集計に関しては、データベース上から取得できる企業情報に加え、取得情報を基に分析者が定性的に判断・分析し、集計を行っている。
【イスラエル企業の社会課題別分類（P14）／投資元企業の投資意図（P34,P45,P54,P63,P72,P81）】

■ IVCにおける登録情報について

- IVCは、原則インターネットで情報を収集した後、関係者に収集情報について確認を求めるという手法でデータベースを更新している。
- IVCが対象としているスタートアップは、本社所在地に関わらず、イスラエル人起業家が創業した企業を対象にしている（創業メンバーにイスラエル人がいる場合を含む）。
- IVCの投資元企業の国籍は、原則本社所在国としているが、投資先スタートアップ、投資契約を担う法律事務所、投資元企業にヒアリングをして必要に応じて修正している。

集計条件

- 本調査レポートは、以下の調査対象資料などに基づき、株式会社日本総合研究所に作成を委託した。

■ 集計条件

- 「投資件数」については、原則投資ラウンド数と一致するが、投資元国別の分析においては、1件の投資案件に2社以上の投資家が投資している場合、すべて1カウントとして集計している。
Ex) 1件の投資案件に5社が参加している場合、投資件数は5件とする。
- 「投資金額」について、投資元国別の分析においては、1件の投資案件に2社以上の投資家が投資している場合、その投資案件金額に参加している全投資家で按分して集計している。
Ex) 1件100万ドルの投資案件に5社が参加している場合、1社の投資金額は20万ドルとする。
- IVCデータベースを用いた「事業会社のみ」の集計では、以下のカテゴリーに分類されている企業のみを集計する。
(VCやアクセラレーターなどは集計から除外している)
【HT/Traditional Industry/Insurance/Bank & Finance Company/Retail/Services/Telecom & Media/Real Estate/Corporate VC/Corporate Accelerator/Holding Company/Professional Services Company/Business Development Company/Government Agency/Other】
- Crunchbaseデータベース(<https://www.crunchbase.com>)を用いた「事業会社のみ」の集計では、以下のカテゴリーに分類されている企業を除外して集計する。
(Crunchbaseは業種分類が多かったため、該当業種を除外して企業を特定しているが、業種登録をしていない企業などもあり、IVCと比較し、VCやアクセラレーターが十分に除外できていない可能性がある。)
【Angel Investment/Asset Management/Funding Platform/Hedge Funds/Impact Investing/Incubators/Real Estate Investment/Stock Exchanges/Trading Platform/Venture Capital/Wealth Management】

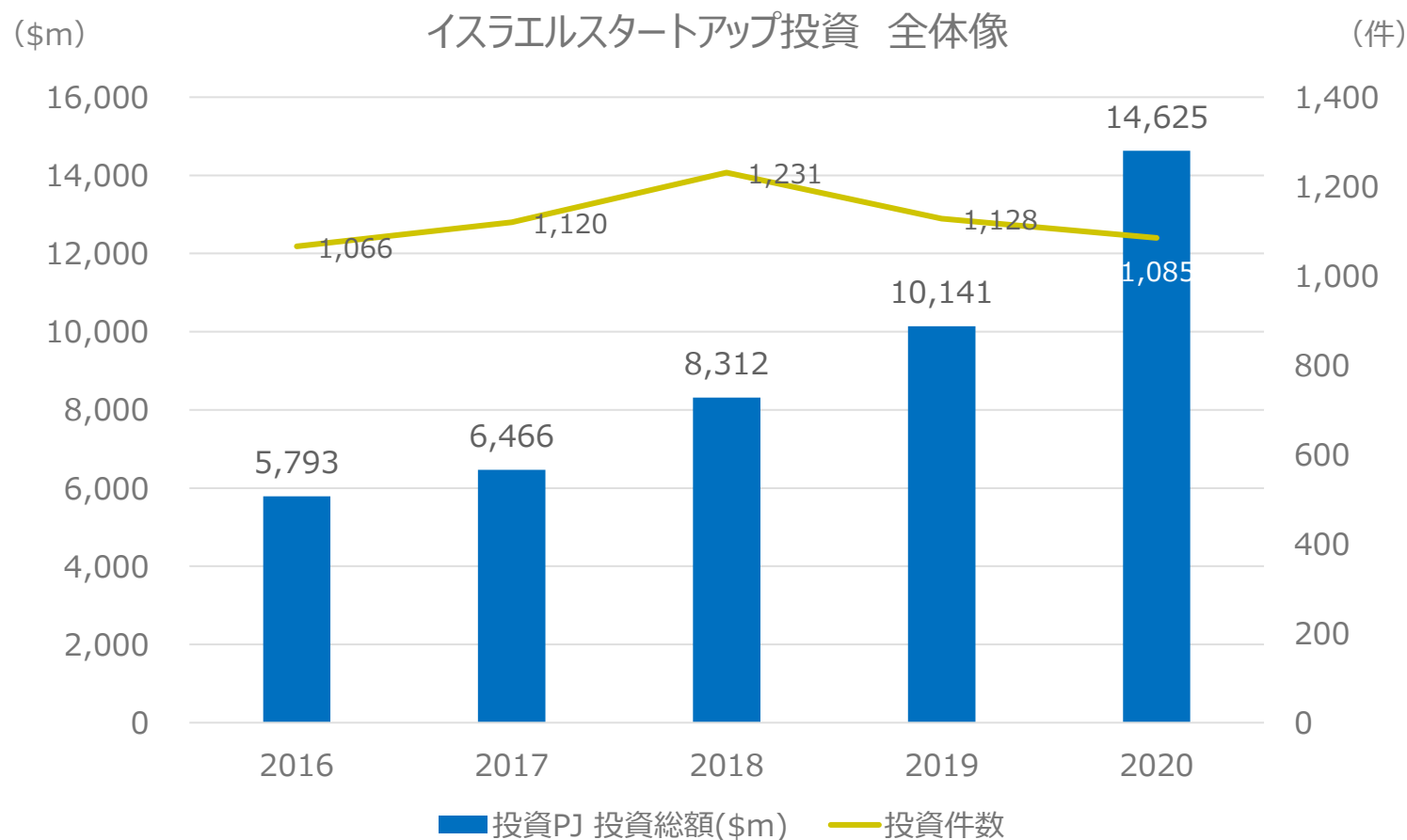
■ その他

- 本報告書内では、「国・地域」を全て「国」と表記する。
- 凡例は、読みやすさを優先し、各図表につき最大12項目を記載している。

(1) イスラエルにおけるスタートアップへの投資動向

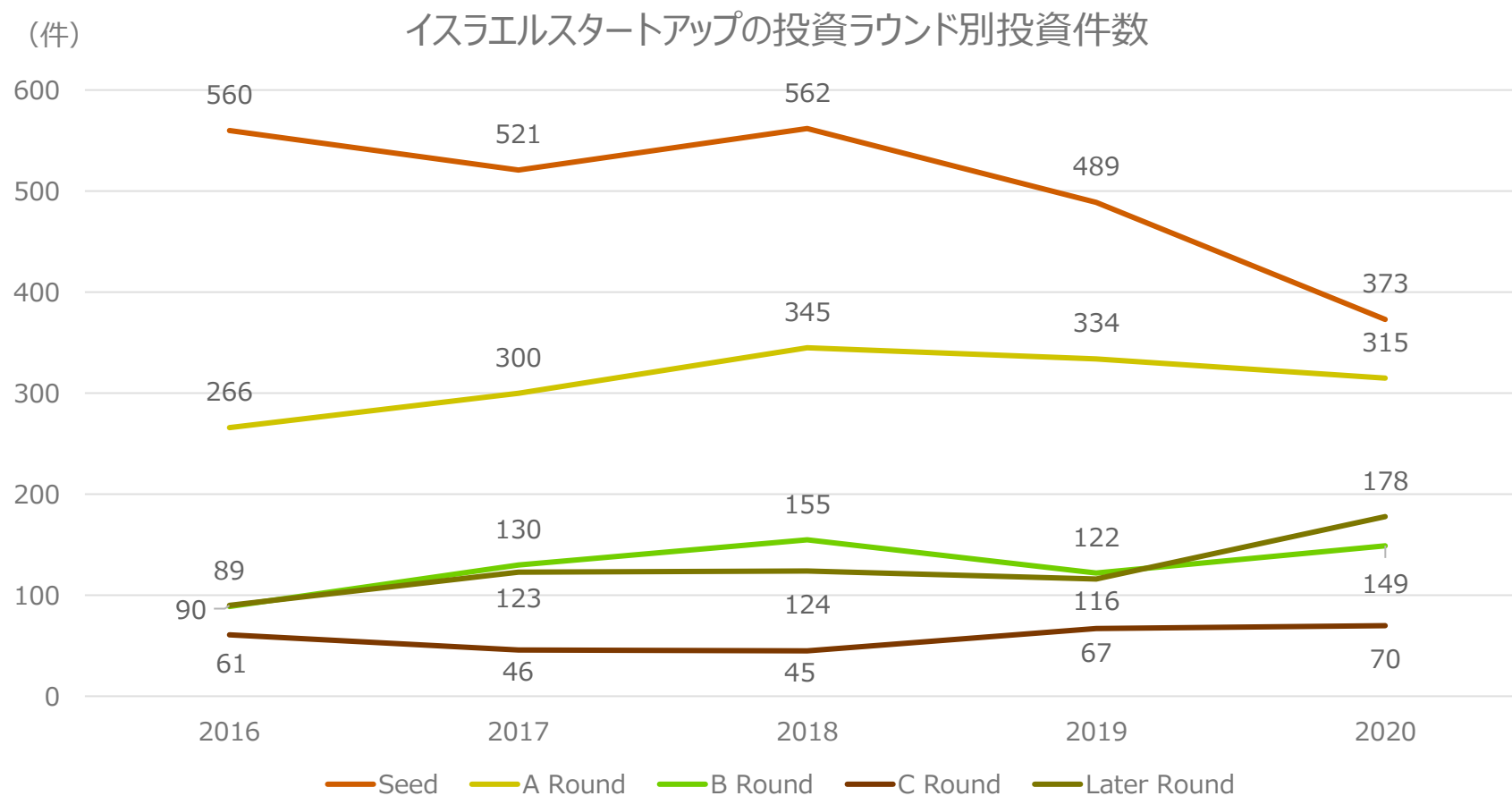
(0) イスラエルスタートアップへの投資 全体像

- イスラエルのスタートアップへの投資は、過去6年、金額的に増加傾向にある。件数は2018年から微減の傾向。
- 新型コロナウイルスの影響を受けた2020年を見ると、投資件数は減少したが、投資金額は急増した。



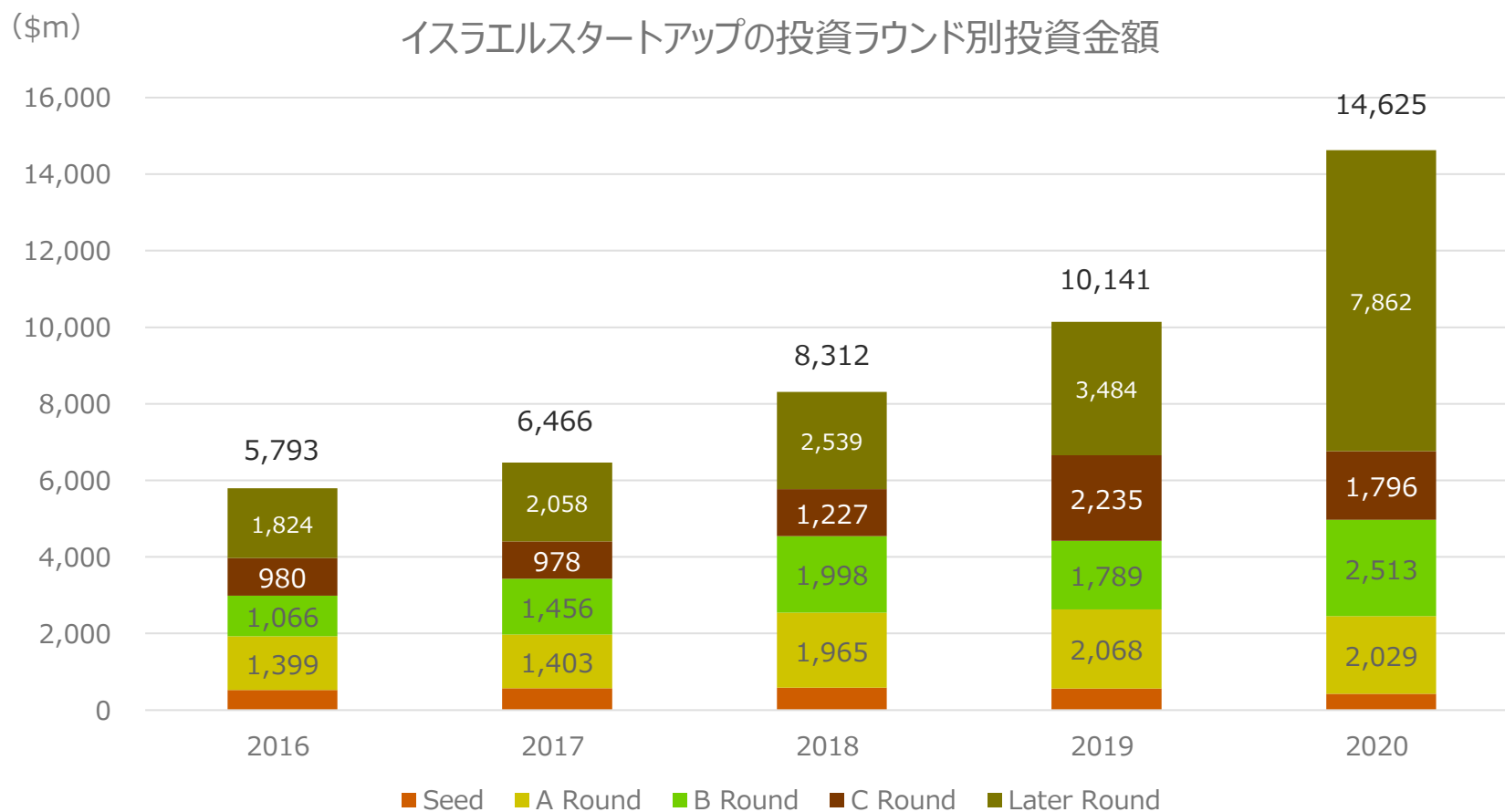
(1) イスラエルスタートアップへの投資 投資ラウンド別投資件数

- 全体の投資件数は微減の傾向であったが、その要因は主にSeed期のスタートアップに対する投資の減少であり、その他の成長ステージにあるスタートアップへの投資動向には大きな変動は見られない。



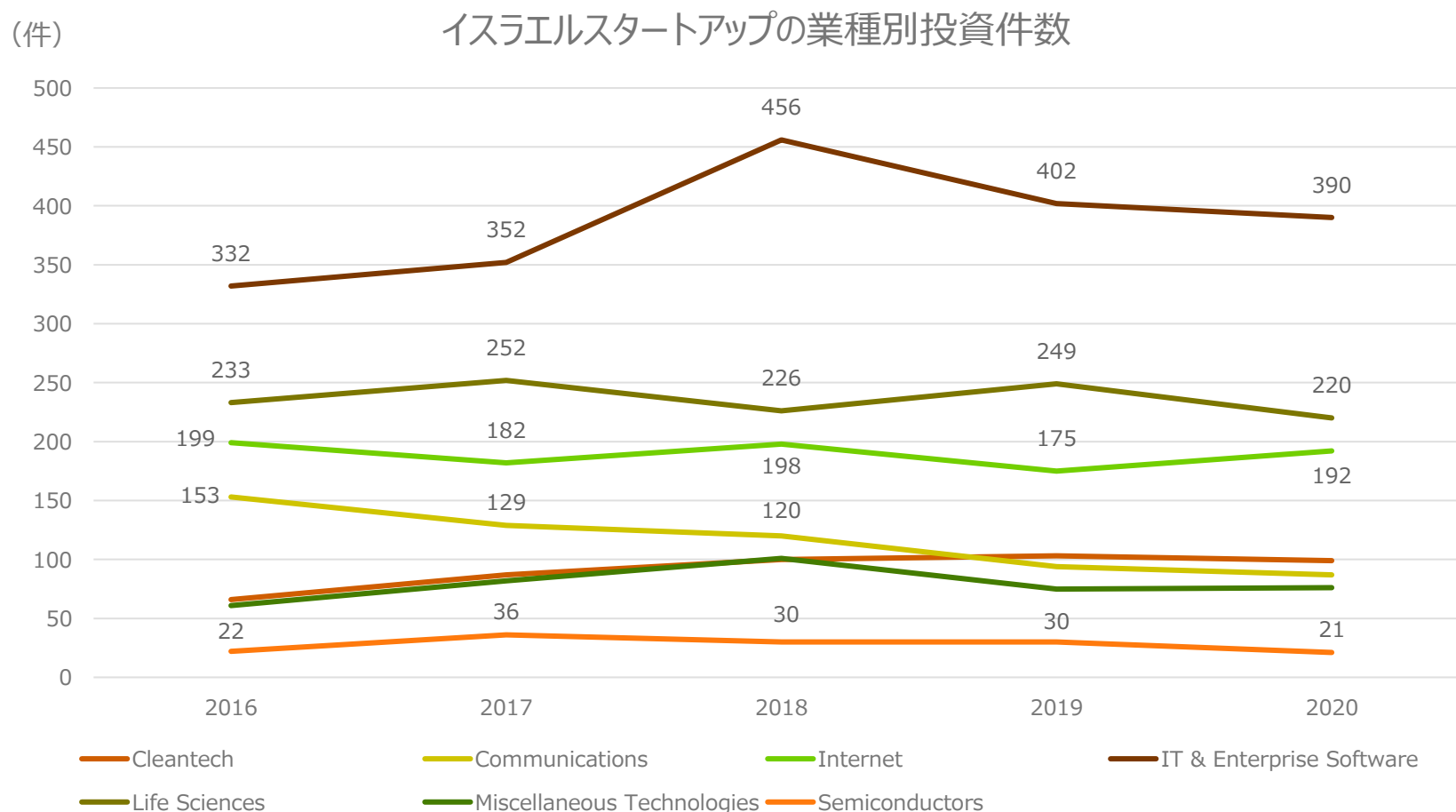
(1) イスラエルスタートアップへの投資 投資ラウンド別投資金額

- 2020年の投資金額の増加は、主にLater Roundの投資金額の増加によるものである。
- Later Roundを除いても、2016年から微増傾向だが、主に増えているのはB Round、C Roundの金額である。



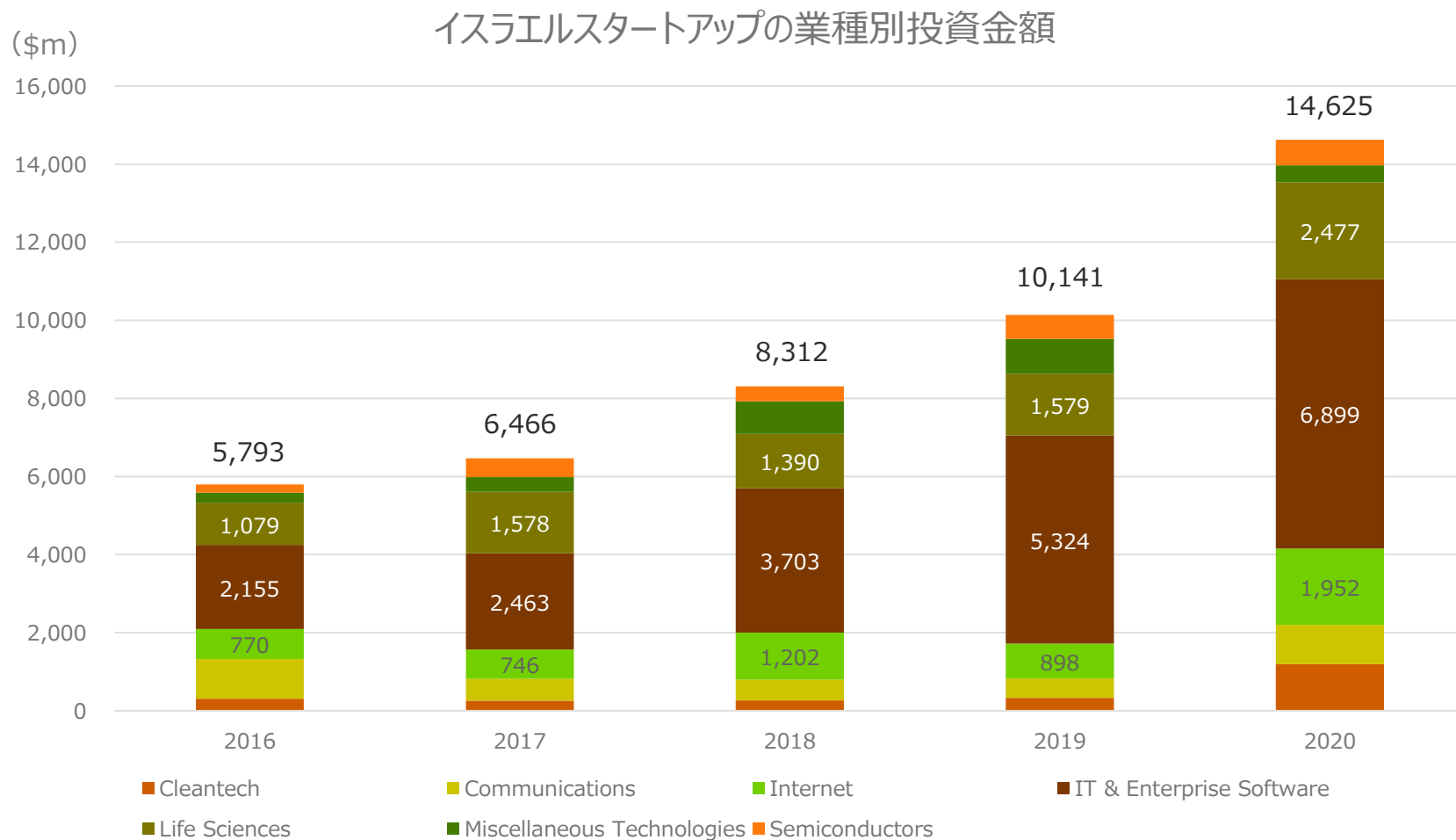
(2) イスラエルスタートアップへの投資 業種別投資件数

- スタートアップの業種別では、IT & Enterprise Software企業への投資件数が多く、全体の3割ほどを占める。
- 全体傾向としては、Communications企業が減少傾向、Cleantech企業が増加傾向にある。



(2) イスラエルスタートアップへの投資 業種別投資金額

- 投資金額をみても、IT & Enterprise Software企業への投資が4割から5割程と大きな割合を占めている。
- 2020年は、Life Science、Internet企業への投資の伸びも大きい。



(参考) IVCのスタートアップ業種分類と国際標準産業分類

- 標準産業分類で分類すると、多くが情報通信業に分類される。ITと組合せたビジネスが多いためではないかと推測される。

Cleantech		
Agrotech	A	農業・林業および漁業
Materials	B	鉱業および採石業
Energy	D	電気・ガス・蒸気および空調供給業
Water Technologies	E	水供給・下水処理並びに廃棄物管理および浄化活動
Environment	X+α	環境管理

Communications		
Broadband Access Broadcast Home Networking Enterprise Networking Mobile Applications Mobile Infrastructure Optical Networking Telecom Applications VoIP & IP Telephony Wireless Applications Wireless Infrastructure	J	情報通信業

Internet		
e-Commerce	G	卸売・小売業並びに自動車およびオートバイ修理業
Content Delivery Platforms Content Management Internet Applications Internet Infrastructure Online Advertising Search Engines Social Networks	J	情報通信業
E-Learning	P	教育
Online Entertainment	R	芸術・娯楽およびレクリエーション

IT & Enterprise Software		
Business Analytics Design & Development Tools Enterprise Applications Enterprise Infrastructure Miscellaneous Software Security	J	情報通信業

Life Science		
Biotechnology Digital Health Medical Devices Pharmaceuticals	Q	保健衛生および社会事業

Miscellaneous Technologies		
Defense Hardware Industrial Technologies Miscellaneous Nanotechnology	C	製造業

Semiconductors		
Fabrication & Testing Manufacturing Equipment & EDA Memory & Storage Miscellaneous Semiconductors Network Processors Processors & RFID Security Semiconductors Video, Image & Audio Wireless Communication Wireline & Home Networking	C	製造業

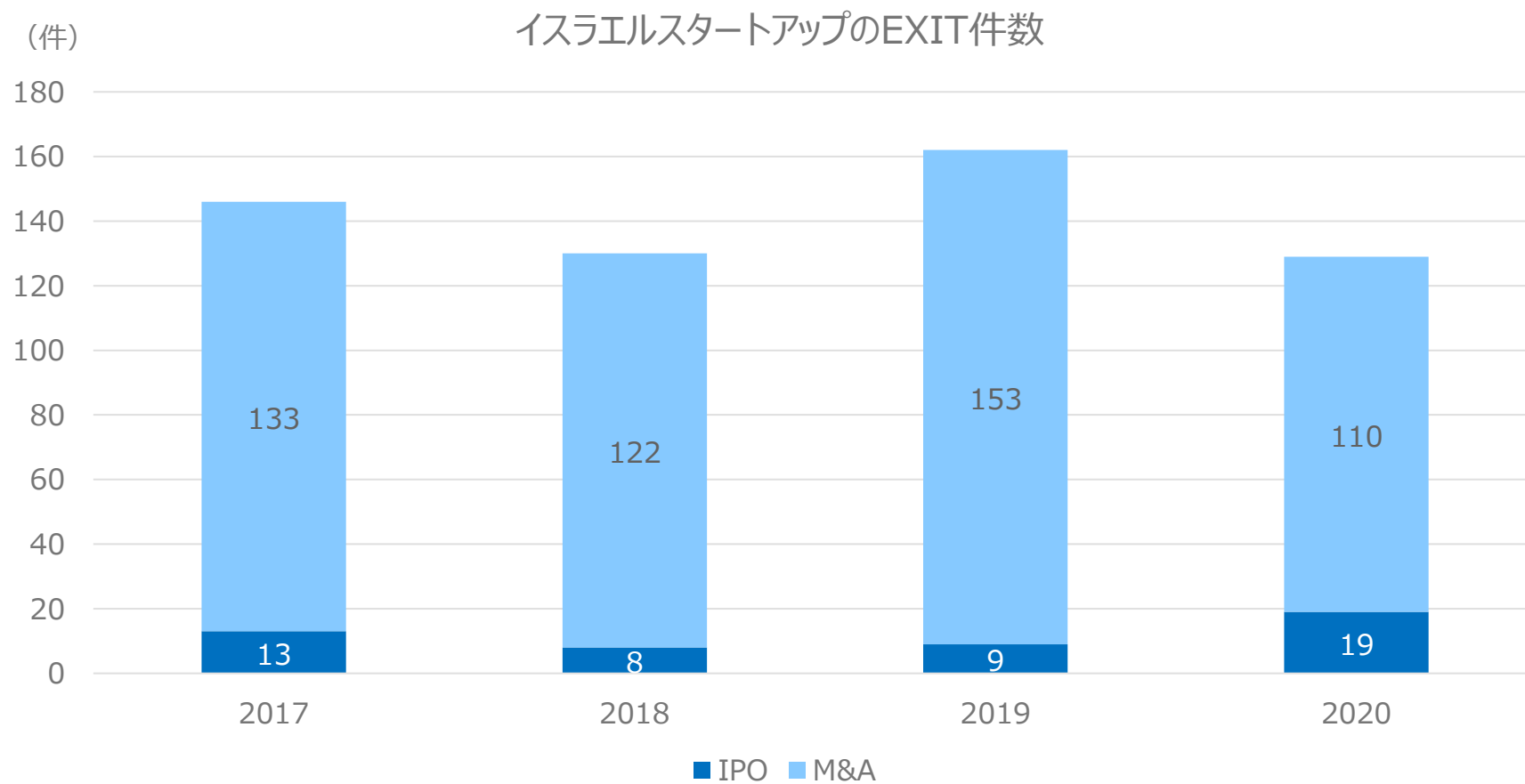
各項目説明

IVC業種メインカテゴリ

IVC業種サブカテゴリ	標準産業分類記号	国際標準産業分類

(3) イスラエルスタートアップへの投資 スタートアップのEXIT件数

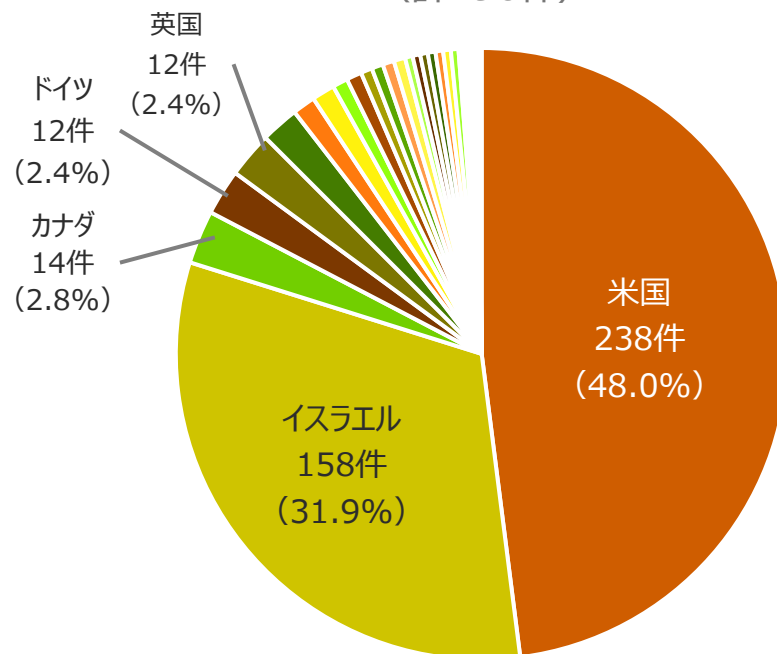
- イスラエルのスタートアップは、年間約130～160社がEXITを達成しており、M&AがEXITの9割以上を占める。



(3) イスラエルスタートアップへの投資 スタートアップのM&A先

- イスラエルのスタートアップのM&A先は米国企業が約5割、イスラエル企業が約3割で、上位2カ国で全体の約8割を占める。

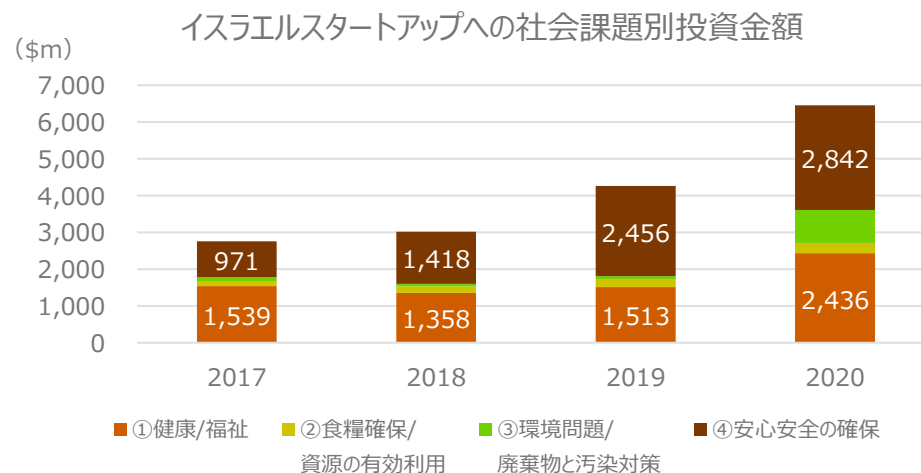
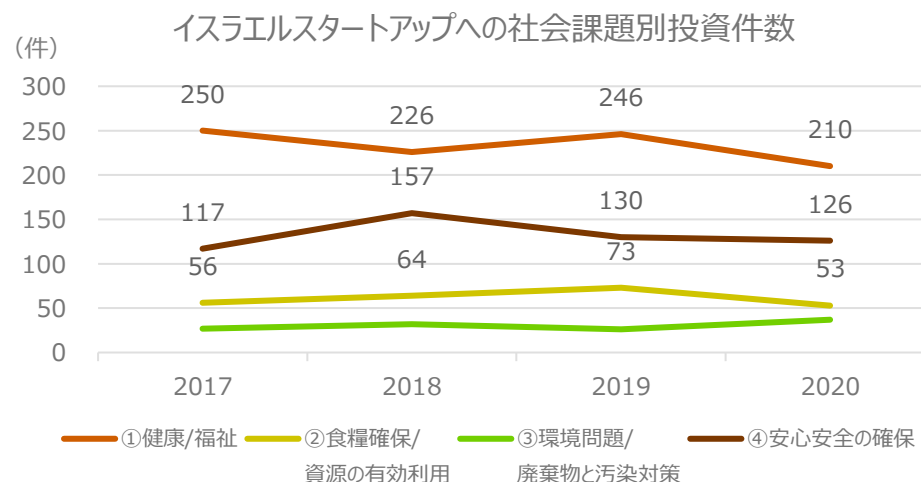
イスラエルスタートアップへの投資元国別 M&A件数
(計496件)



(4) イスラエルスタートアップへの投資 社会課題別投資概要

- イスラエルのスタートアップの取り組む社会課題別に分類すると、健康/福祉関係の投資件数が多いものの、近年は特に安心安全に関連するスタートアップへの投資金額が伸びている。

社会課題分類	含まれる業種サブカテゴリー
①健康/福祉	Biotechnology/Digital Health/ Medical Devices/Pharmaceuticals
②食糧確保/ 資源の有効利用	Agrotech/Materials/ Water Technologies
③環境問題/ 廃棄物と汚染対策	Materials/Energy/ Water Technologies/Environment
④安心安全の確保	Security/Defense/ Security Semiconductors

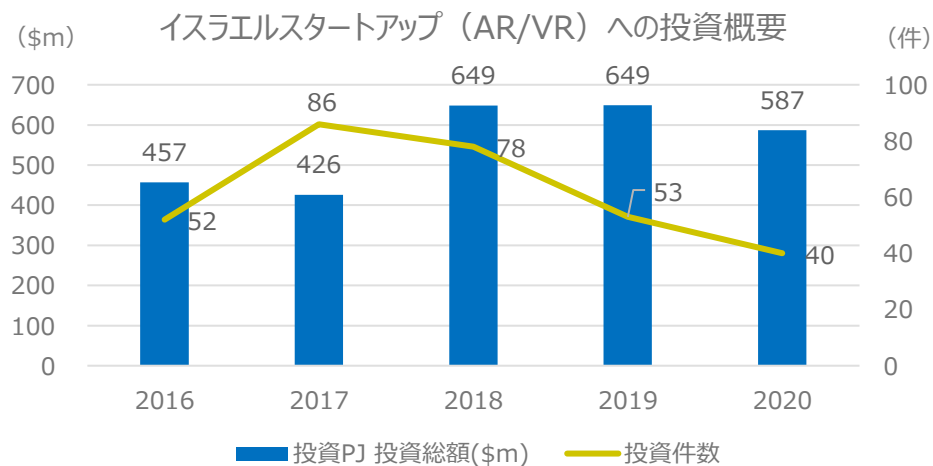
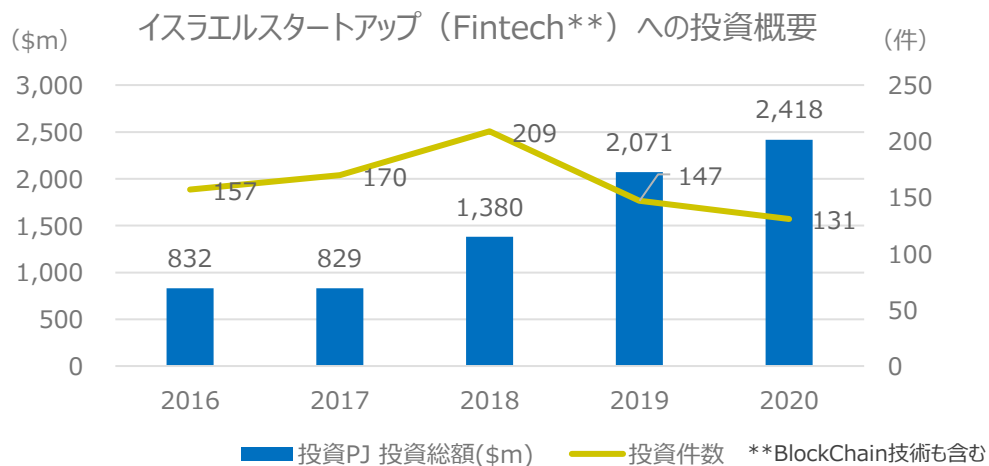
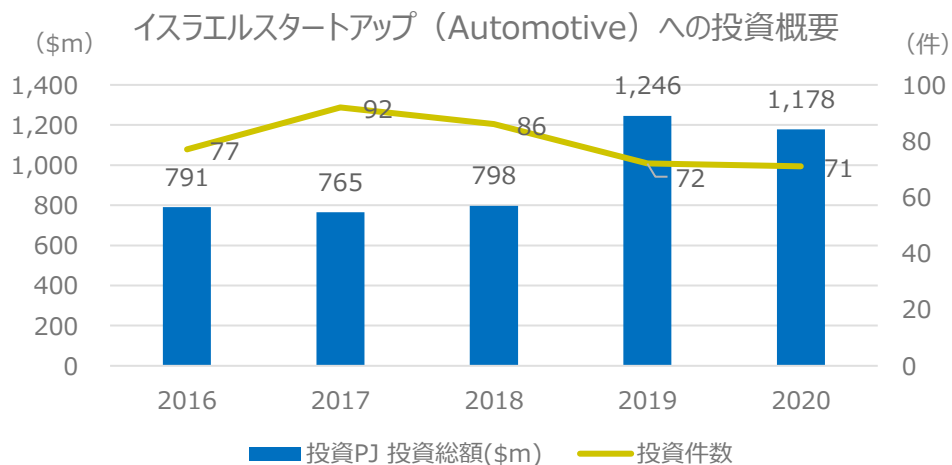
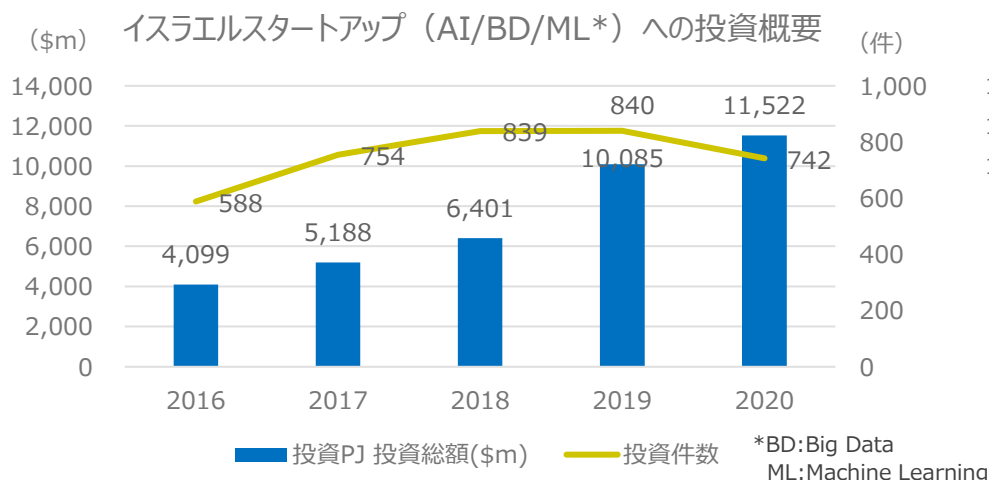


注) 「Materials」と「Water Technologies」について

- ✓ 「Materials」と「Water Technologies」に分類される企業については、企業Descriptionから判断し②と③に仕分けている。
- ✓ ②については資源増産や効率的な利用に繋がる技術を持った企業、③についてはリサイクルや自然分解できる製品を作る企業などを分類している。

(5) イスラエルスタートアップへの投資 先端技術別投資件数

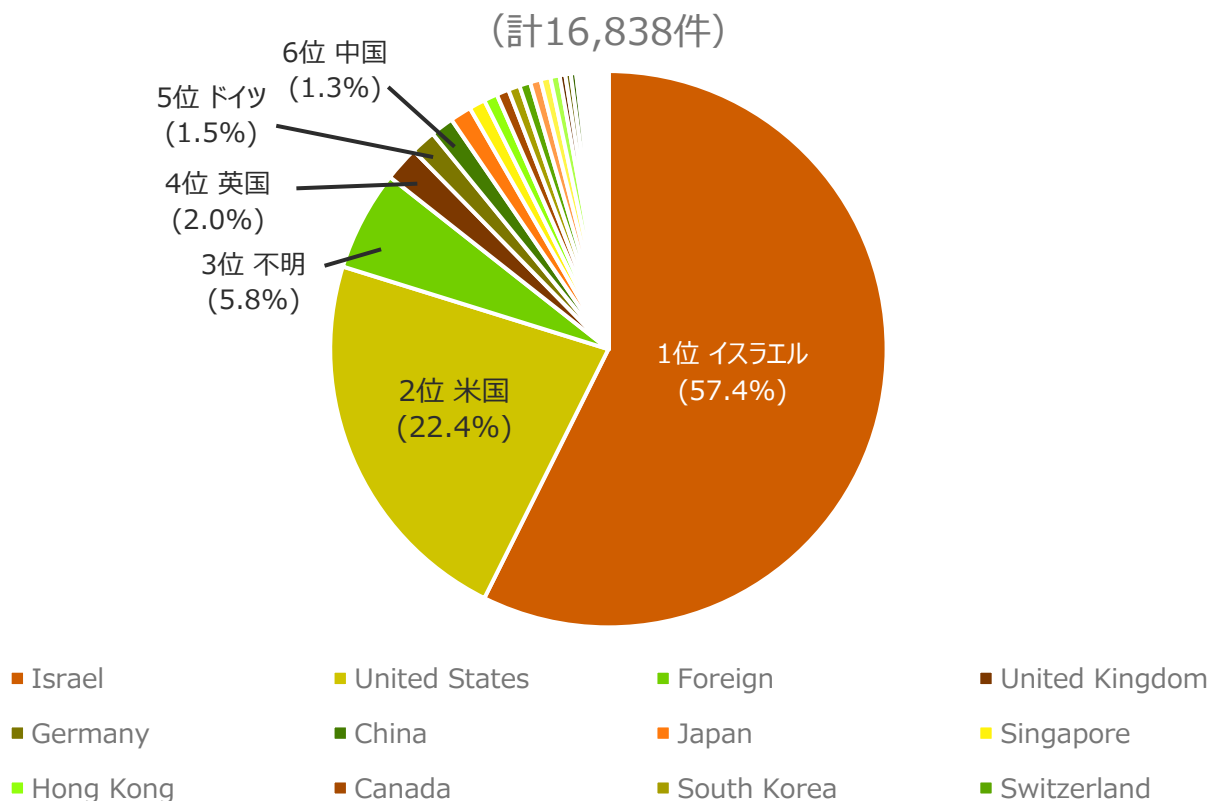
- 主要技術軸で、イスラエルのスタートアップへの投資動向を分析すると、AI関連企業への投資件数が微増しており、投資金額ではAI関連企業やFintech関連企業への投資が非常に増加している。



(6) イスラエルスタートアップへの投資 投資元国別投資件数 (2017年~2020年累計)

- イスラエルのスタートアップへの投資件数を国別に集計すると、イスラエル企業、米国企業からの投資が圧倒的に多い。
- 日本以上に投資件数が多い国は、上位2カ国に次いで、順に英国、ドイツ、中国である。「不明」カテゴリーには、個人投資家が多く含まれている。

イスラエルスタートアップへの投資元国別 投資件数比較

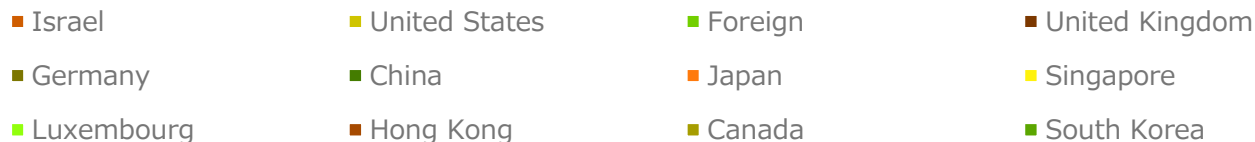
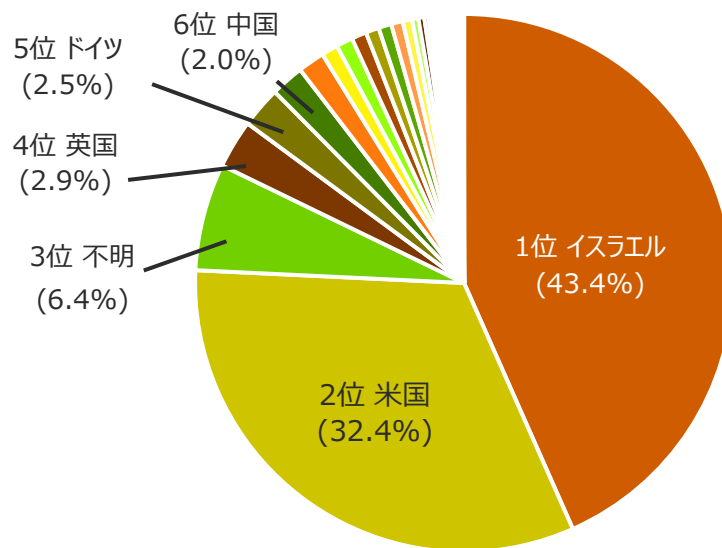


(6) イスラエルスタートアップへの投資 投資元国別投資金額 (2017年~2020年累計)

- イスラエルのスタートアップへの投資金額を国別に集計すると、投資件数同様、イスラエル企業、米国企業からの投資額が圧倒的に多いが、投資件数と比べて米国企業の割合が増す。イスラエル国内は小型投資の割合が多い。
- 日本以上に投資金額が多い国は、上記2カ国に次いで、順に英国、ドイツ、中国である。

イスラエル企業への投資元国別 投資金額比較

(計39,418百万ドル)



(6) イスラエルスタートアップへの投資 投資件数/金額順位 (2017年~2020年累計)

- イスラエルのスタートアップの投資件数、金額を、投資元国で大きい順に並べると、上位国は投資件数、金額で順位は変わらない。日本より少ない8位以降の国が、投資件数も投資金額も似通っている。

投資元国別投資件数 (件)

	国名	投資件数合計	投資件数合計 (事業会社のみ)
1	Israel	9,658	807
2	United States	3,779	780
3	Foreign (投資元国不明)	980	126
4	United Kingdom	341	56
5	Germany	246	139
6	China	227	85
7	Japan	209	145
8	Singapore	158	44
9	Hong Kong	133	24
10	Canada	121	19
11	South Korea	113	70
12	Switzerland	108	32

投資元国別投資金額(\$m)

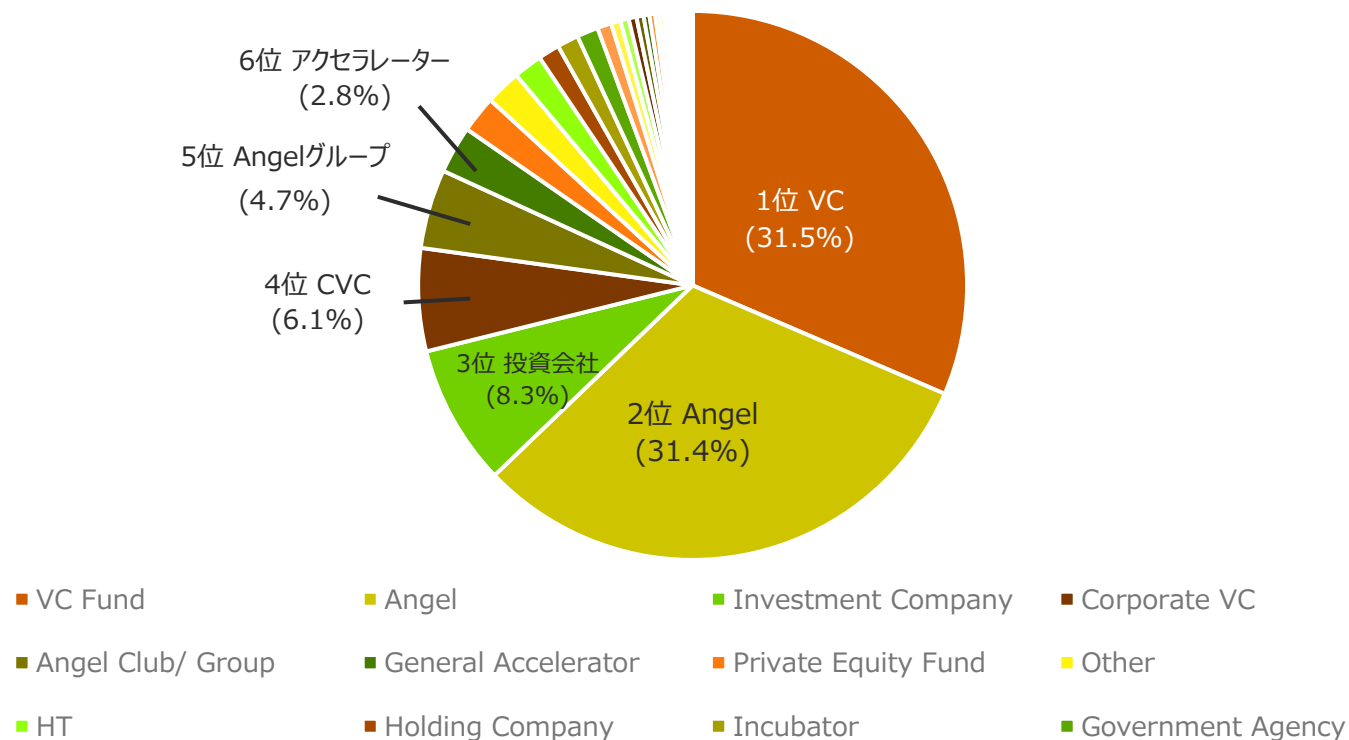
	国名	投資金額合計	投資金額合計 (事業会社のみ)
1	Israel	17,097	1,222
2	United States	12,766	3,040
3	Foreign (投資元国不明)	2,538	1,308
4	United Kingdom	1,148	176
5	Germany	973	480
6	China	787	438
7	Japan	630	510
8	Singapore	392	187
9	Luxembourg	392	10
10	Hong Kong	355	83
11	Canada	314	41
12	South Korea	307	194

(7) イスラエルスタートアップへの投資 投資元業種別投資件数 (2017年～2020年累計)

- イスラエルのスタートアップへの投資件数を投資元企業の業種別に集計すると、上位のほとんどをVCやAngelなど投資自体を目的とする企業が占める。

投資元企業業種別 投資件数比較

(計16,838件)

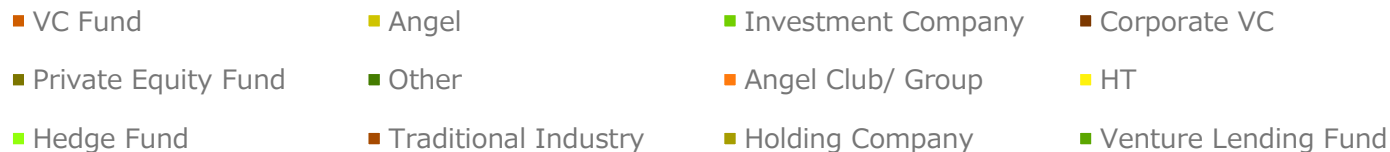
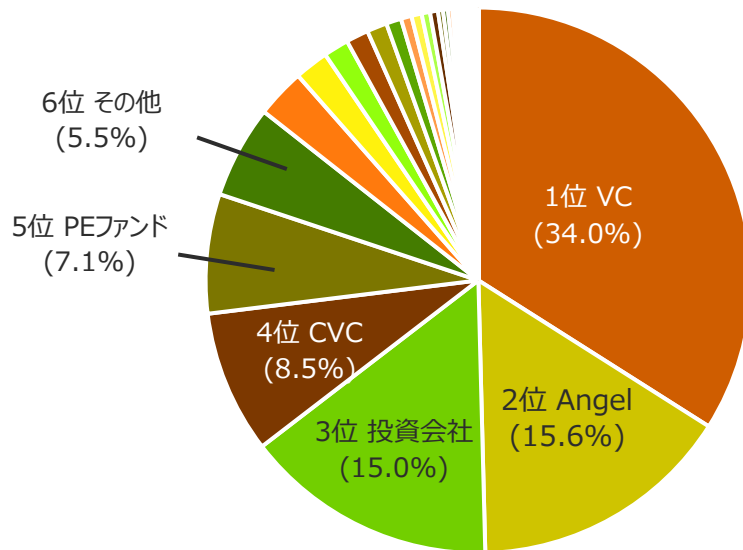


(7) イスラエルスタートアップへの投資 投資元業種別投資金額 (2017年~2020年累計)

- 投資元企業の投資金額の業種別比較では、投資件数に比べて、Angel、アクセラレーターなどの少額投資を行う企業の割合が下がるが、全体順位に大きな変動はない。

投資元企業業種別 投資金額比較

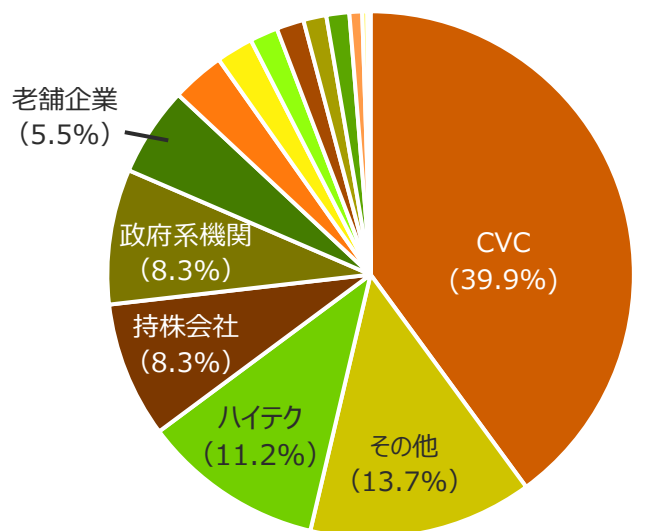
(計39,417百万ドル)



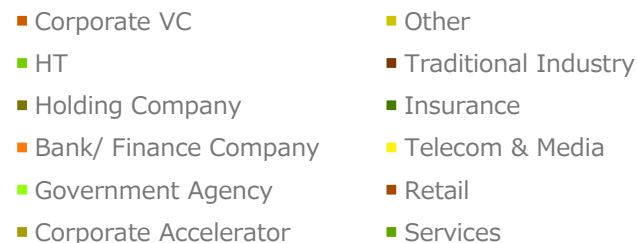
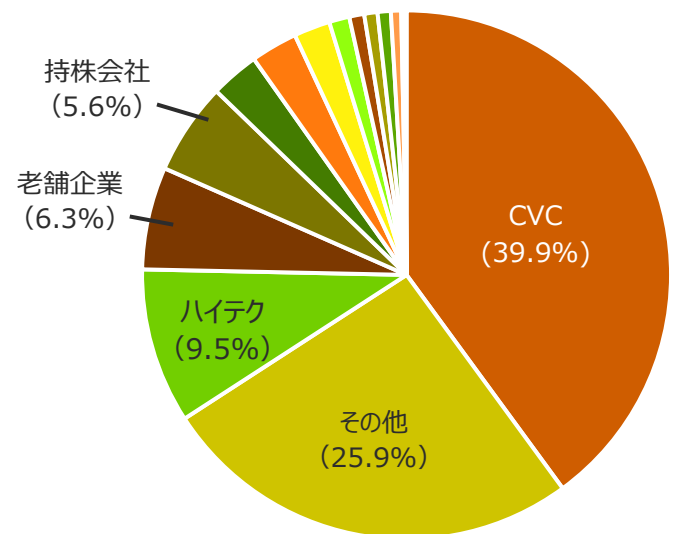
(7) イスラエルスタートアップへの投資 投資元業種別投資概要 (事業会社のみ)

- 投資元企業の業種を、VCやアクセラレーターなどを除いた「事業会社のみ」に限定すると、4割程をCVCが占め、残りを事業会社が占める。

投資元企業業種別 投資件数
(事業会社のみ：計2,554件)



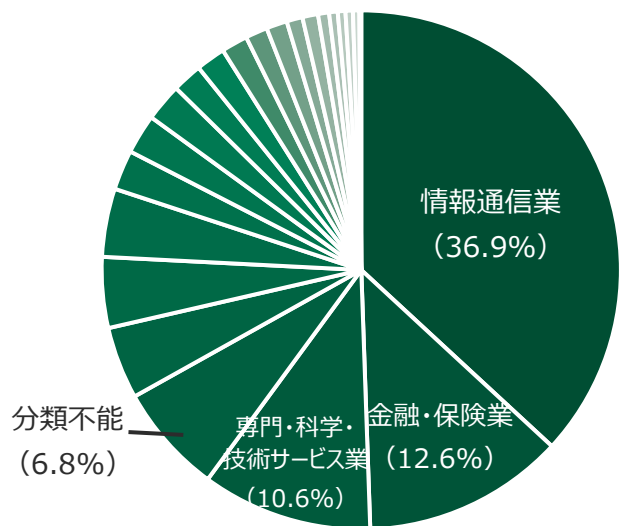
投資元企業業種別 投資金額
(事業会社のみ：計8,351百万ドル)



(参考) イスラエルスタートアップへの投資 投資元業種別投資概要 (事業会社のみ)

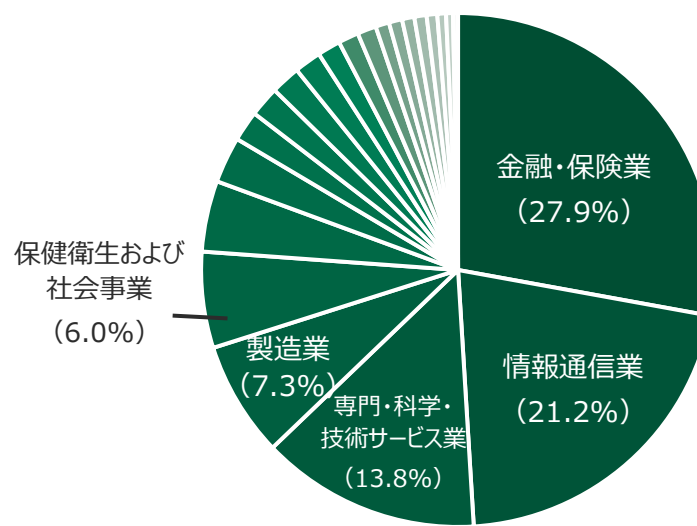
- Crunchbaseでは業種カテゴリーの粒度が細かいため、事業別の傾向が判別できる。
- 業種別では、投資件数は情報通信業の割合が大きいが、投資金額で見ると金融・保険業の割合が大きい。
- 投資件数・投資金額ともに、情報通信業、金融・保険業、専門・科学・技術サービス業で全体の6割ほどを占める。

投資元企業業種別 投資件数/2015年～2020年
(事業会社のみ：計5,292件)



- 情報通信業
- 金融・保険業
- 専門・科学・技術サービス業
- 分類不能
- 管理・支援サービス業
- 保健衛生及び社会事業
- 公務及び国防・義務的社会保障事業
- 製造業
- 芸術・娯楽及びレクリエーション
- 卸売・小売業/自動車等
- その他のサービス業
- 運輸・保管業

投資元企業業種別 投資金額/2015年～2020年
(事業会社のみ：計4,813百万ドル)



- 金融・保険業
- 情報通信業
- 専門・科学・技術サービス業
- 製造業
- 保健衛生及び社会事業
- 保健衛生及び社会事業
- 分類不能
- 製造業 (エレクトロニクス)
- 不動産業、建設業
- 卸売・小売業/自動車等
- 公務及び国防・義務的社会保障事業
- 管理・支援サービス業

(参考) Crunchbaseにおける業種分類基準

- Crunchbaseにおける業種判断は「Industry Groups」を用いた。(一企業が複数業種に跨る場合も有り)
- ただし、業種数が多いため、傾向などの判別のため国際標準産業分類で再集計し、分析を行った。

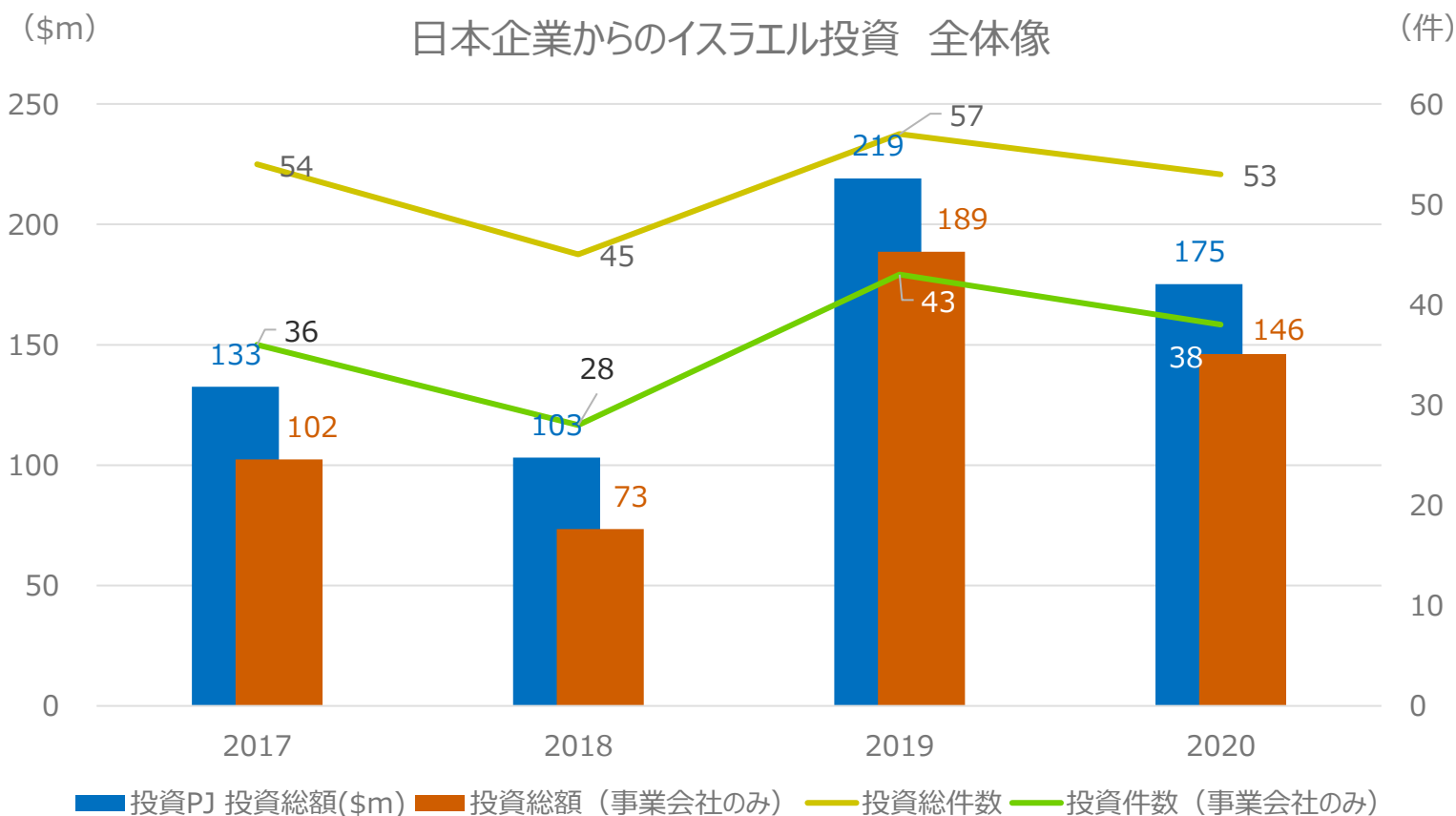
Crunchbase Industry Groups	国際標準分類記号	国際標準産業分類 (一部文言加工)
Agriculture and Farming	A	農業・林業および漁業
Natural Resources	B	鉱業および採石業
Clothing and Apparel	C	製造業 (衣料)
Consumer Goods	C	製造業 (日用品)
Consumer Electronics	C	製造業 (エレクトロニクス)
Manufacturing	C	製造業
Energy	D	電気・ガス・蒸気および空調供給業
Commerce and Shopping	G	卸売・小売業/自動車等
Transportation	H	運輸・保管業
Food and Beverage	I	宿泊・飲食サービス業
Advertising	J	情報通信業
Apps	J	情報通信業
Artificial Intelligence	J	情報通信業
Content and Publishing	J	情報通信業
Data and Analytics	J	情報通信業
Hardware	J	情報通信業
Information Technology	J	情報通信業
Internet Services	J	情報通信業
Messaging and Telecommunications	J	情報通信業
Mobile	J	情報通信業
Navigation and Mapping	J	情報通信業
Platforms	J	情報通信業
Software	J	情報通信業
Video	J	情報通信業

Crunchbase Industry Groups	国際標準分類記号	国際標準産業分類 (一部文言加工)
Financial Services	K	金融・保険業
Lending and Investments	K	金融・保険業
Payments	K	金融・保険業
Real Estate	L&F	不動産業、建設業
Biotechnology	M	専門・科学・技術サービス業
Design	M	専門・科学・技術サービス業
Professional Services	M	専門・科学・技術サービス業
Sales and Marketing	M	専門・科学・技術サービス業
Science and Engineering	M	専門・科学・技術サービス業
Administrative Services	N	管理・支援サービス業
Privacy and Security	N	管理・支援サービス業
Travel and Tourism	N	管理・支援サービス業 (旅行)
Government and Military	O	公務および国防・義務的社会保障事業
Education	P	教育
Health Care	Q	保健衛生および社会事業
Events	R	芸術・娯楽およびレクリエーション
Gaming	R	芸術・娯楽およびレクリエーション
Media and Entertainment	R	芸術・娯楽およびレクリエーション
Music and Audio	R	芸術・娯楽およびレクリエーション
Sports	R	芸術・娯楽およびレクリエーション
Community and Lifestyle	S	その他のサービス業
Other	X	分類不能
Sustainability	X & a	環境・インフラ

(2) 日本企業によるイスラエルにおけるスタートアップへの投資動向

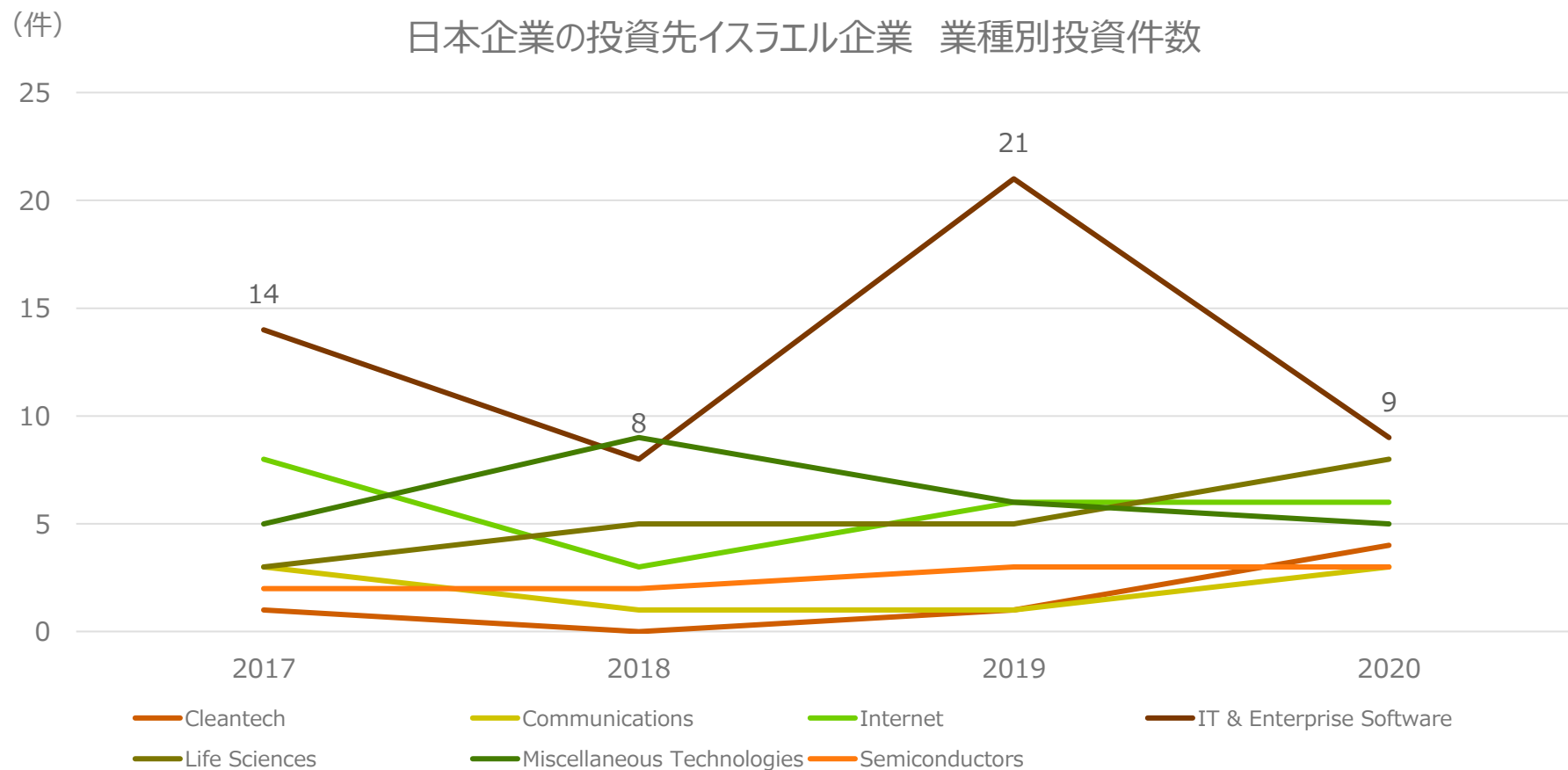
(0) 日本企業からイスラエルスタートアップへの投資 全体像

- 日本企業からイスラエルのスタートアップへの投資について、件数は年間50件前後で推移。
- 日本の事業会社からの投資をみると、日本全体の投資傾向とあまり差異がなく、事業会社の割合が比較的大きいことがわかる。



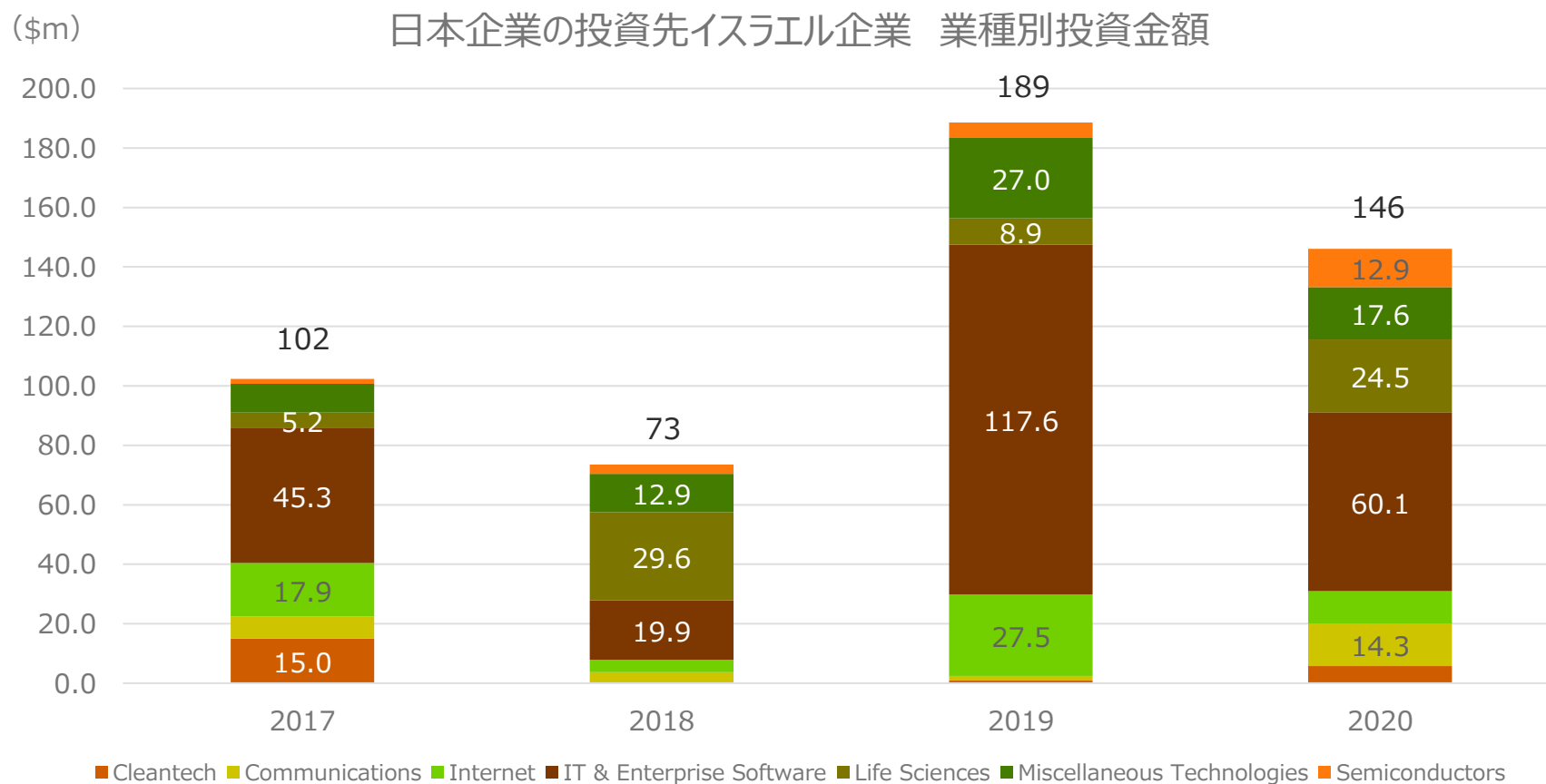
(1) 日本企業の投資先企業の業種別投資件数（事業会社のみ）

- 日本企業が今まで投資してきたイスラエルのスタートアップは、IT & Enterprise Software企業が最も多いが、全世界の投資動向と比較して、投資対象企業の業種の偏りは小さい。



(1) 日本企業の投資先企業の業種別投資金額（事業会社のみ）

- 日本企業によるイスラエルのスタートアップへの投資金額も、投資件数と同様、IT & Enterprise Software企業への金額が大きいが、比較的投資対象企業の業種の偏りは小さい。



(1) 日本企業の投資先企業の業種別投資金額：各年の投資金額上位の投資案件

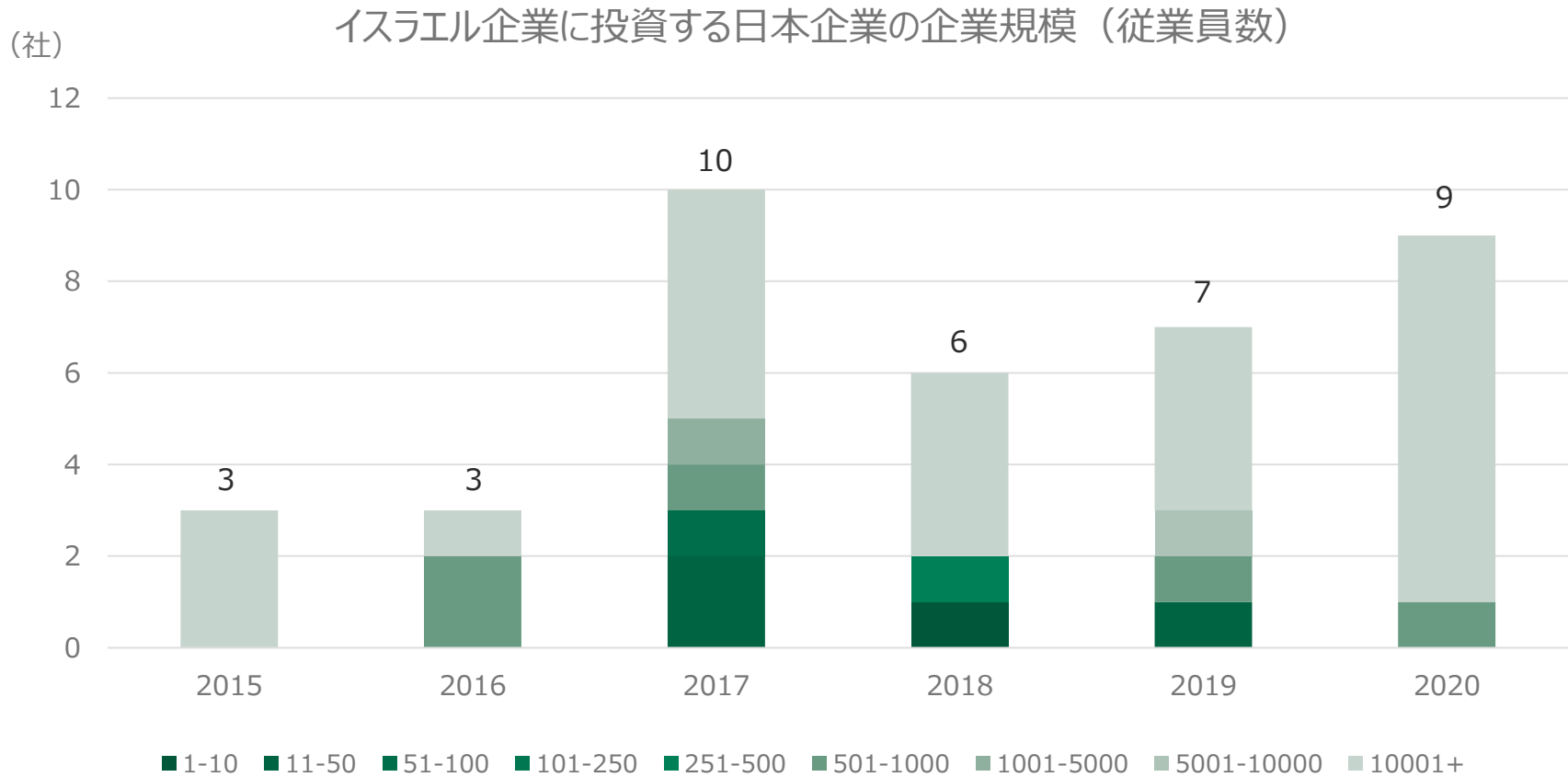
- 各年の投資金額は、金額規模の大きな投資案件に影響を受けている。特に2017年、2019年の2年は、ソフトバンクによる2社への投資金額の影響が大きい。

		投資先企業名	投資先企業の業種	投資元企業名	投資元企業の業種	推計投資金額(\$m)	案件投資総額(\$m)
2017	①	Cybereason Labs Ltd.	IT & Enterprise Software	ソフトバンクグループ(株)	Telecom & Media	25	100
	②	Hinoman Ltd.	Cleantech	味の素(株)	Traditional Industry	15	15
	③	Lemonade Ltd.	Internet	ソフトバンクグループ(株)	Telecom & Media	10.9	120
2018	①	Medi-Tate Ltd.	Life Sciences	オリンパス(株)	Traditional Industry	20	20
	②	Rapyd Financial Technologies Ltd.	IT & Enterprise Software	SBIホールディングス(株)	Holding Company	5	15
	③	eToro Ltd.	IT & Enterprise Software	SBIホールディングス(株)	Holding Company	4.8	100
2019	①	Cybereason Labs Ltd.	IT & Enterprise Software	ソフトバンクグループ(株)	Telecom & Media	50	200
	②	Lemonade Ltd.	Internet	ソフトバンクグループ(株)	Telecom & Media	23.1	300
	③	Riskified Ltd.	IT & Enterprise Software	(株)NTTドコモ・ベンチャーズ	Corporate VC	12.7	165
2020	①	OpenLegacy Technologies Ltd.	IT & Enterprise Software	SBIホールディングス(株)	Holding Company	20	20
		Fundbox Ltd.	IT & Enterprise Software	(株)三菱UFJイノベーション・パートナーズ	Corporate VC	20	20
	③	Via Transportation Ltd.	Communications	森ビル(株)	Real Estate	12.5	400

※同一企業へ複数回の大型投資を行っている投資案件をハイライトしている。

(2) 日本企業の企業規模

イスラエルのスタートアップに投資している日本企業は、従業員数が1万人以上の大企業が圧倒的に多い。

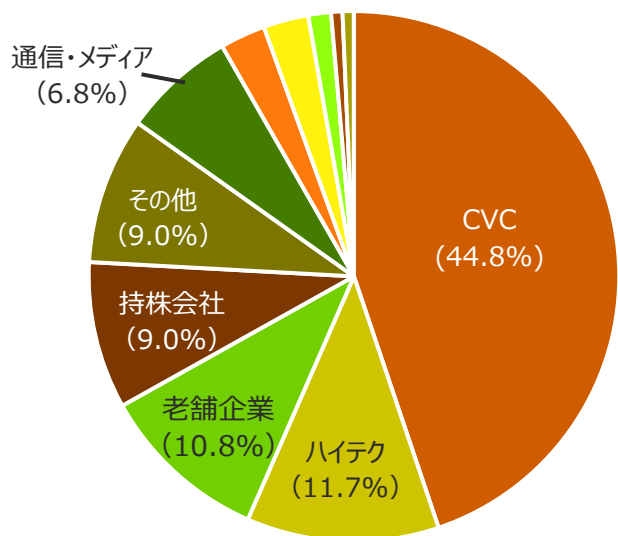


※Crunchbase上で、VCに分類される企業は対象から除外しているが、アクセラレータなどは含まれるため、小規模事業者の件数が比較的多く出やすい傾向がある。

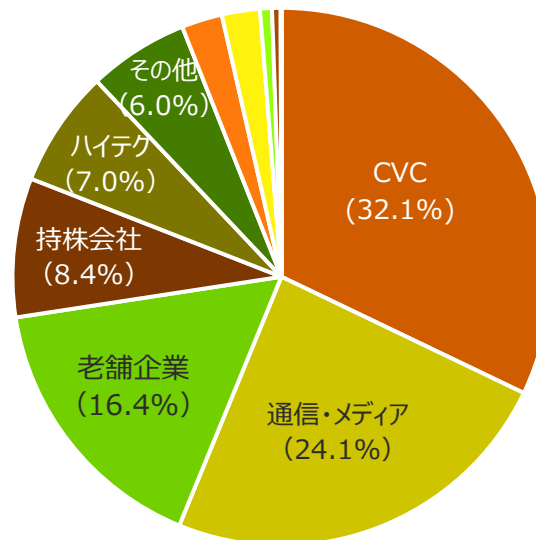
(3) 日本企業の業種別投資動向（事業会社のみ）（2017年～2020年累計）

- 業種別では、投資件数・投資金額ともに、CVC経由での投資が多い。
- 投資件数はハイテク産業の割合が大きいですが、投資金額は通信・メディア企業が大きな割合を占める。

日本企業の業種別 投資件数
(計145件)



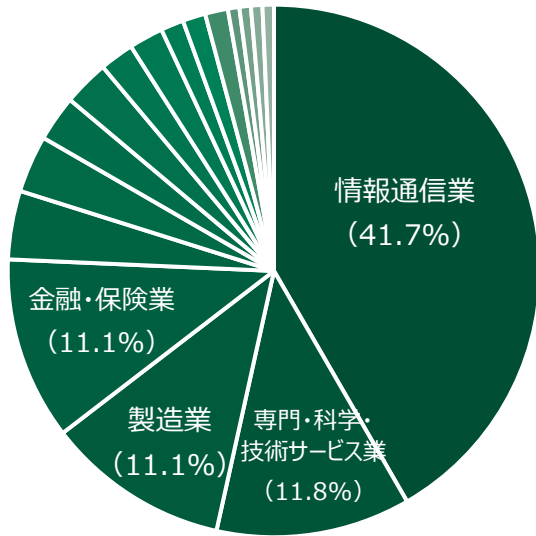
日本企業の業種別 投資金額
(計510百万ドル)



(参考) 日本企業の業種別投資動向 (事業会社のみ)

業種別では、投資金額・投資件数ともに、日本企業は情報通信業が最も多い。その他、専門・科学・技術サービス業、製造業、金融・保険業の割合が多い。

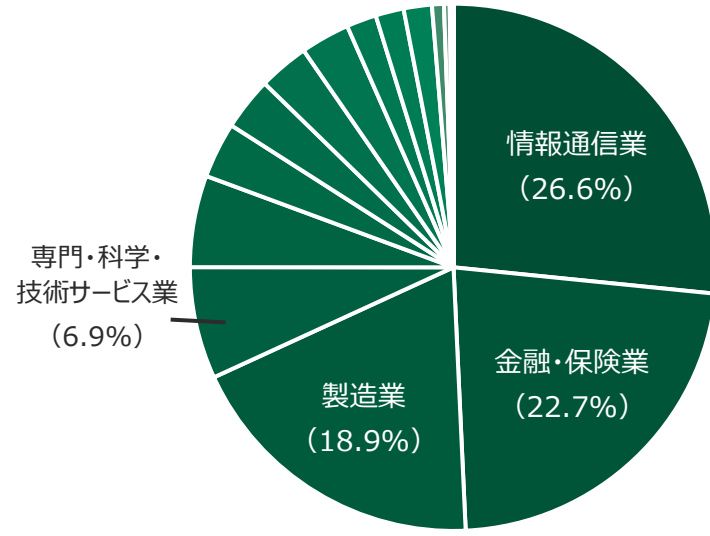
日本企業の業種別 投資件数/2015年～2020年
(計144件)



- 情報通信業
- 製造業
- 製造業 (エレクトロニクス)
- 運輸・保管業
- 保健衛生及び社会事業
- 管理・支援サービス業

- 専門・科学・技術サービス業
- 金融・保険業
- 電気・ガス・蒸気及び空調供給業
- 芸術・娯楽及びレクリエーション
- その他のサービス業
- 鉱業及び採石業

日本企業の業種別 投資金額/2015年～2020年
(計289百万ドル)



- 情報通信業
- 製造業
- 卸売・小売業/自動車等
- 電気・ガス・蒸気及び空調供給業
- その他のサービス業
- 宿泊・飲食サービス業

- 金融・保険業
- 専門・科学・技術サービス業
- 運輸・保管業
- 製造業 (エレクトロニクス)
- 芸術・娯楽及びレクリエーション
- 農業・林業及び漁業

(4) 日本企業の投資意図：投資意図の分類方法

- 投資意図は、投資リターンなどの具体的な目的を持つ投資から、情報収集などの抽象的な目的を持つ投資まで、大きく5つのタイプに分類出来る。

イスラエルスタートアップへの投資意図の分類

分類		分類内容	投資元企業イメージ		投資目的	
			中小企業	大企業	自社事業活用	情報・リターン
Type0	投資リターン	✓ 将来成長しそうな企業への投資を通じて、Exit時のリターンを狙う。投資リターンを重視する機関など、事業に関わる目的が薄い事例を分類。	本調査は、投資リターンを主目的とすると考えられる投資案件については集計対象外としている。			
Type1	自社事業への活用	✓ 自社製品、サービスの付加価値向上 のために投資し連携を図る。事業連携よりも活用目的が明確になっている事例を分類。	○		○	
Type2	新規事業・サービス導入	✓ 投資先サービスを 輸入してそのままサービス を行う。投資元企業にとって、新サービス導入の足掛かりにする事例を分類。	○	○	○	
Type3	事業連携	✓ 長期的に 自社製品、自社サービスと連携することを模索するために投資。共同研究も含む。		○	○	
Type4	情報収集	✓ 先進的な技術を保有する、又はサービスを行う企業に幅広く投資。業種は自社の業種に限定している場合もある。		○	△	○

(4) 日本企業の投資意図：投資意図の分類事例

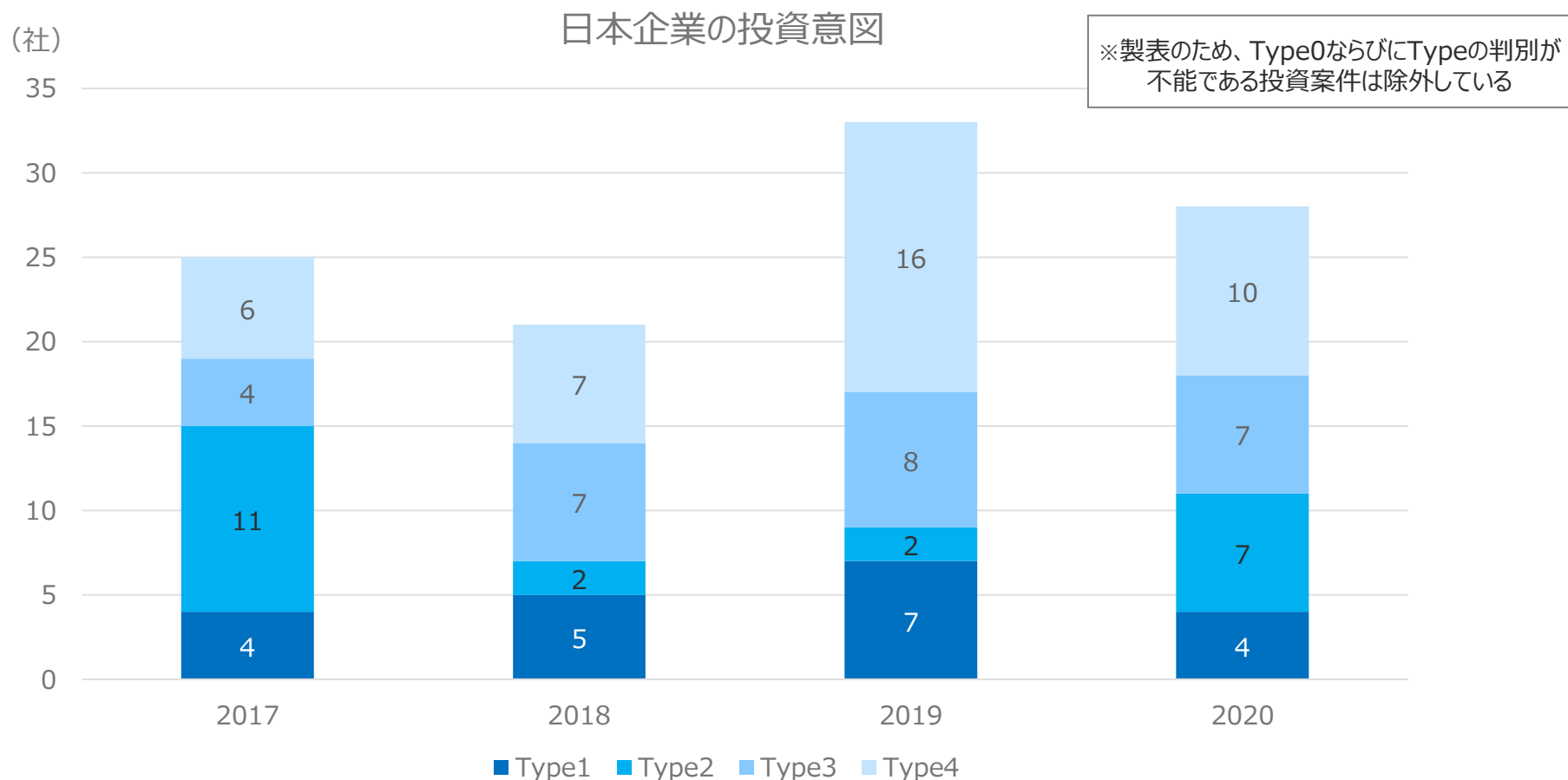
- 各分類を象徴するような投資事例については以下の通り。

イスラエルスタートアップへの投資意図の分類（投資事例）

分類		各Typeに分類した投資事例
Type1	自社事業への活用	<ul style="list-style-type: none"> ✓ A社は、自動車の電動化に必要なプラットフォーム技術を保有するV社に投資し、自社技術を用いてV社のプラットフォームを強化し、共同で国際展開を推進することを決めた。
Type2	新規事業・サービス導入	<ul style="list-style-type: none"> ✓ B社は、研究開発、製造を行う医療機器メーカーであるW社に投資し、同社製品の日本における販売権利を取得した。
Type3	事業連携	<ul style="list-style-type: none"> ✓ C社は、X社の行うIoTビジネスと自社事業の親和性が高いことから、自社サービスと組み合わせることで新たな価値を創造することが期待できることからX社に投資した。
Type4	情報収集	<ul style="list-style-type: none"> ✓ D社は、先端技術動向を継続的に収集するため、Y社の資金調達の際に、D社の同業他社であるE社を含む6社のうちの1社として、Y社に投資した。 ✓ F社は、先端的なブロックチェーン技術を保有するスタートアップ企業を対象とするCVCを通じて複数社に投資し、ブロックチェーン技術の動向を掴んでいる。

(4) 日本企業の投資意図 (事業会社のみ)

- 2017年は具体的な製品やサービスを求めて投資するケース (Type1やType2) が多かったが、年を経るに連れて、長期的な関係性 (Type3) や情報収集 (Type4) のために投資するケースも増えている。



(3) 海外企業によるイスラエルにおけるスタートアップへの投資動向

(再掲) 投資元国別 イスラエルスタートアップへの投資 (2017年～2020年累計)

- 「(1) イスラエルにおけるスタートアップへの投資動向」で判明した投資金額、投資件数上位の国より、主要国(米国、英国、ドイツ、中国、韓国)を抽出し、具体的な投資動向を調査する。

投資元国別投資件数 (件)

	国名	投資件数合計	投資件数合計 (事業会社のみ)
1	Israel	9,658	807
2	United States	3,779	780
3	Foreign (投資元国不明)	980	126
4	United Kingdom	341	56
5	Germany	246	139
6	China	227	85
7	Japan	209	145
8	Singapore	158	44
9	Hong Kong	133	24
10	Canada	121	19
11	South Korea	113	70
12	Switzerland	108	32

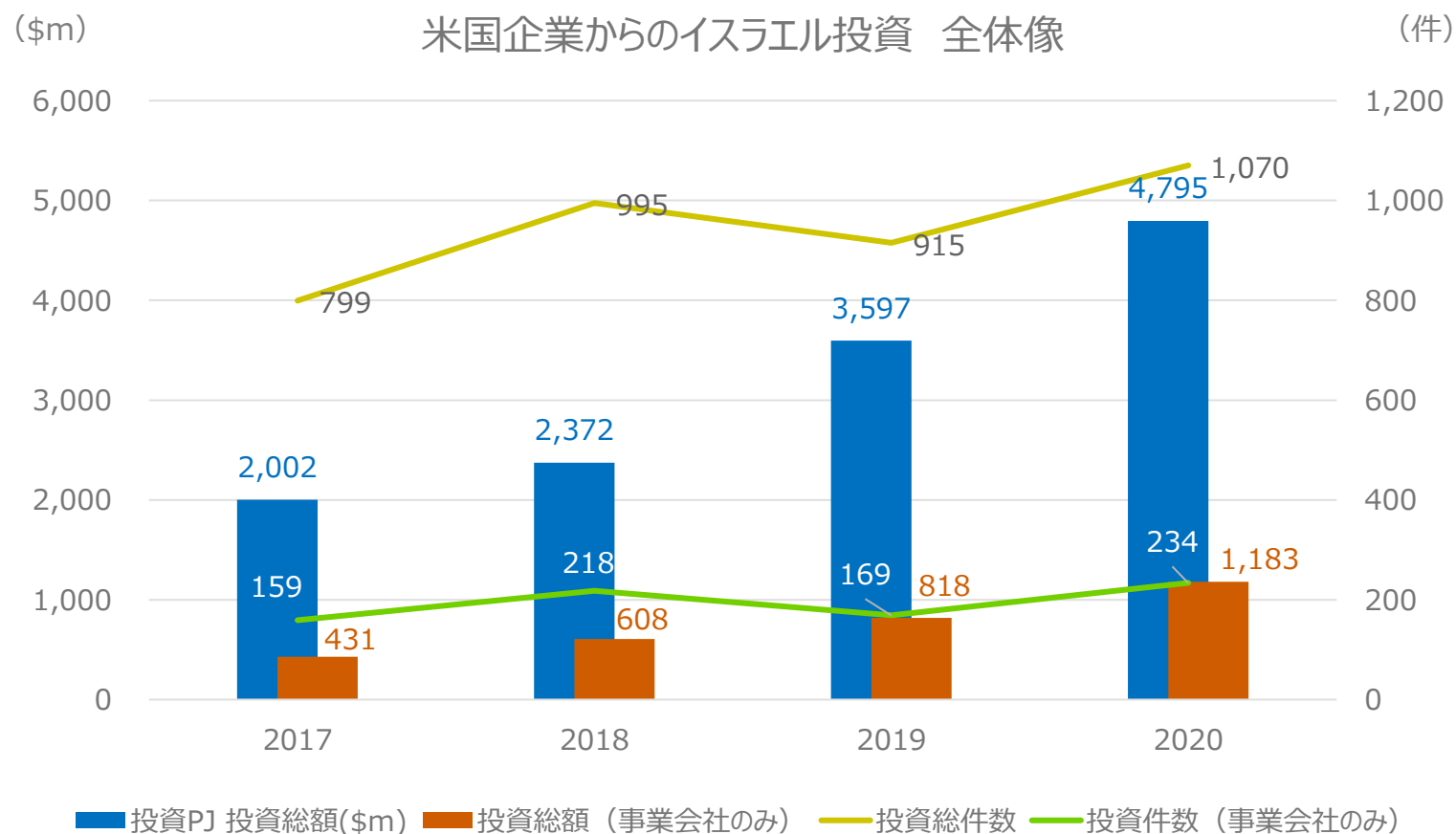
投資元国別投資金額(\$m)

	国名	投資金額合計	投資金額合計 (事業会社のみ)
1	Israel	17,097	1,222
2	United States	12,766	3,040
3	Foreign (投資元国不明)	2,538	1,308
4	United Kingdom	1,148	176
5	Germany	973	480
6	China	787	438
7	Japan	630	510
8	Singapore	392	187
9	Luxembourg	392	10
10	Hong Kong	355	83
11	Canada	314	41
12	South Korea	307	194

①米国の投資動向

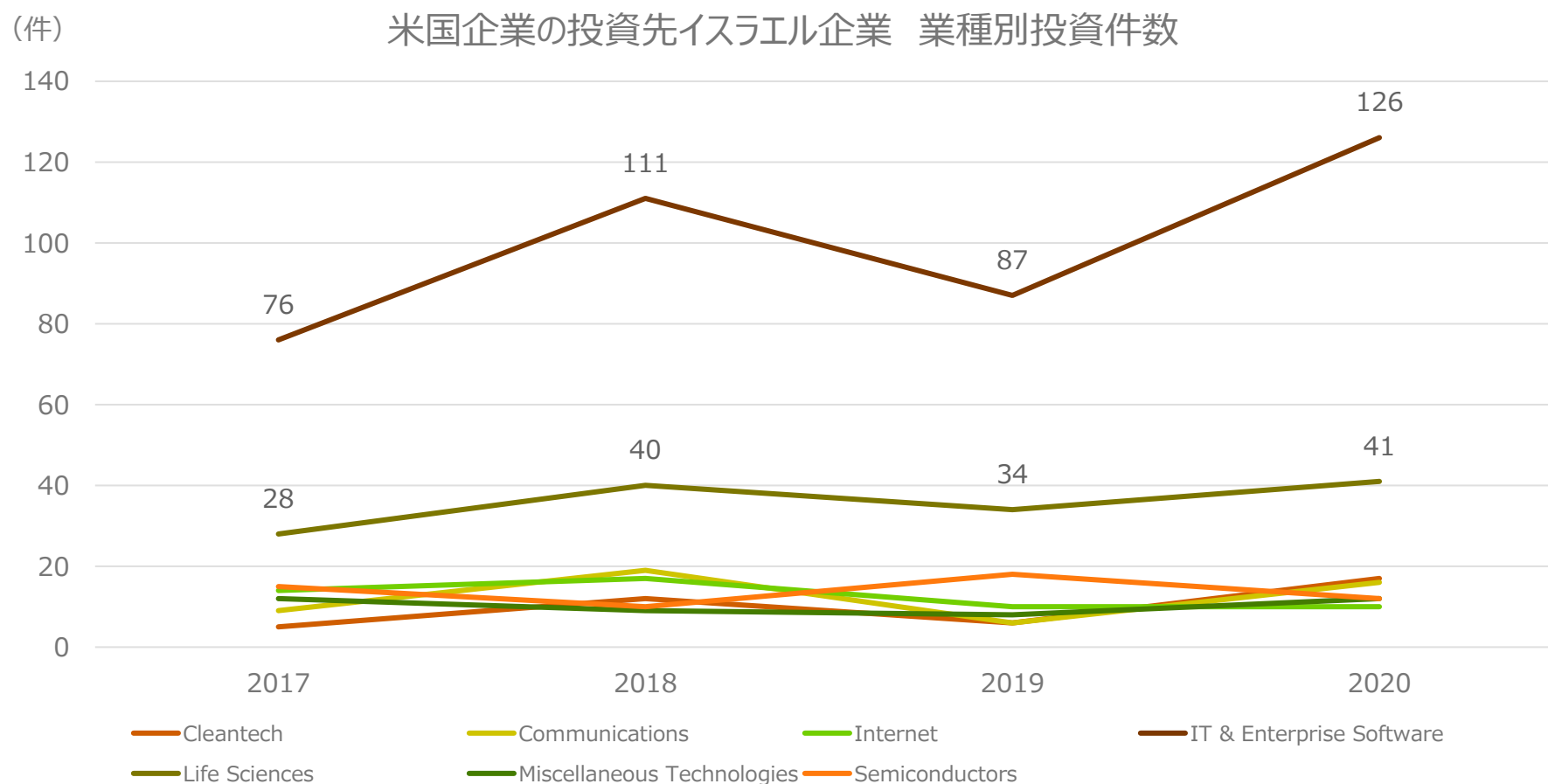
(0) 米国企業からイスラエルスタートアップへの投資 全体像

- 米国企業からイスラエルのスタートアップへの投資について、2017年から2020年にかけて、投資金額と投資件数ともに増加傾向にある。
- 全体において、事業会社と比較してVCなどからの投資が大きな割合を占める。



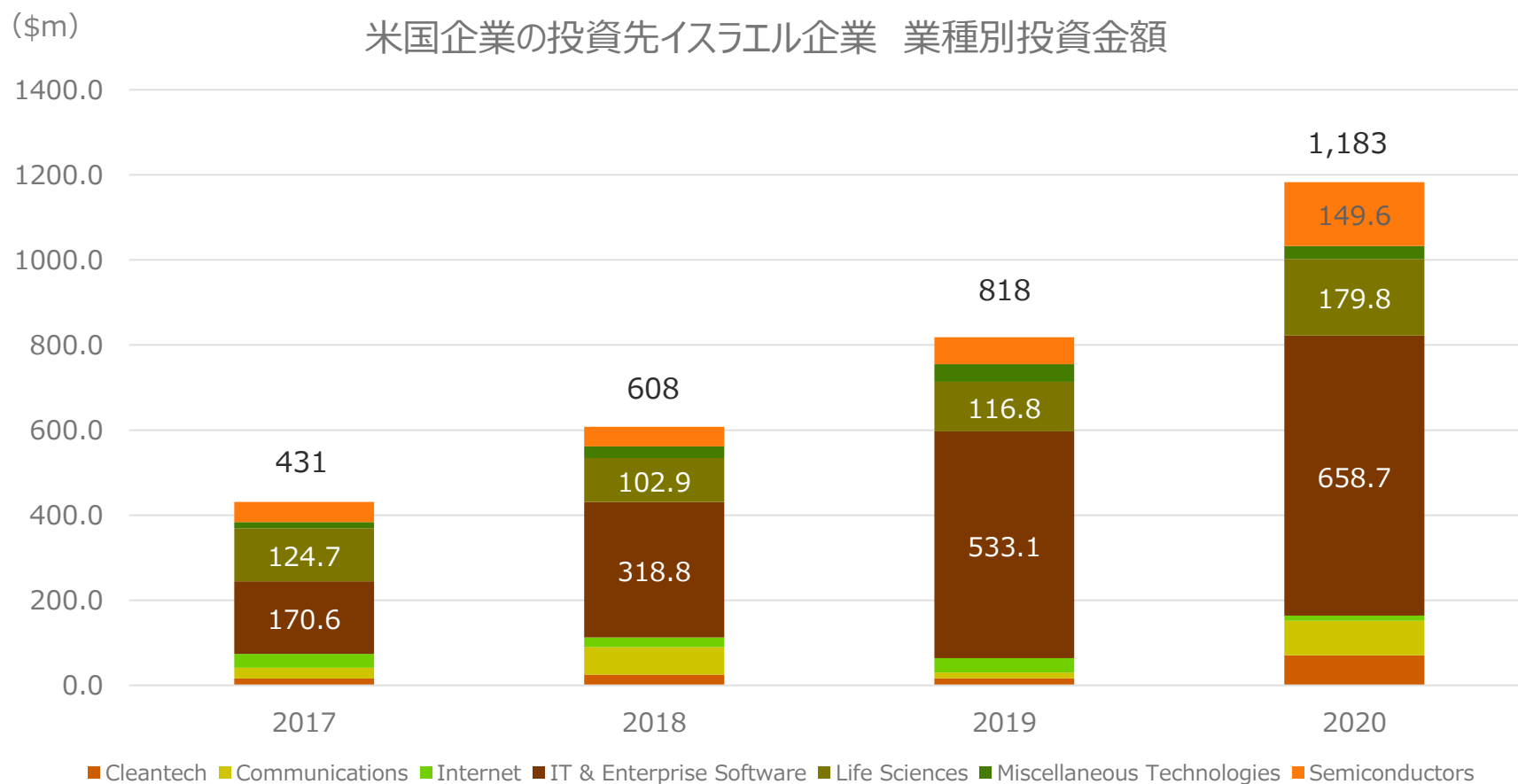
(1) 米国企業の投資先企業の業種別投資件数（事業会社のみ）

- 米国企業が投資するイスラエルのスタートアップの業種別の投資件数は、IT & Enterprise Software企業の割合が大きく、続いてLife Science企業の割合が大きい。



(1) 米国企業の投資先企業の業種別投資金額（事業会社のみ）

- 米国企業によるイスラエルのスタートアップへの投資金額は、投資件数と同様、IT & Enterprise Software企業、Life Science企業への割合が堅調に伸びている。これに加え、2020年はSemiconductors企業への大型投資が実施された。



(1) 米国企業の投資先企業の業種別投資金額：各年の投資金額上位の投資案件

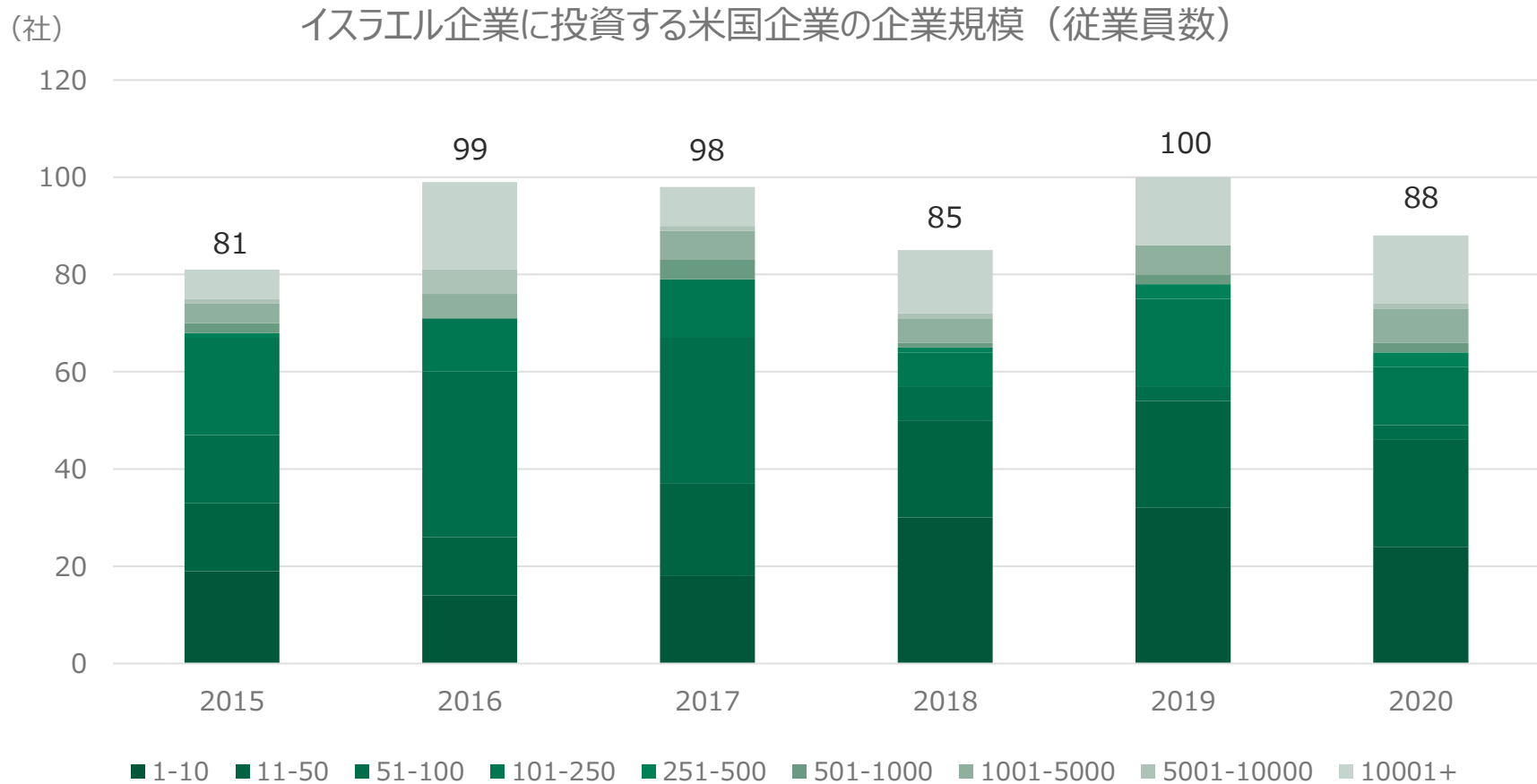
- 米国企業からの投資は、近年大型化している。日本企業と同様に、複数回に渡る大型投資も多い。

		投資先企業名	投資先企業の業種	投資元企業名	投資元企業の業種	推計投資金額 (\$m)	案件投資総額 (\$m)
2017	①	Cybereason Labs Ltd.	IT & Enterprise Software	Lockheed Martin Ventures	Corporate VC	25	100
	②	Mazor Robotics Ltd.	Life Sciences	Medtronic Plc.	HT	20	40
	③	VBI Vaccines Inc.	Life Sciences	OPKO Health Inc.	HT	14.4	71.9
2018	①	Mapi Pharma Ltd.	Life Sciences	Mylan N.V.	HT	20	20
	②	Compugen Ltd.	Life Sciences	Bristol-Myers Squibb	HT	12	12
	③	Lendbuzz Inc.	IT & Enterprise Software	Bank Hapoalim B.M (BHI USA)	Other	11	33
2019	①	Next Insurance Inc.	IT & Enterprise Software	Munich Re Ventures	Corporate VC	125	250
	②	Cybereason Labs Ltd.	IT & Enterprise Software	Lockheed Martin Ventures	Corporate VC	50	200
	③	Lendbuzz Inc.	IT & Enterprise Software	Bank Hapoalim B.M (BHI USA) Israel Discount Bank of New York (IDB Bank)	Other Bank/ Finance Company	26 26	130
2020	①	Nova Measuring Instruments Ltd.	Semiconductors	Undisclosed American institutional investors	Other	100	200
	②	Sentinel Labs Inc. (SentinelOne)	IT & Enterprise Software	Qualcomm Ventures (QCV)	Corporate VC	44.5	267
	③	Sentinel Labs Inc. (SentinelOne)	IT & Enterprise Software	Qualcomm Ventures (QCV)	Corporate VC	40	200
		Ecoppia Scientific Ltd.	Cleantech	CIM Group	Real Estate	40	40

※同一企業へ複数回の大型投資を行っている投資案件をハイライトしている。

(2) 米国企業の企業規模

イスラエルのスタートアップに投資する米国企業は、比較的規模の小さい企業が多く、特に50人以下の規模の企業数が増えている。

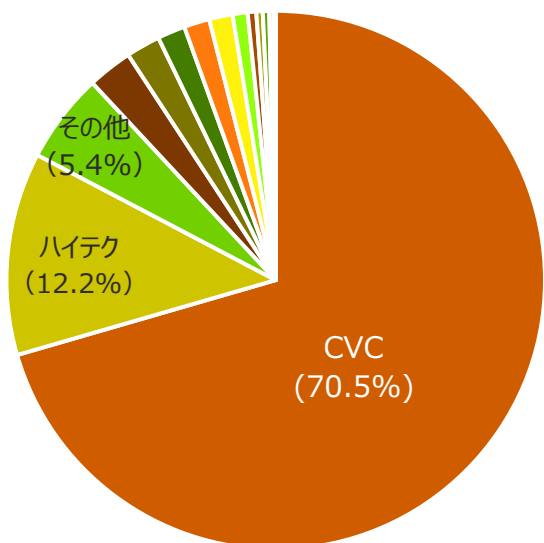


※Crunchbase上で、VCに分類される企業は対象から除外しているが、アクセラレータなどは含まれるため、小規模事業者の件数が比較的多く出やすい傾向がある。

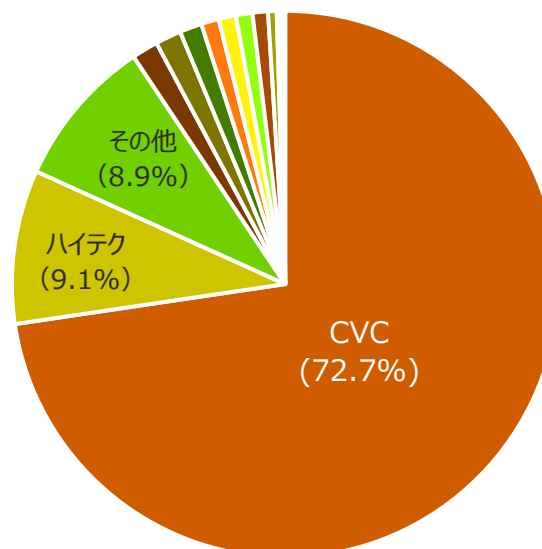
(3) 米国企業の業種別投資動向（事業会社のみ）（2017年～2020年累計）

- 業種別では、投資金額・投資件数ともに、CVC経由での投資が7割を占め、事業会社が投資をする際は、CVCを経由することが多いことがわかる。
- CVCを除くとハイテク産業の割合が大きい。

米国企業の業種別 投資件数
(計780件)



米国企業の業種別 投資金額
(計3,040百万ドル)



- Corporate VC
- Other
- Holding Company
- Telecom & Media
- Insurance
- Professional Services Company
- HT
- Corporate Accelerator
- Traditional Industry
- Retail
- Bank/ Finance Company
- Services

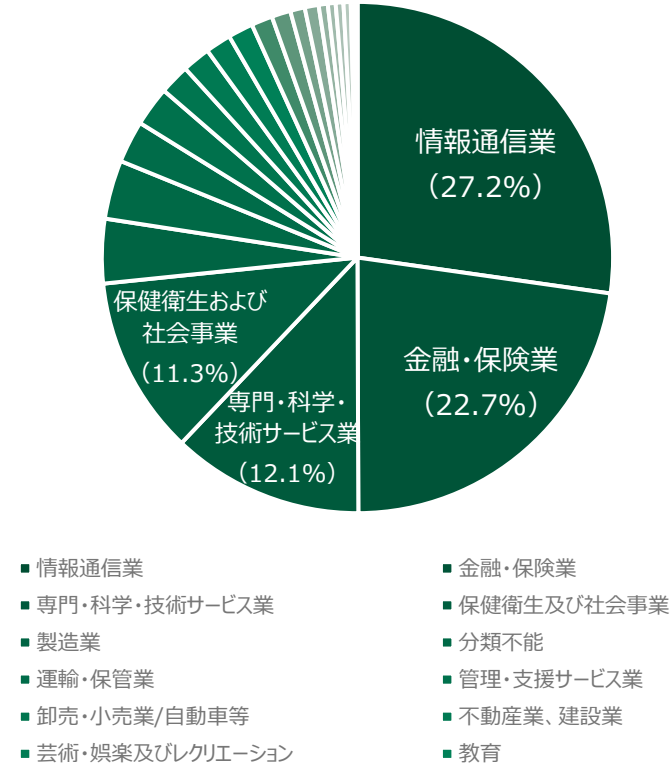
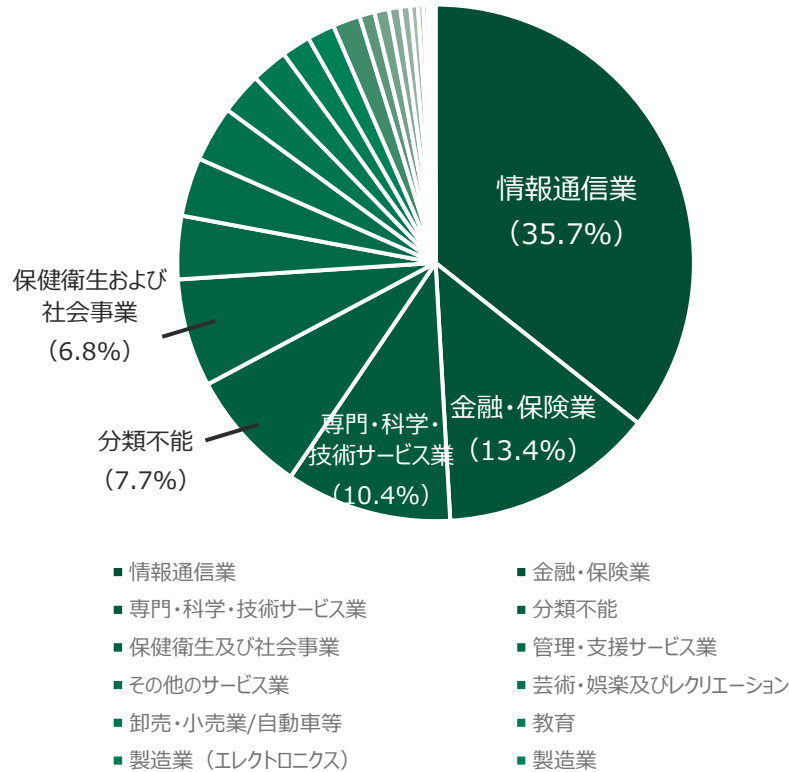
- Corporate VC
- Other
- Holding Company
- Bank/ Finance Company
- Retail
- Telecom & Media
- HT
- Traditional Industry
- Real Estate
- Corporate Accelerator
- Insurance
- Professional Services Company

(参考) 米国企業の業種別投資動向 (事業会社のみ)

イスラエルのスタートアップに投資する米国企業の業種は、比較的日本と似通っており、金融・保険業、保健衛生および社会事業の割合が大きい点が特徴的である。

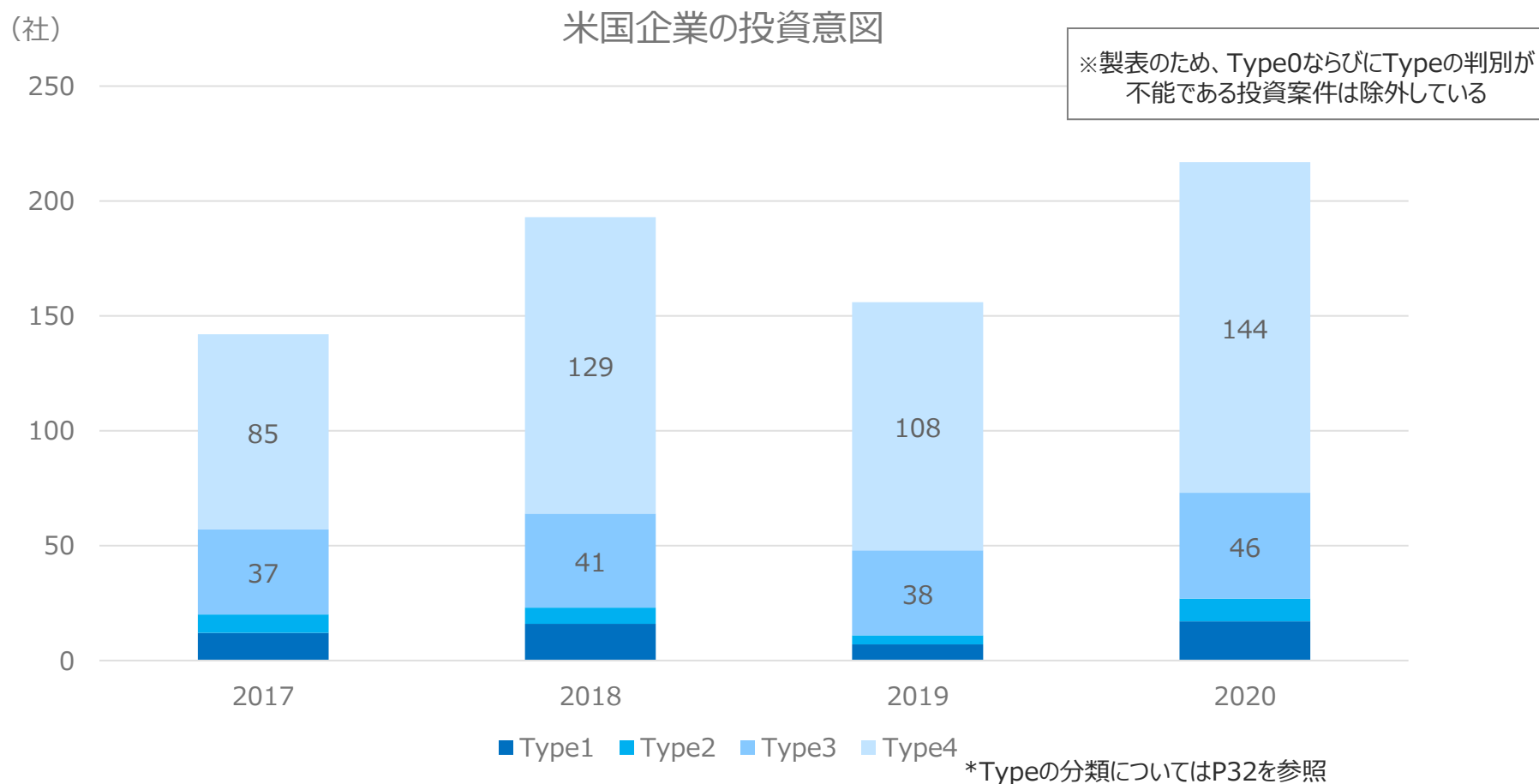
米国企業の業種別 投資件数/2015年～2020年
(計2,098件)

米国企業の業種別 投資金額/2015年～2020年
(計1,568百万ドル)



(4) 米国企業の投資意図（事業会社のみ）

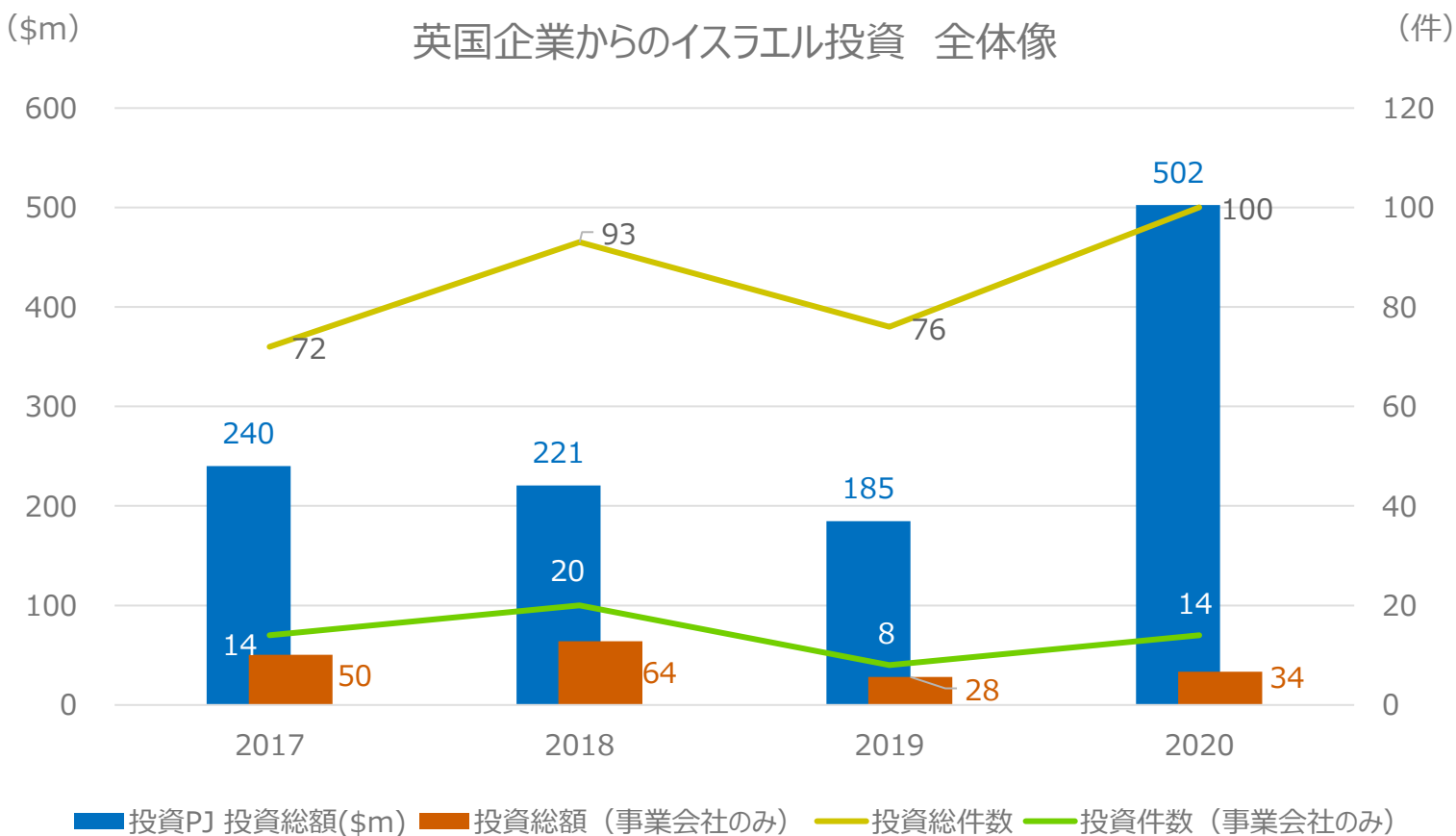
- 米国企業からの投資は、大多数が喫緊で具体的な連携を求めないType3かType4に分類される。
- CVC経由での投資の場合、投資実施の公表のみで、投資意図について触れていない企業も多い。



②英国の投資動向

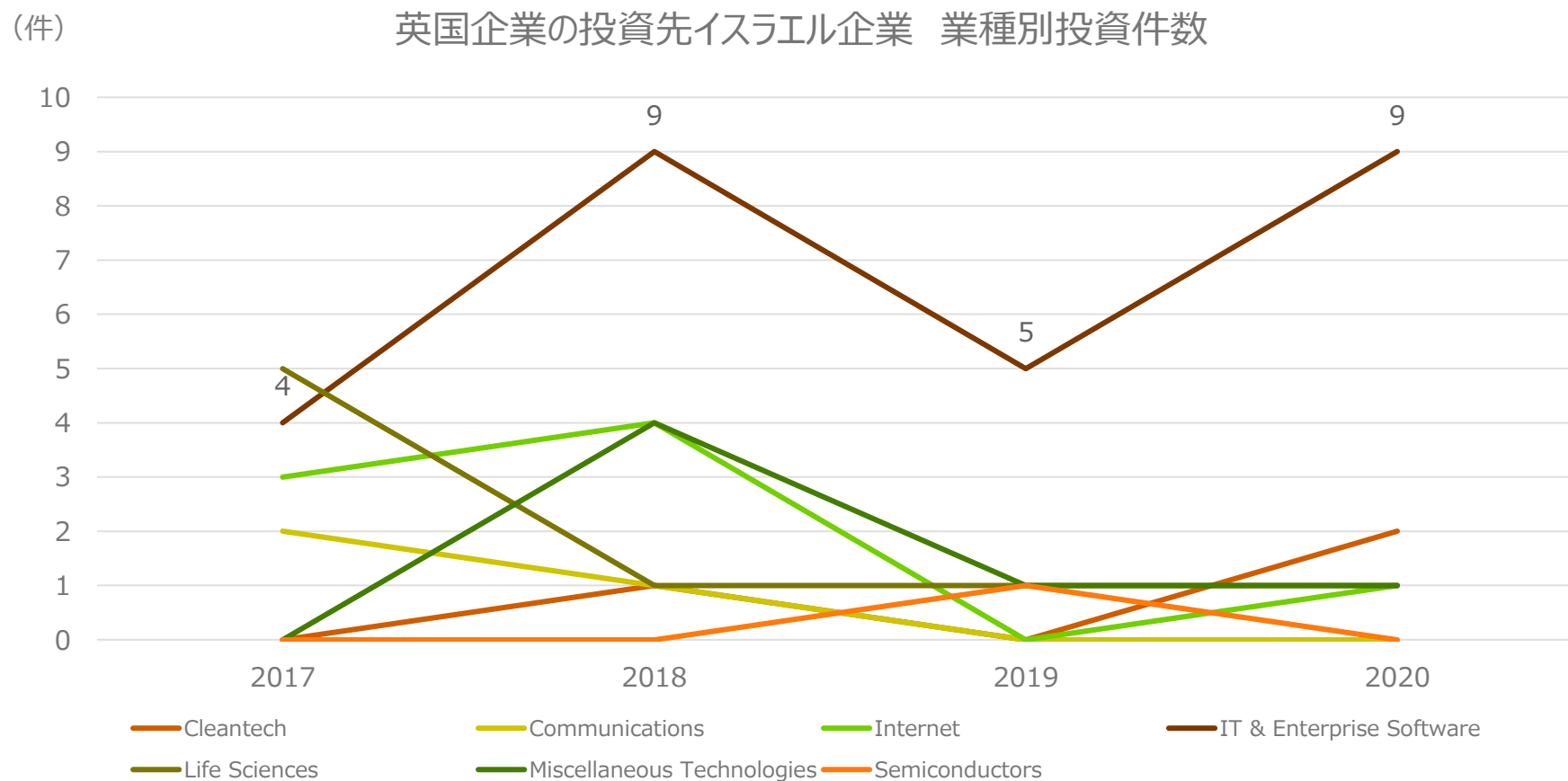
(0) 英国企業からイスラエルスタートアップへの投資 全体像

- 英国企業からイスラエルのスタートアップへの投資について、2017年から2019年と比べ、2020年の投資金額は非常に大きい。
- 事業会社からの投資を見ると、2020年を含め、全体に占める割合は、件数、金額ともに小さい。



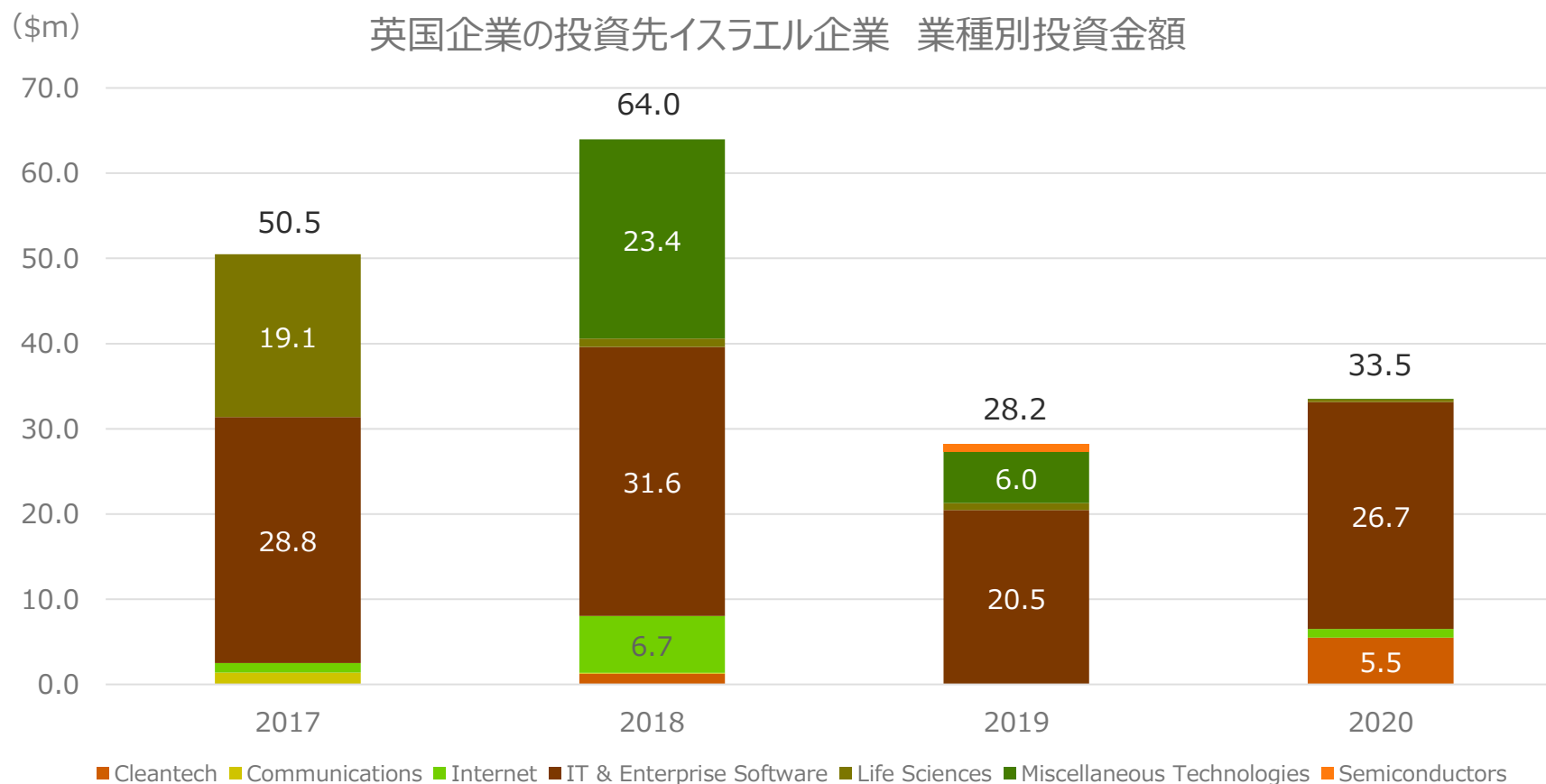
(1) 英国企業の投資先企業の業種別投資件数（事業会社のみ）

- 英国企業が投資するイスラエルのスタートアップの業種は、2018年から2020年にかけて、圧倒的にIT & Enterprise Software企業の割合が大きくなっている。



(1) 英国企業の投資先企業の業種別投資金額（事業会社のみ）

- 投資金額を投資先スタートアップの業種別にみると、例年IT & Enterprise Software企業の割合が大きい。
- 2018年は、Miscellaneous Technologies（その他技術）企業に大型投資があった。



(1) 英国企業の投資先企業の業種別投資金額：各年の投資金額上位の投資案件

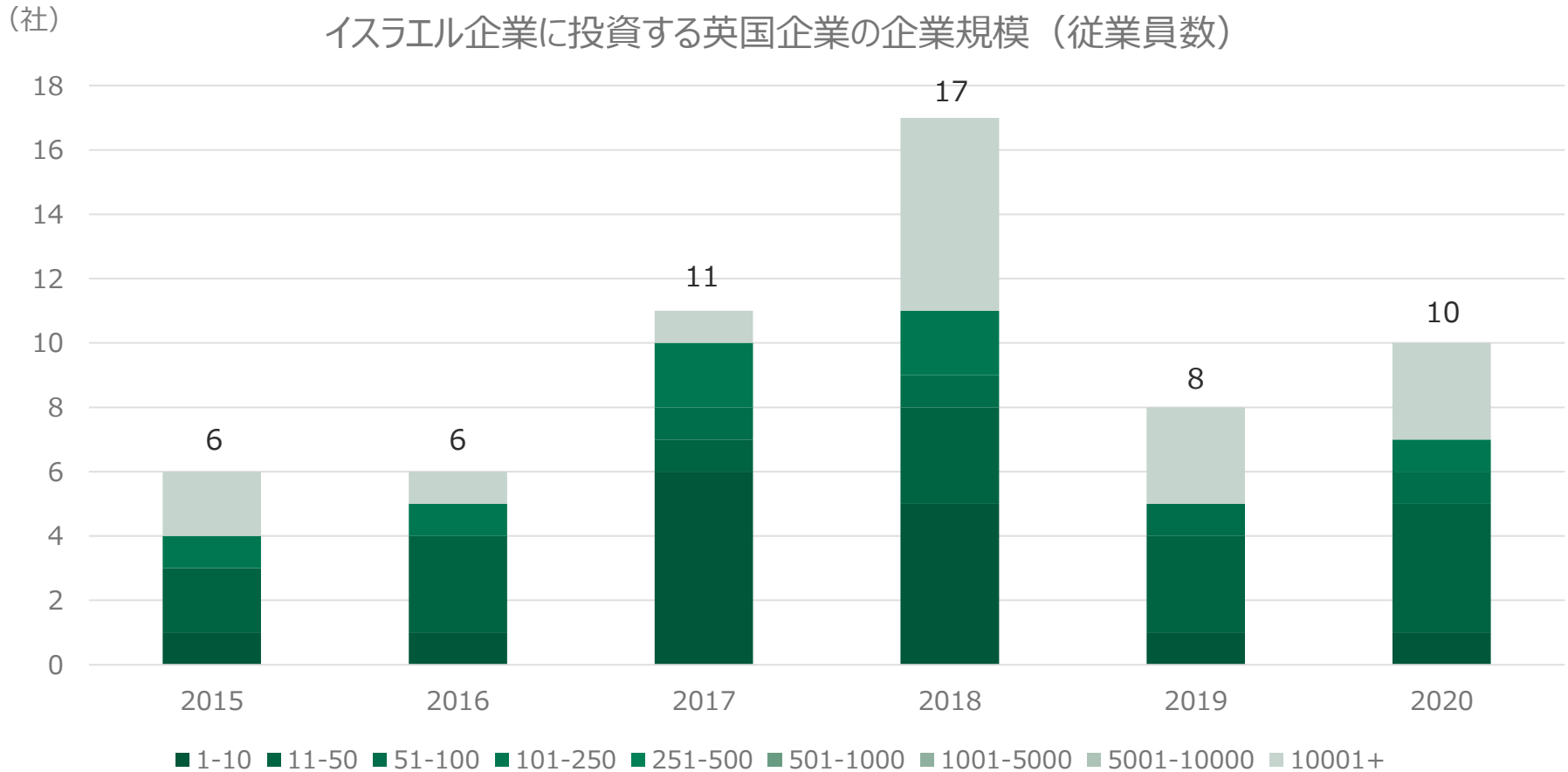
- 英国企業の大型投資においては、金融グループによる投資案件が目立つ。

		投資先企業名	投資先企業の業種	投資元企業名	投資元企業の業種	推計投資金額 (\$m)	案件投資総額 (\$m)
2017	①	Trax Solutions Retail Ltd.	IT & Enterprise Software	Investec Bank plc	Bank/ Finance Company	12.5	25
	②	Trax Solutions Retail Ltd.	IT & Enterprise Software	Investec Bank plc	Bank/ Finance Company	10.7	32
	③	LogicBio Therapeutics Research Ltd.	Life Sciences	Arix Bioscience	HT	9	45
2018	①	StoreDot Ltd.	Miscellaneous Technologies	BP Ventures	Corporate VC	20	20
	②	Trax Solutions Retail Ltd.	IT & Enterprise Software	Investec Bank plc	Bank/ Finance Company	17.9	125
	③	Albert Technologies Ltd.	Internet	Old Mutual Global Investors (Old Mutual plc)	Holding Company	6	18
2019	①	Trax Solutions Retail Ltd.	IT & Enterprise Software	Investec Bank plc	Bank/ Finance Company	12.5	100
	②	REE Automotive Ltd.	Miscellaneous Technologies	Fiat Chrysler Automobiles (FCA)	Traditional Industry	6	120
	③	Trigo Vision Ltd.	IT & Enterprise Software	Tesco PLC	Retail	4.5	27
2020	①	Trigo Vision Ltd.	IT & Enterprise Software	Tesco PLC	Retail	7.5	60
	②	Biocatch Ltd.	IT & Enterprise Software	Barclays UK Ventures (BUKV) HSBC Strategic Innovation Investments (HSBC CVC)	Corporate VC Corporate VC	5 5	20 20

※金融系の投資元企業を黄色でハイライトしている。

(2) 英国企業の企業規模

イスラエルのスタートアップに投資する英国企業は、1～50名規模の小企業が多いが、大企業の投資もやや増えてきている。

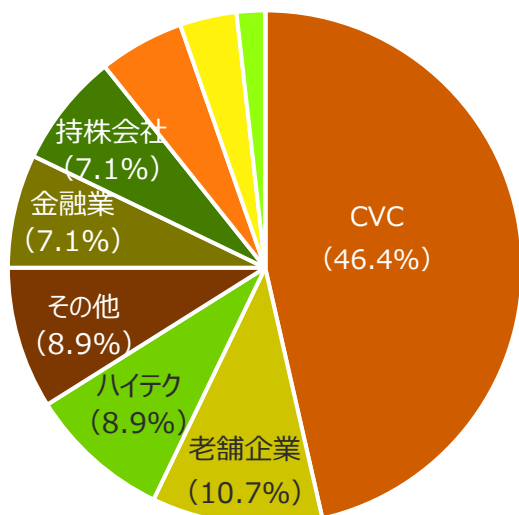


※Crunchbase上で、VCに分類される企業は対象から除外しているが、アクセラレータなどは含まれるため、小規模事業者の件数が比較的多く出やすい傾向がある。

(3) 英国企業の業種別投資動向（事業会社のみ）（2017年～2020年累計）

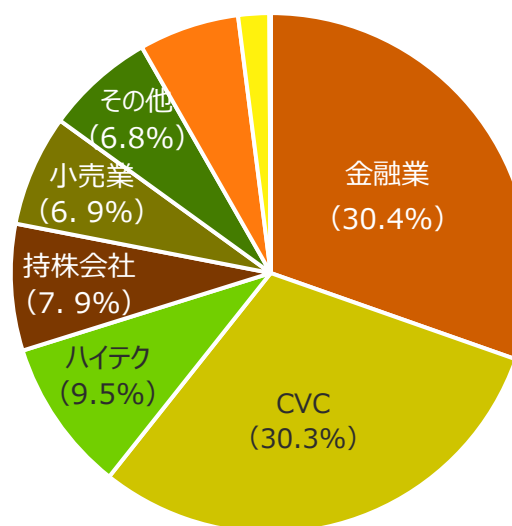
- 英国企業は、投資件数ではCVCが過半を占めるが、投資金額は金融業が最も大きい。

英国企業の業種別 投資件数
(計56件)



- | | |
|-------------------------|---------------------------------|
| ■ Corporate VC | ■ Traditional Industry |
| ■ HT | ■ Other |
| ■ Bank/ Finance Company | ■ Holding Company |
| ■ Retail | ■ Services |
| ■ Telecom & Media | ■ Real Estate |
| ■ Insurance | ■ Professional Services Company |

英国企業の業種別 投資金額
(計176百万ドル)



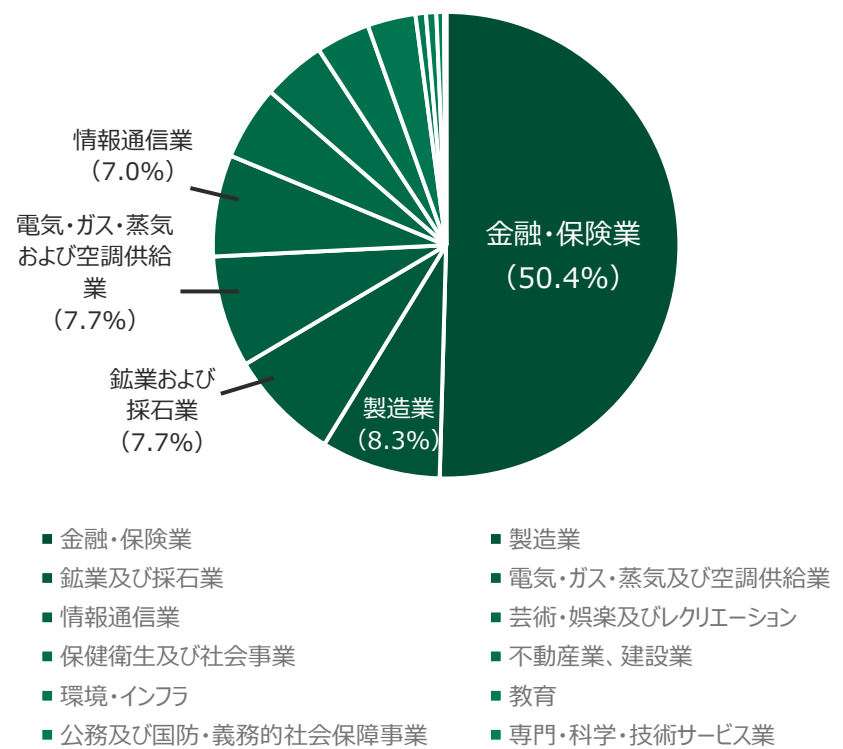
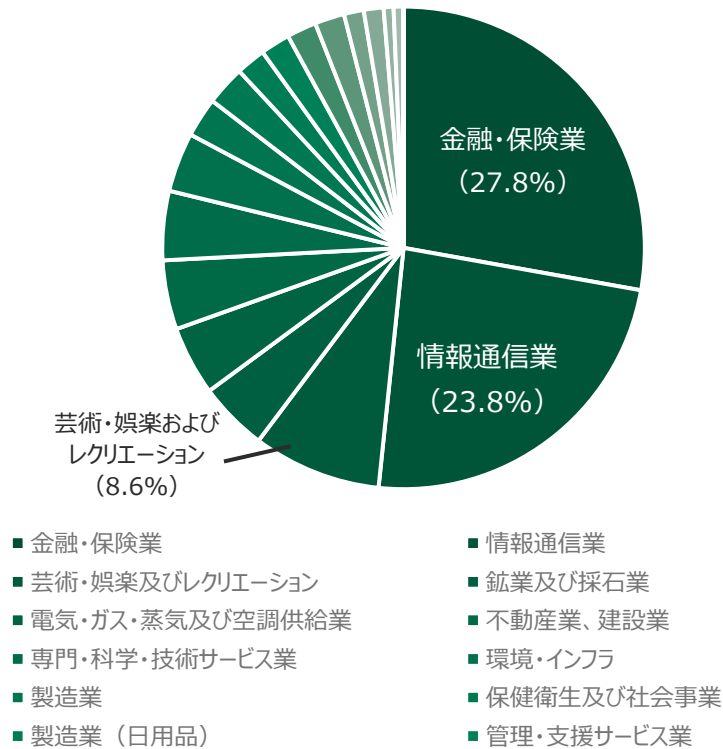
- | | |
|-------------------------|---------------------------------|
| ■ Bank/ Finance Company | ■ Corporate VC |
| ■ HT | ■ Holding Company |
| ■ Retail | ■ Other |
| ■ Traditional Industry | ■ Services |
| ■ Telecom & Media | ■ Real Estate |
| ■ Insurance | ■ Professional Services Company |

(参考) 英国企業の業種別投資動向 (事業会社のみ)

英国企業による投資件数をみると、金融・保険業と情報通信業が多い。
投資金額をみると、金融・保険業が過半と極端に多く、その他は横並びの状況である。

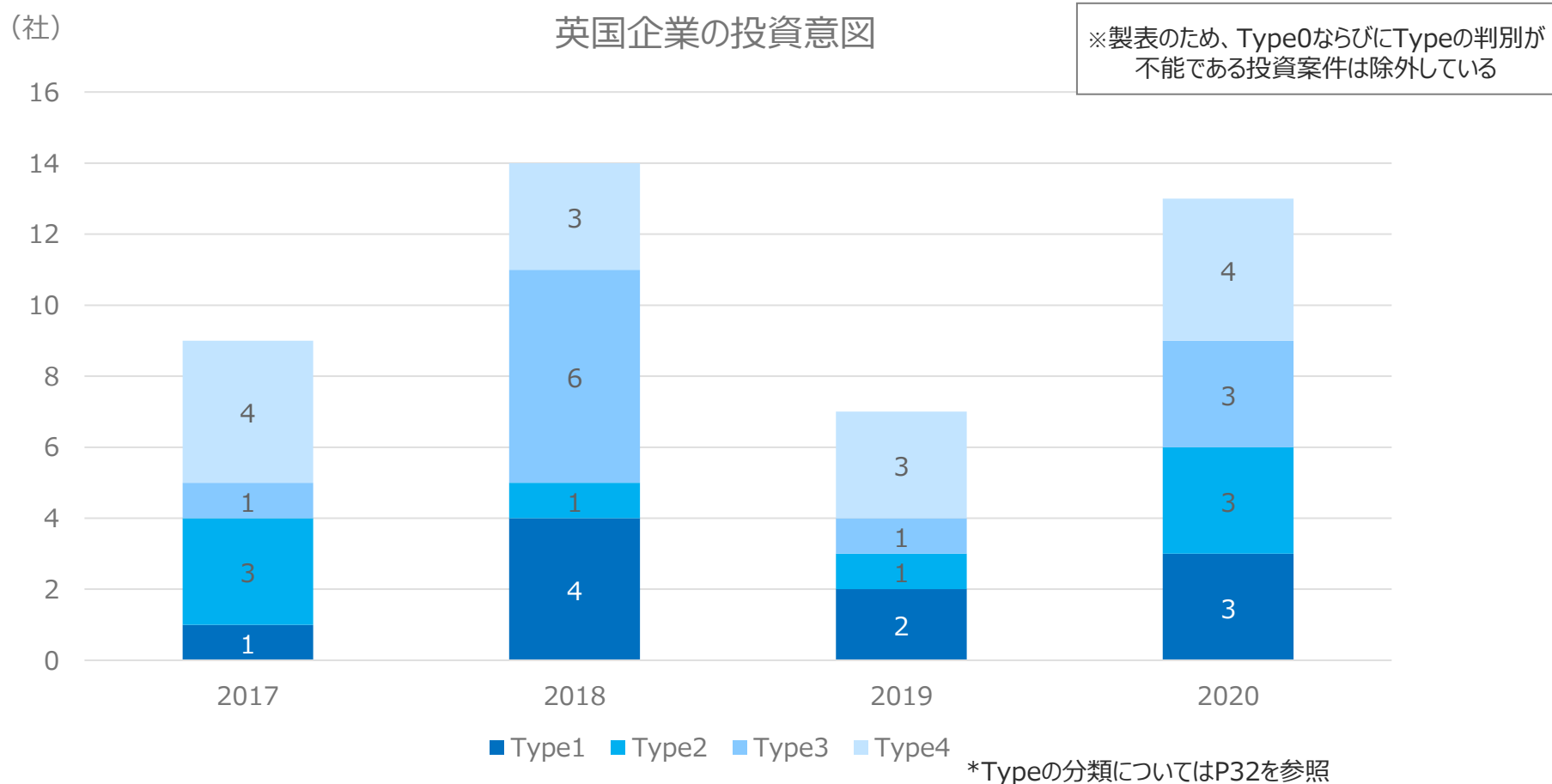
英国企業の業種別 投資件数/2015年～2020年
(計151件)

英国企業の業種別 投資金額/2015年～2020年
(計151百万ドル)



(4) 英国企業の投資意図 (事業会社のみ)

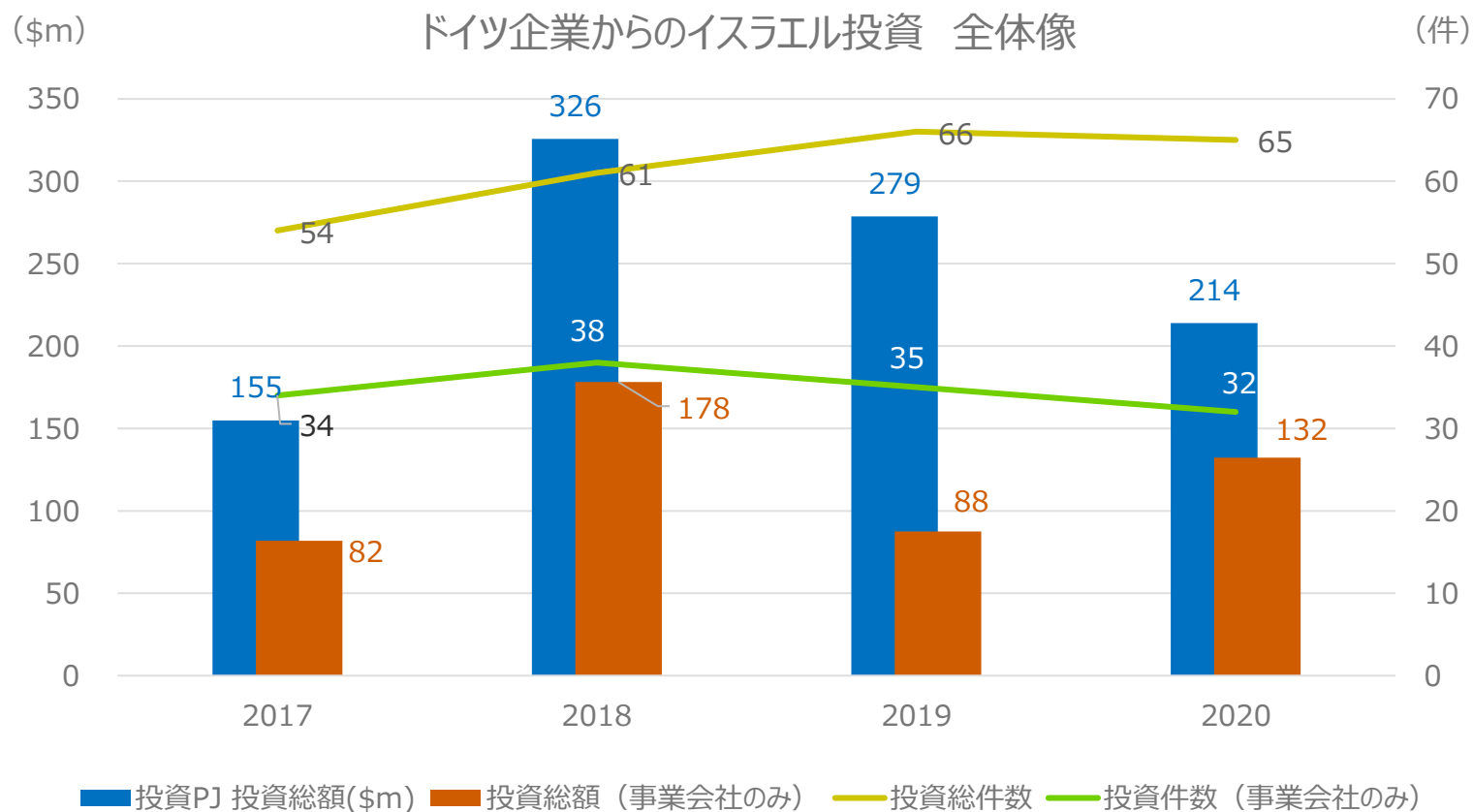
- 英国企業は、米国企業と比較し、投資先企業の技術の採用など、実利を求めて投資するケース (Type1とType2に分類) が多い。



③ドイツの投資動向

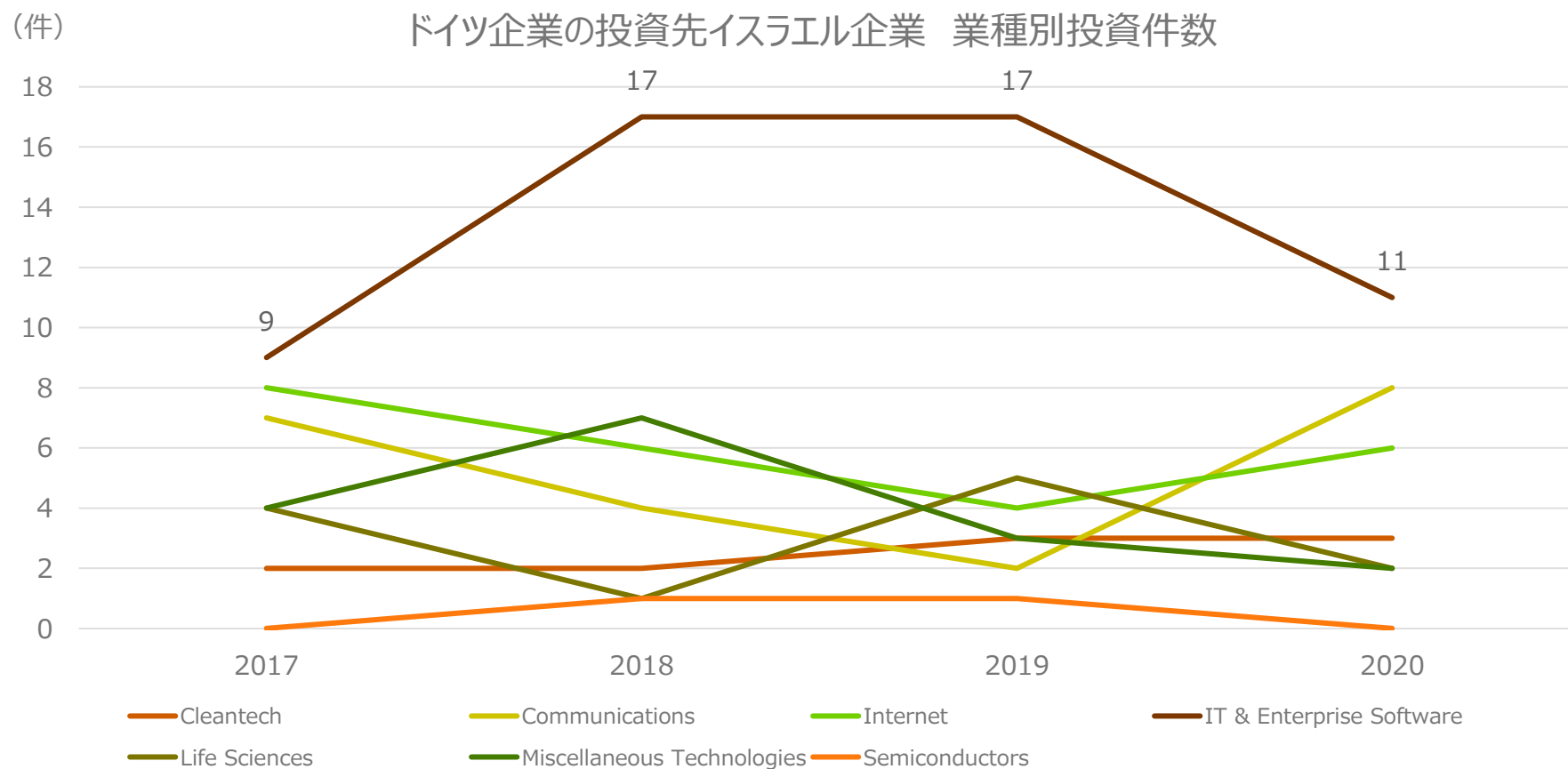
(0) ドイツ企業からイスラエルスタートアップへの投資 全体像

- ドイツ企業からイスラエルのスタートアップへの投資を見ると、直近は投資金額がやや減少傾向にあるが、投資件数は年間60件前後で、横ばいで推移している。
- 事業会社からの投資は、年によって投資金額にばらつきがあるものの、件数は横ばいで推移している。



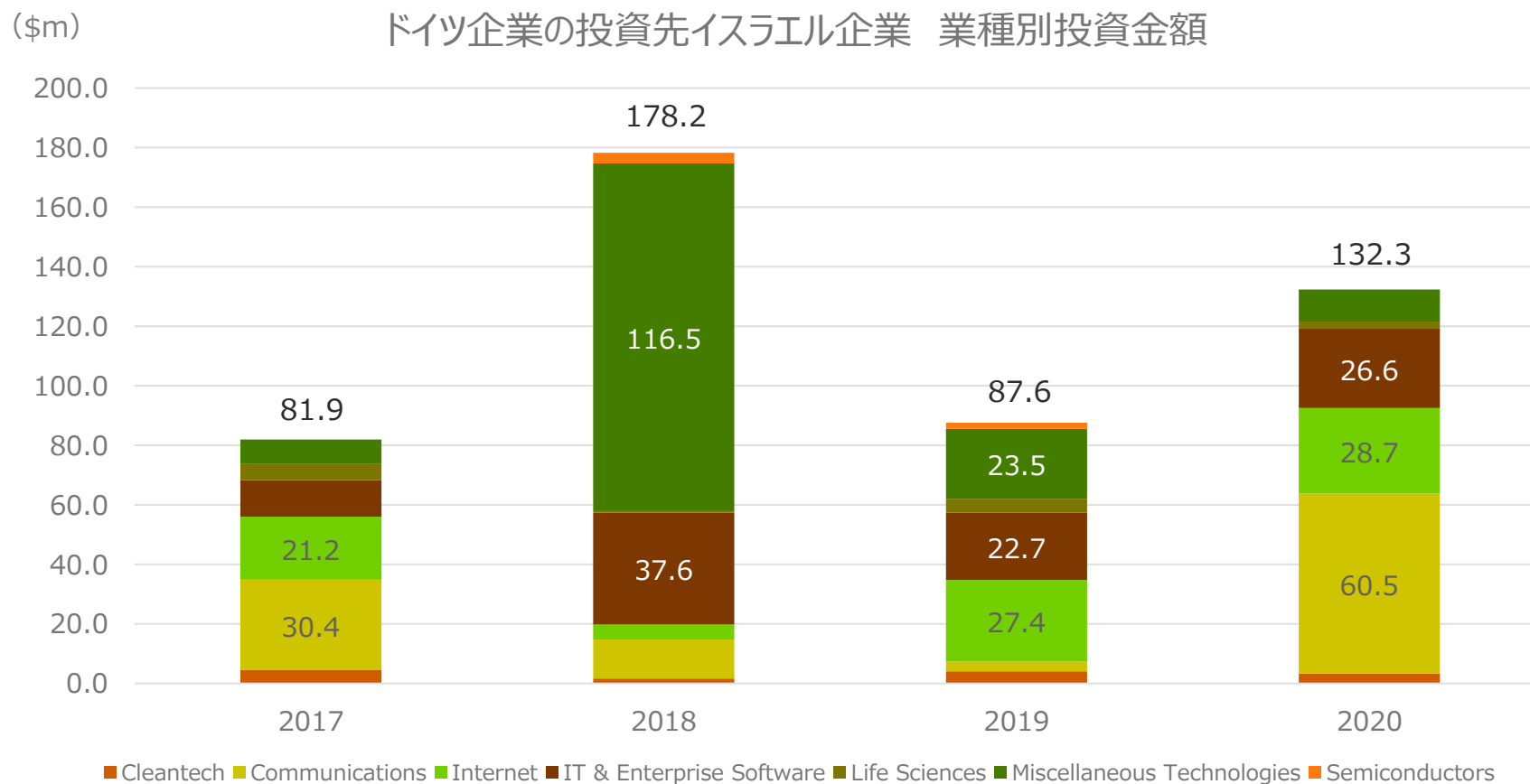
(1) ドイツ企業の投資先企業の業種別投資件数（事業会社のみ）

- ドイツ企業からの投資は、いずれの年もIT & Enterprise Software企業への投資が多い。
- 2017年、2020年は比較的様々な業種の企業へ投資を行っている。



(1) ドイツ企業の投資先企業の業種別投資金額（事業会社のみ）

- 2018年にMiscellaneous Technologies（その他技術）企業に大型投資があった他、投資金額からみる投資先スタートアップの業種については、年によって傾向が異なる。



(1) ドイツ企業の投資先企業の業種別投資金額：各年の投資金額上位の投資案件

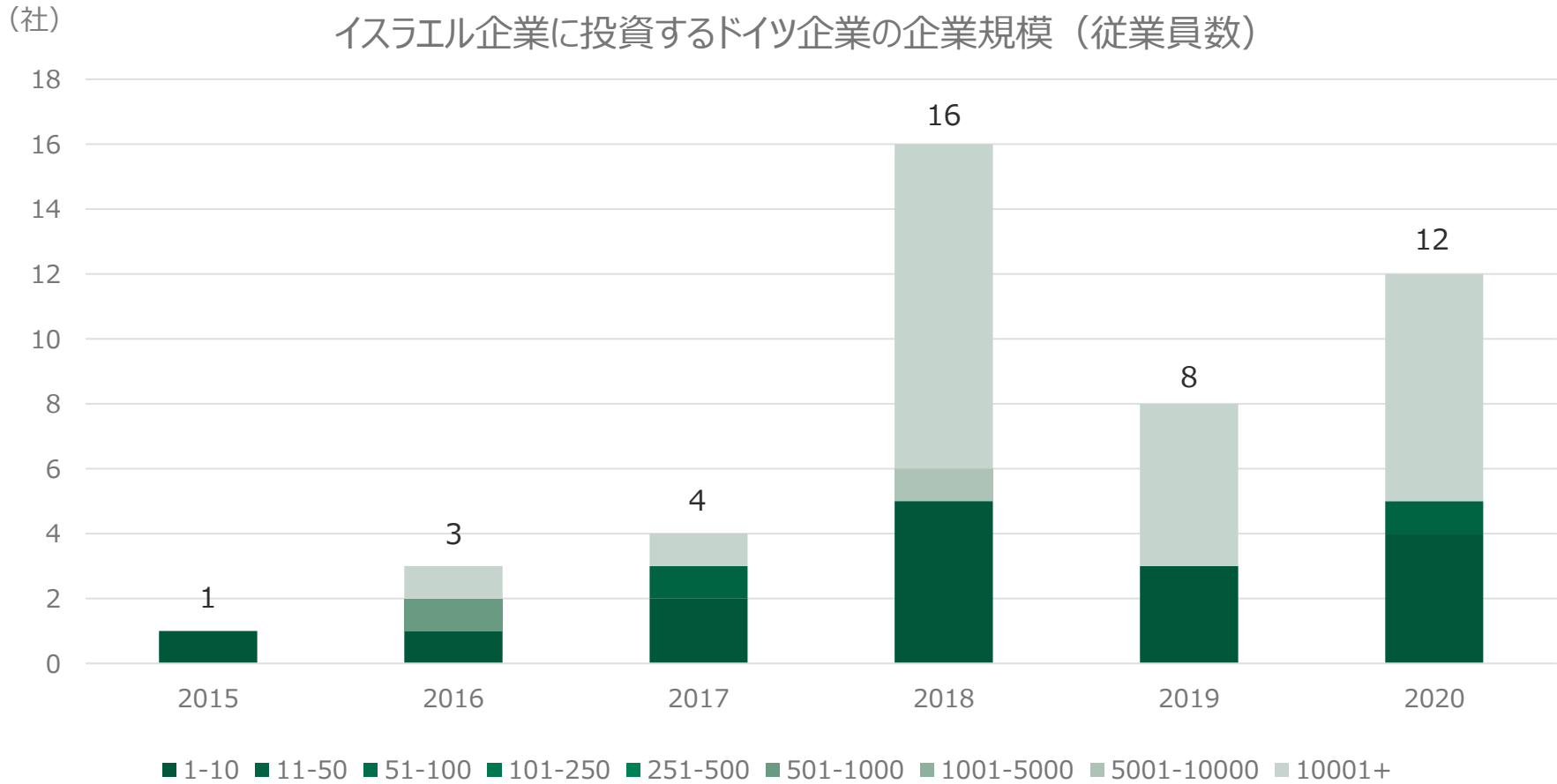
- 2018年のAltana社からの投資が飛びぬけて大きい。全体的に、大型投資は自動車メーカーを中心に大企業が多い。

		投資先企業名	投資先企業の業種	投資元企業名	投資元企業の業種	推計投資金額 (\$m)	案件投資総額 (\$m)
2017	①	Lemonade Ltd.	Internet	Allianz X	Corporate VC	10.9	120
	②	Via Transportation Ltd.	Communications	Mercedes Benz	Traditional Industry	10.9	250
				Daimler M&A Tech Invest	Corporate VC	10.9	
2018	①	Landa Corp. (Landa Digital Printing)	Miscellaneous Technologies	Altana AG	Traditional Industry	100	300
	②	Gett Inc.	Communications	Volkswagen Group	Traditional Industry	8	80
	③	AnyVision Interactive Technologies Ltd.	IT & Enterprise Software	Robert Bosch Venture Capital (RBVC) GmbH	Corporate VC	7	28
2019	①	Lemonade Ltd.	Internet	Allianz X	Corporate VC	23.1	300
	②	Tulip Interfaces Inc.	Miscellaneous Technologies	DMG Mori Seiki Company Ltd.	Traditional Industry	21.1	21.1
	③	Fundbox Ltd.	IT & Enterprise Software	Allianz X	Corporate VC	6.8	176
2020	①	AppsFlyer Ltd.	Communications	Deutsche Telekom Capital Partners (DTCP)	Corporate VC	23.3	210
	②	Global-e Online Ltd.	Internet	DHL International GmbH	Services	20	60
	③	Via Transportation Ltd.	Communications	Daimler M&A Tech Invest	Corporate VC	12.5	400
Mercedes Benz				Traditional Industry	12.5		

※自動車関連の投資元企業を黄色でハイライトした。

(2) ドイツ企業の企業規模

イスラエルのスタートアップに投資するドイツ企業は、他の欧米諸国に比べ、10000名を超える大企業が多い点に特徴がある。

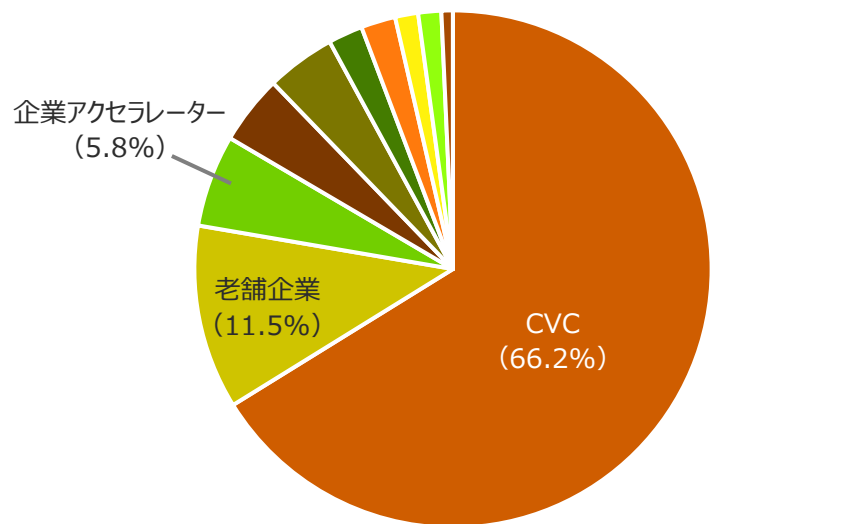


※Crunchbase上で、VCに分類される企業は対象から除外しているが、アクセラレータなどは含まれるため、小規模事業者の件数が比較的多く出やすい傾向がある。

(3) ドイツ企業の業種別投資動向（事業会社のみ）（2017年～2020年累計）

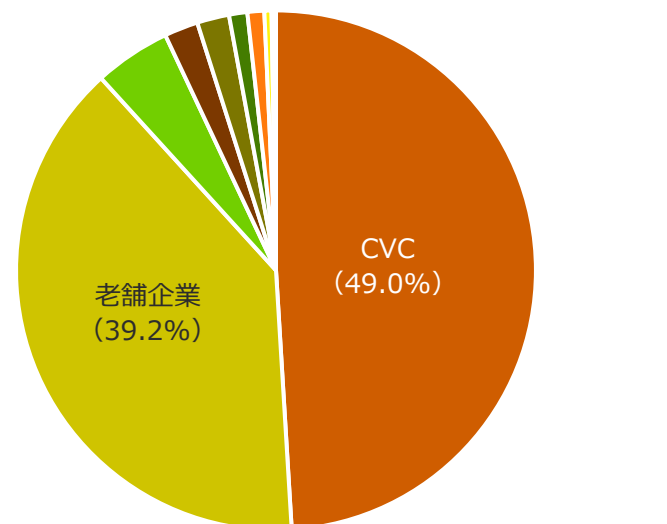
- イスラエルのスタートアップに投資するドイツ企業は、CVC経由で投資することが多い。
- CVC経由でない場合も老舗企業というカテゴリーが大きいことから、大企業が多いと推測される。

ドイツ企業の業種別 投資件数
(計139件)



- Corporate VC
- Corporate Accelerator
- Other
- Bank/ Finance Company
- Telecom & Media
- Real Estate
- Traditional Industry
- HT
- Services
- Holding Company
- Insurance
- Professional Services Company

ドイツ企業の業種別 投資金額
(計480百万ドル)

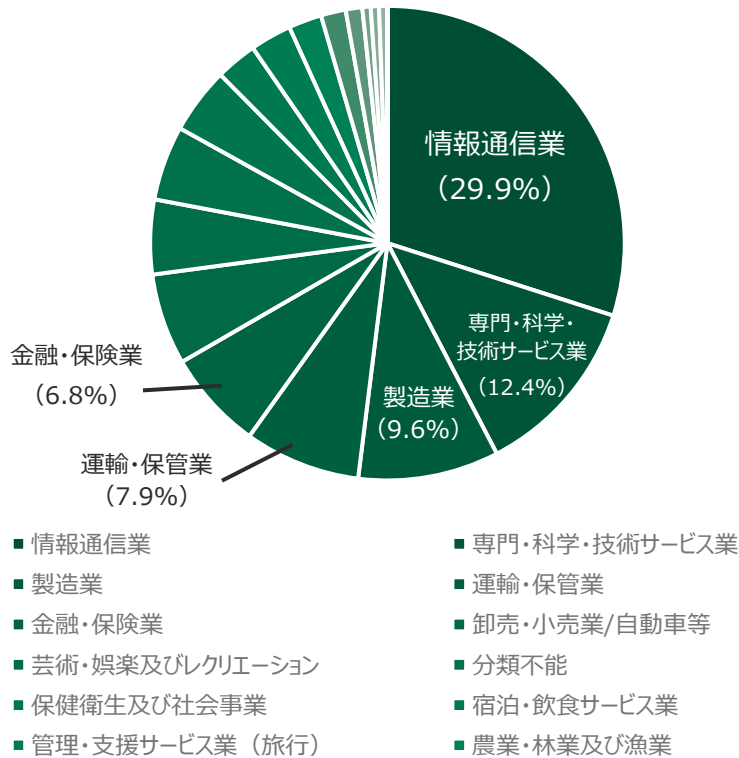


- Corporate VC
- Services
- HT
- Other
- Insurance
- Real Estate
- Traditional Industry
- Holding Company
- Bank/ Finance Company
- Telecom & Media
- Corporate Accelerator
- Professional Services Company

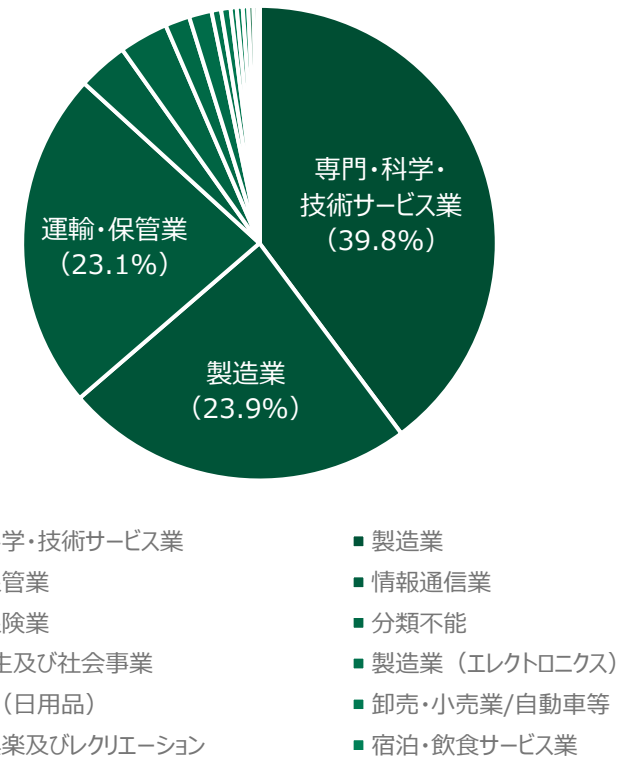
(参考) ドイツ企業の業種別投資動向 (事業会社のみ)

イスラエルのスタートアップに投資するドイツ企業は、他国と比較すると特に自動車メーカーが多く、製造業や運輸・保管業の割合が大きい。

ドイツ企業の業種別 投資件数/2015年～2020年
(計177件)

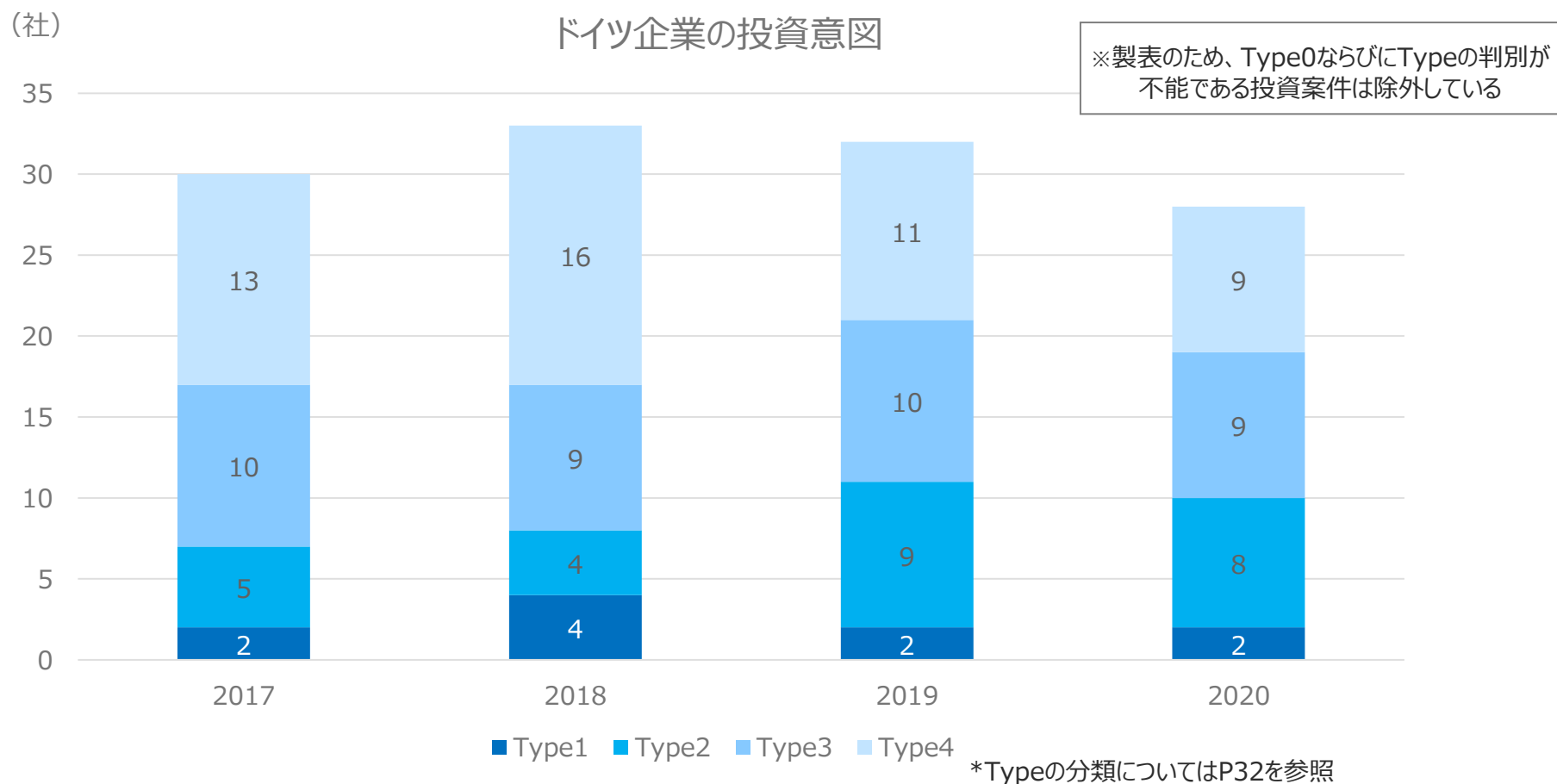


ドイツ企業の業種別 投資金額/2015年～2020年
(計466百万ドル)



(4) ドイツ企業の投資意図 (事業会社のみ)

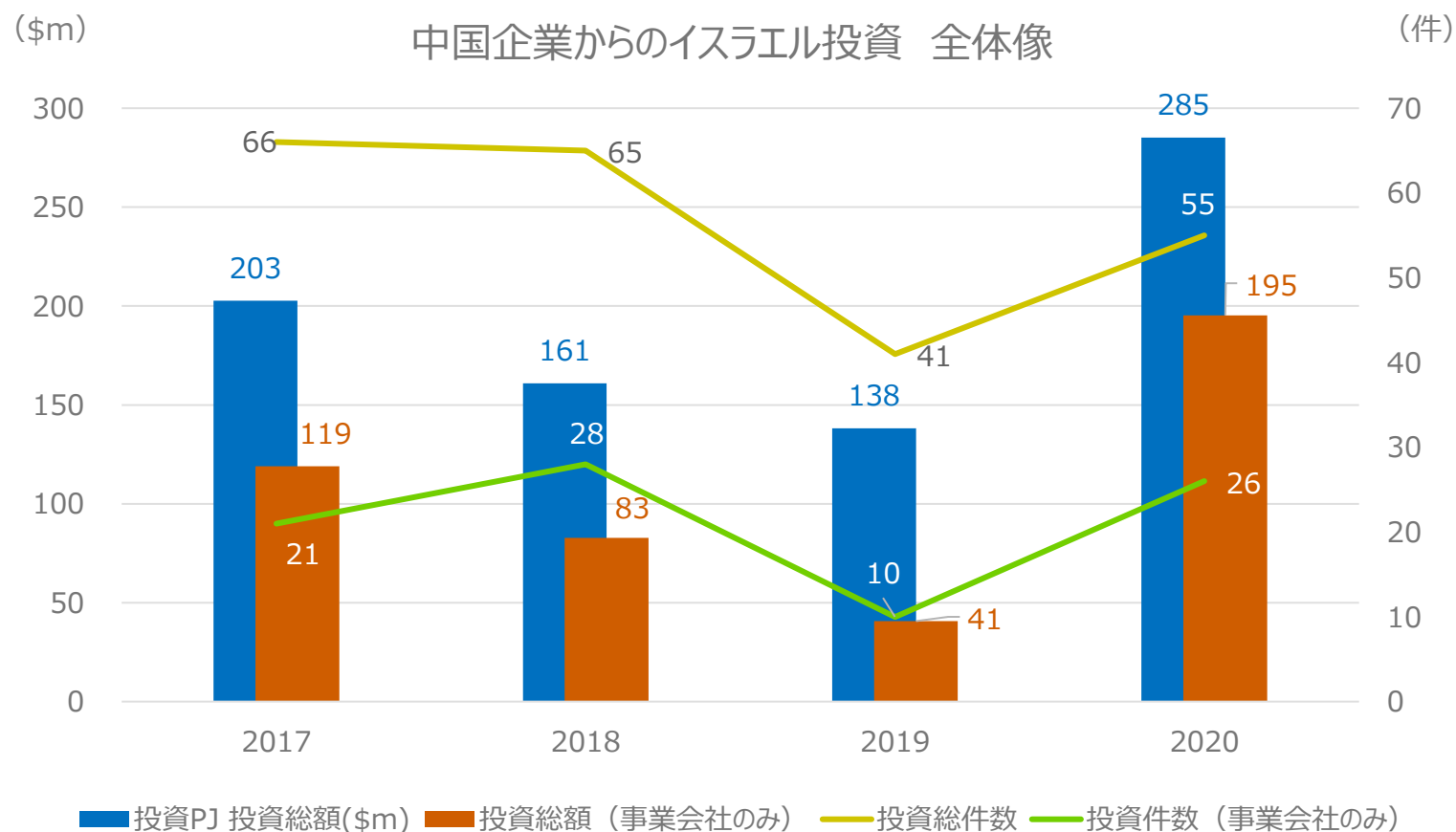
- ドイツ企業による投資では、自社のビジョンの事業に向けた長期的な連携を図るために投資 (Type3と一部Type4に分類) しているケースが多い。
- 直近では、自社販路を用いた投資先スタートアップのサービス提供など、Type2に該当するケースも増えている。



④ 中国の投資動向

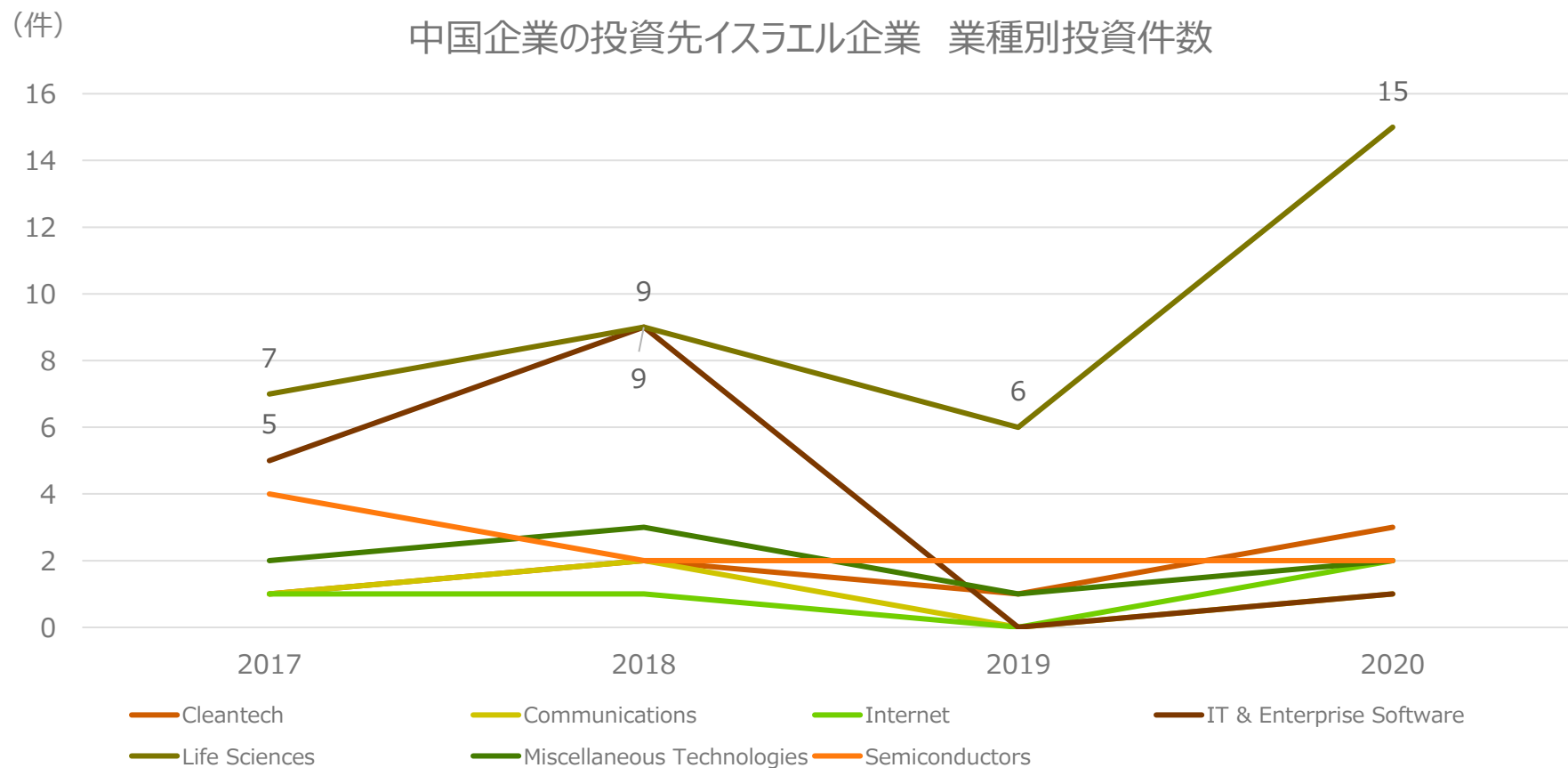
(0) 中国企業からイスラエルスタートアップへの投資 全体像

- 中国企業からイスラエルのスタートアップへの投資は、近年件数、金額ともに減少傾向にあったが、2020年は投資金額が急増した。
- 特に、事業会社による投資の2019年から2020年にかけての投資金額の伸びが顕著である。



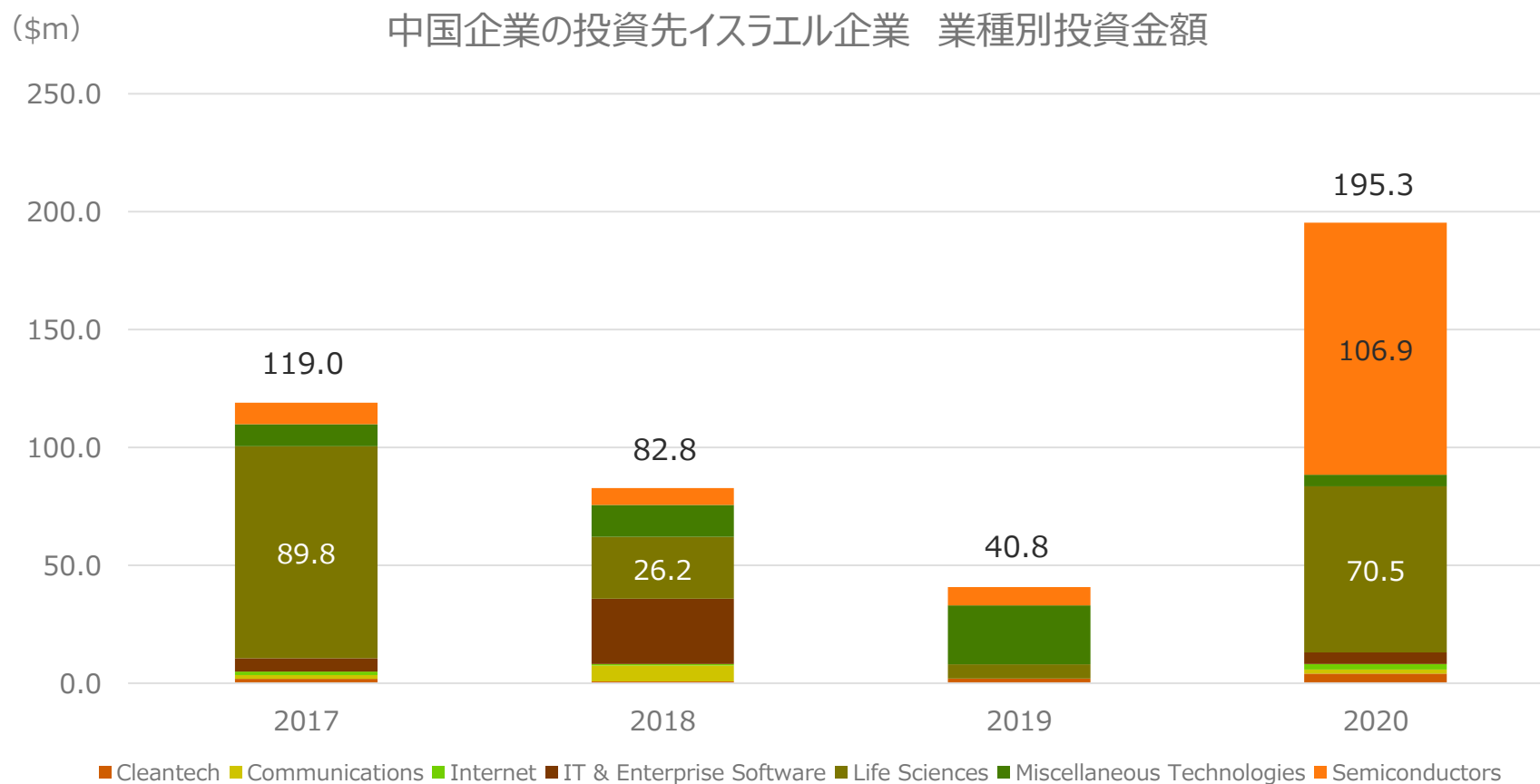
(1) 中国企業の投資先企業の業種別投資件数（事業会社のみ）

- 中国企業は、初期はIT & Enterprise Software企業に投資していたが、近年他国と比較して、Life Science企業への投資が増えている。



(1) 中国企業の投資先企業の業種別投資金額（事業会社のみ）

- 投資件数と同様、Life Science企業への投資金額が大きい傾向にある。
加えて、特に2020年にはSemiconductors企業への大型投資が実施された。



(1) 中国企業の投資先企業の業種別投資金額：各年の投資金額上位の投資案件

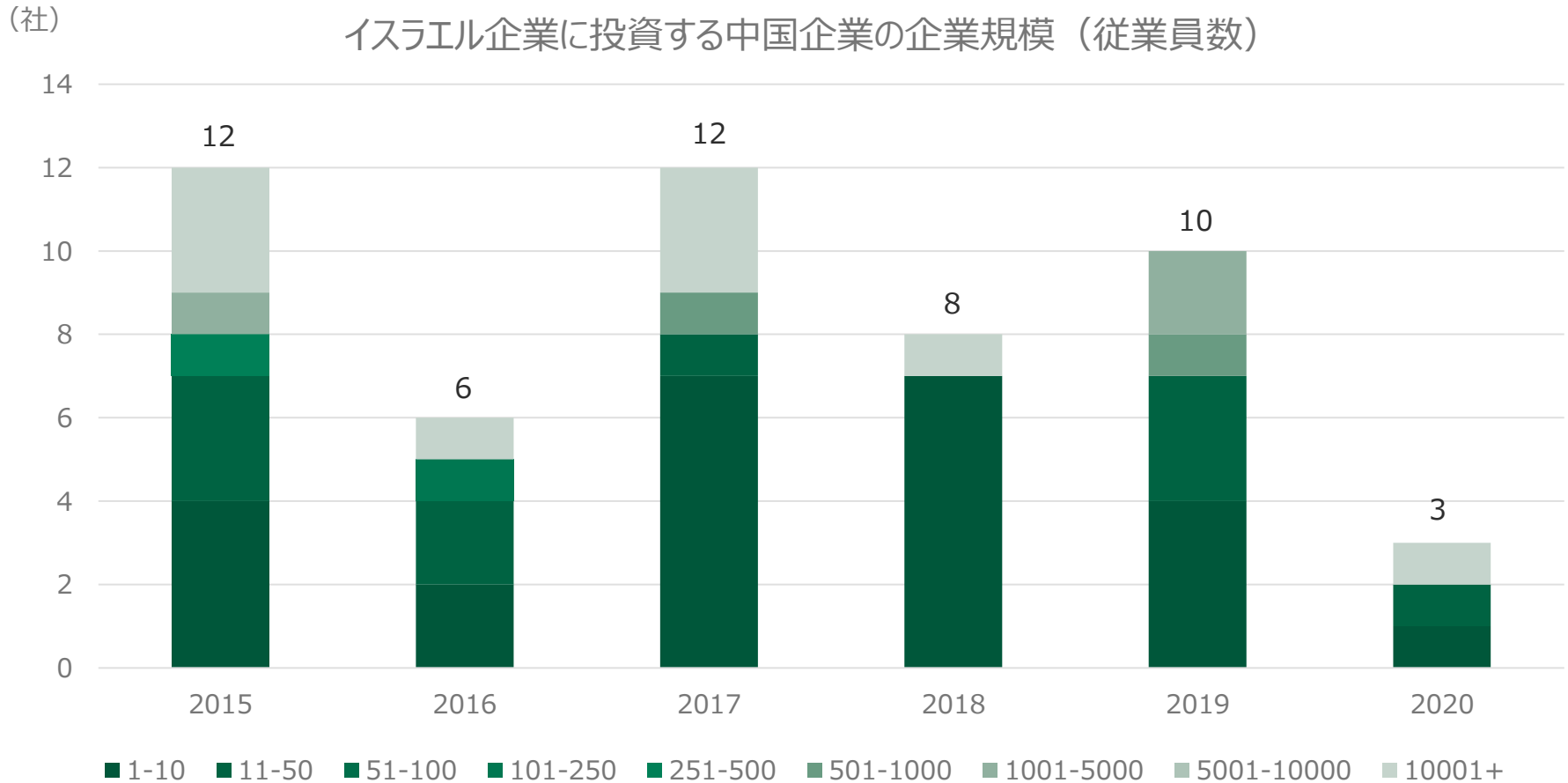
- 2020年にYinniu Microelectronicsより巨額投資があったが、比較的投資規模が小さい年も多い。

		投資先企業名	投資先企業の業種	投資元企業名	投資元企業の業種	推計投資金額 (\$m)	案件投資総額 (\$m)
2017	①	Cnoga Medical Ltd.	Life Sciences	BOE Technology Group Co. Ltd.	Other	50	50
	②	HealthWatch Technologies Ltd.	Life Sciences	Shijiazhuang Yiling Pharmaceutical Co.	HT	20	20
	③	MitrAssist Medical Ltd.	Life Sciences	LongTec China Ventures	Corporate VC	6	30
				Fosun Pharma	HT	6	
Ping An Ventures				Corporate VC	6		
2018	①	Mapi Pharma Ltd.	Life Sciences	Zhejiang Jingxin Pharmaceutical Company Ltd.	HT	10	10
	②	Razor Labs Ltd.	IT & Enterprise Software	Qingdao Wintec System Co.	HT	5.6	5.6
	③	MantisVision Ltd. (MV4D)	Miscellaneous Technologies	Luenmei Quantum Co. Ltd.	Holding Company	5.5	55
Sunny Optical Technology (Group) Co. Ltd.				HT	5.5		
2019	①	XJet Ltd.	Miscellaneous Technologies	Shenzhen Hifuture Information Technology Co.	HT	25	25
	②	Innoviz Technologies Ltd.	Semiconductors	HiRain Technologies Co.	HT	5.5	132
	③	Arbe Robotics Ltd.	Semiconductors	BAIC Group Industrial Investment Co.	Corporate VC	2.3	32
2020	①	Inuitive Ltd.	Semiconductors	Yinniu Microelectronics	Other	106	106
	②	Pi-Cardia Ltd.	Life Sciences	Venus Medtech	HT	25	25
	③	MitrAssist Medical Ltd.	Life Sciences	LongTec China Ventures	Corporate VC	10	50
				Fosun Pharma	HT	10	
Ping An Ventures				Corporate VC	10		

※投資金額が特に大きい投資案件を黄色でハイライトした。

(2) 中国企業の企業規模

イスラエルのスタートアップに投資する中国企業は、1～50名規模の小企業の割合が大きい。

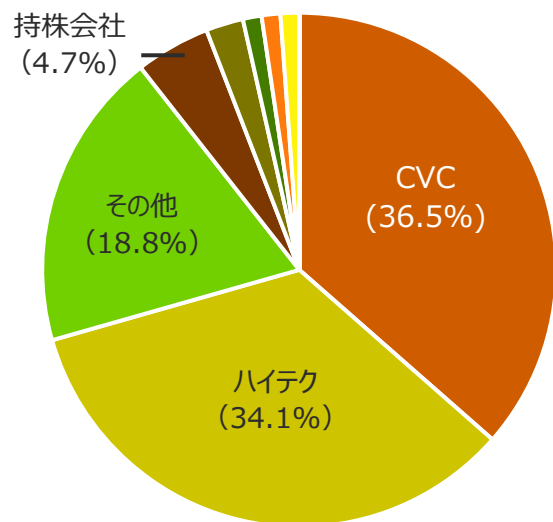


※Crunchbase上で、VCに分類される企業は対象から除外しているが、アクセラレータなどは含まれるため、小規模事業者の件数が比較的多く出やすい傾向がある。

(3) 中国企業の業種別投資動向（事業会社のみ）（2017年～2020年累計）

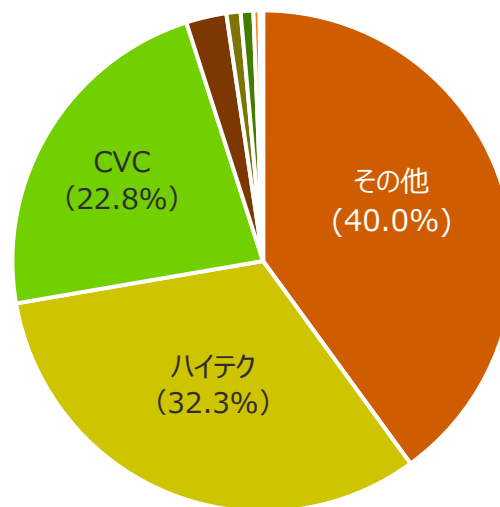
- イスラエルのスタートアップに投資する中国企業は、件数では他国と同様CVCが最も多いが、投資金額では、その他やハイテクに分類される企業が多く、事業会社からの直接投資が多い。

中国企業の業種別 投資件数
(計85件)



- | | |
|---------------------------------|-------------------|
| ■ Corporate VC | ■ HT |
| ■ Other | ■ Holding Company |
| ■ Traditional Industry | ■ Telecom & Media |
| ■ Bank/ Finance Company | ■ Services |
| ■ Insurance | ■ Real Estate |
| ■ Professional Services Company | ■ Retail |

中国企業の業種別 投資金額
(計438百万ドル)



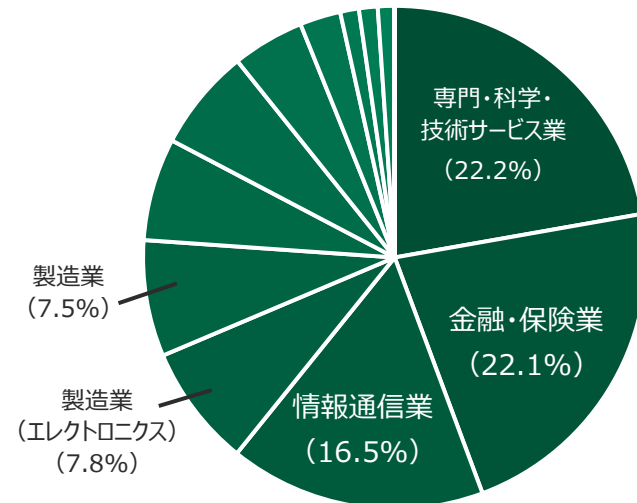
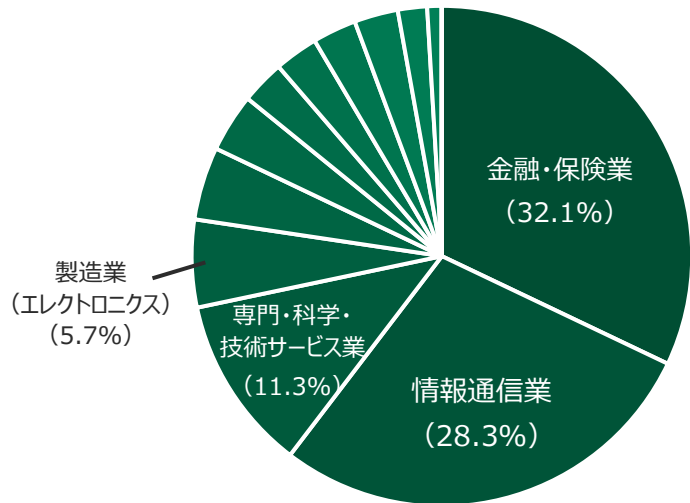
- | | |
|---------------------------------|-------------------------|
| ■ Other | ■ HT |
| ■ Corporate VC | ■ Holding Company |
| ■ Services | ■ Bank/ Finance Company |
| ■ Traditional Industry | ■ Telecom & Media |
| ■ Insurance | ■ Real Estate |
| ■ Professional Services Company | ■ Retail |

(参考) 中国企業の業種別投資動向 (事業会社のみ)

イスラエルスタートアップに投資する中国企業は、投資件数に比して、専門・科学・技術サービス業の投資金額が大きい。

中国企業の業種別 投資件数/2015年～2020年
(計106件)

中国企業の業種別 投資金額/2015年～2020年
(計457百万ドル)

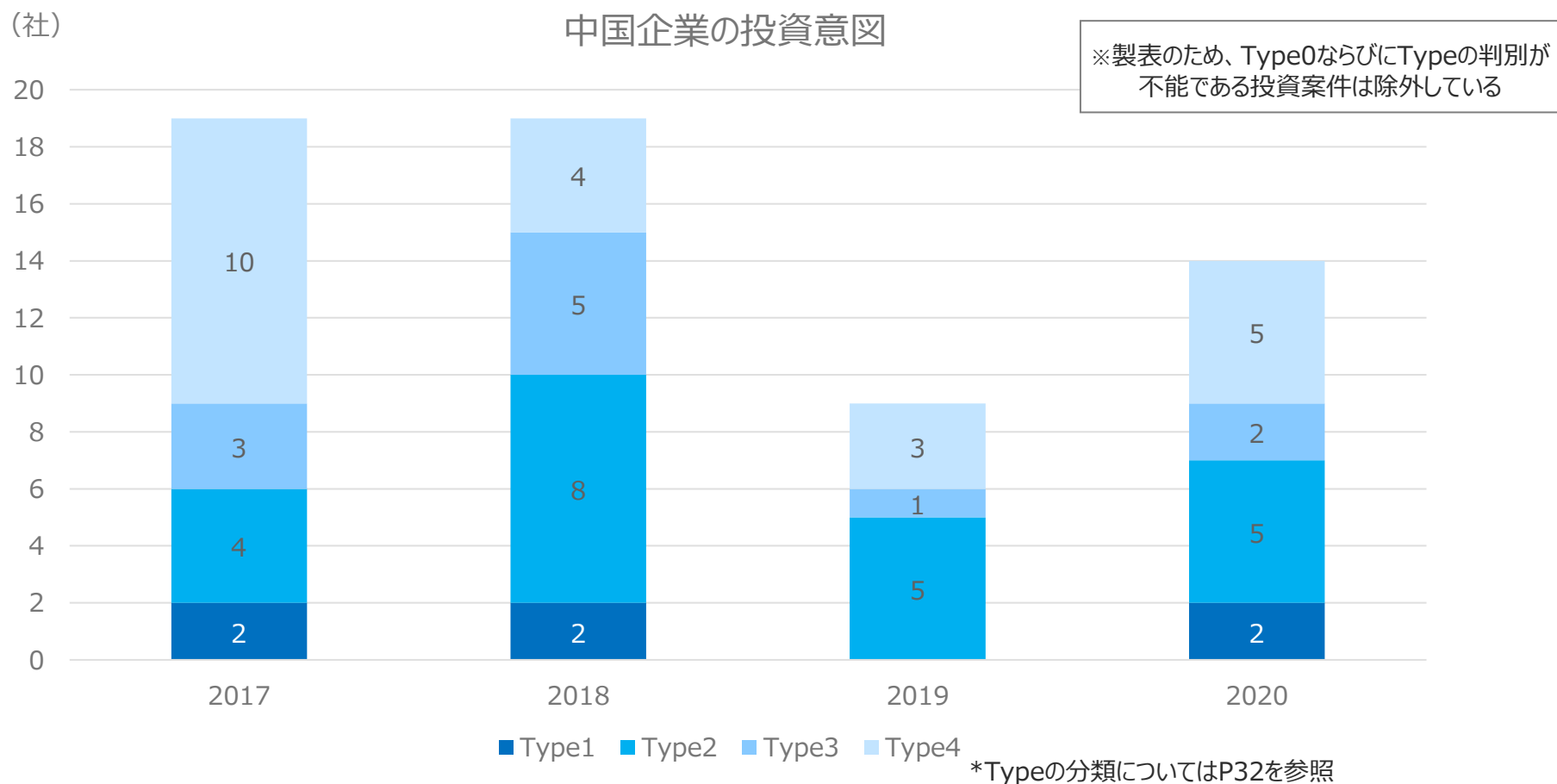


- 金融・保険業
- 専門・科学・技術サービス業
- 保健衛生及び社会事業
- 製造業
- その他のサービス業
- 不動産業、建設業
- 情報通信業
- 製造業 (エレクトロニクス)
- 芸術・娯楽及びレクリエーション
- 卸売・小売業/自動車等
- 分類不能
- 環境・インフラ

- 専門・科学・技術サービス業
- 情報通信業
- 製造業
- 環境・インフラ
- その他のサービス業
- 卸売・小売業/自動車等
- 金融・保険業
- 製造業 (エレクトロニクス)
- 不動産業、建設業
- 保健衛生及び社会事業
- 分類不能
- 芸術・娯楽及びレクリエーション

(4) 中国企業の投資意図 (事業会社のみ)

- 中国企業による投資は、特にLife Science領域において、イスラエルスタートアップの最新技術を中国国内市場に展開するために投資 (Type2に分類) するケースが多い。

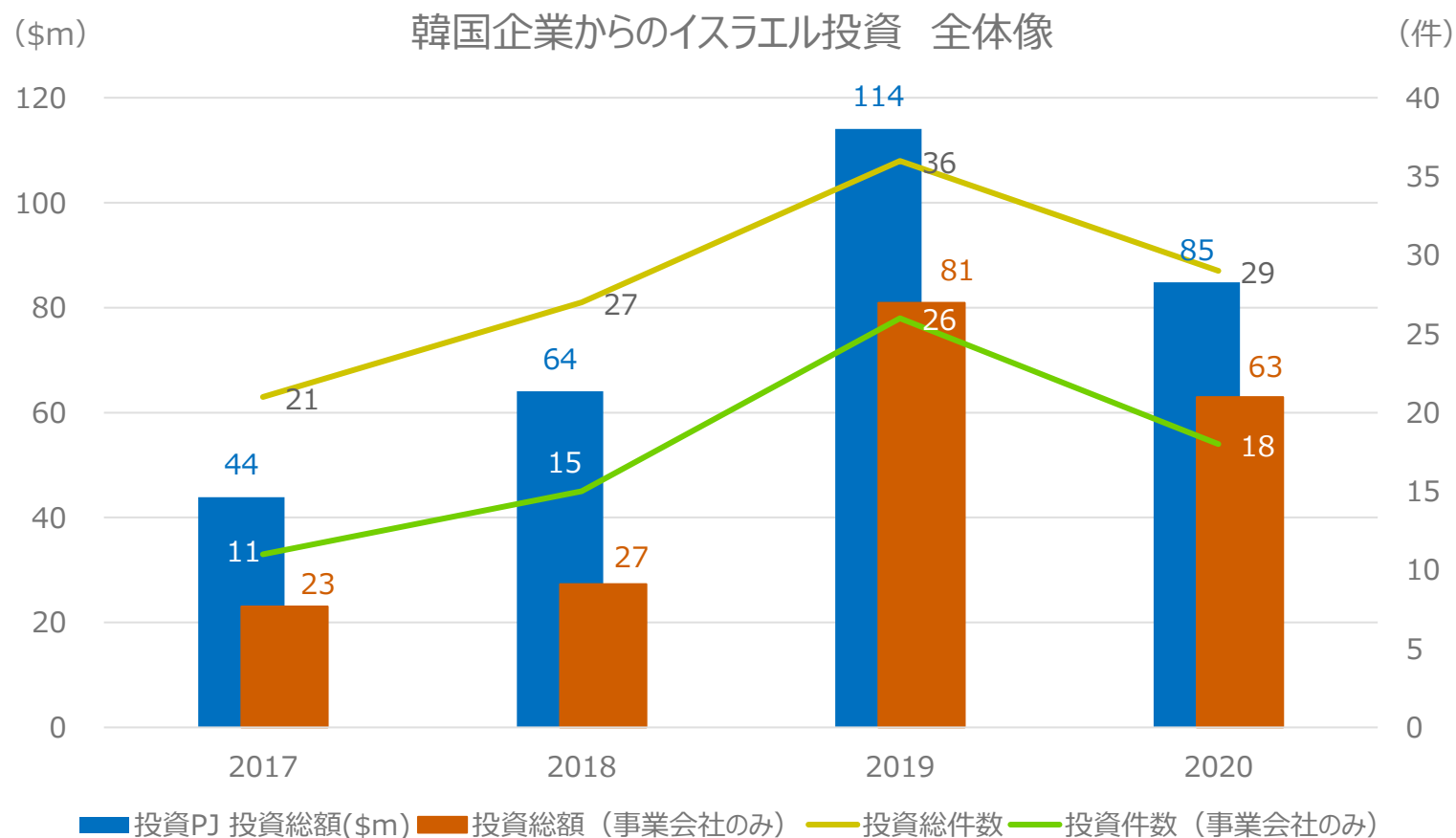




⑤ 韓国の投資動向

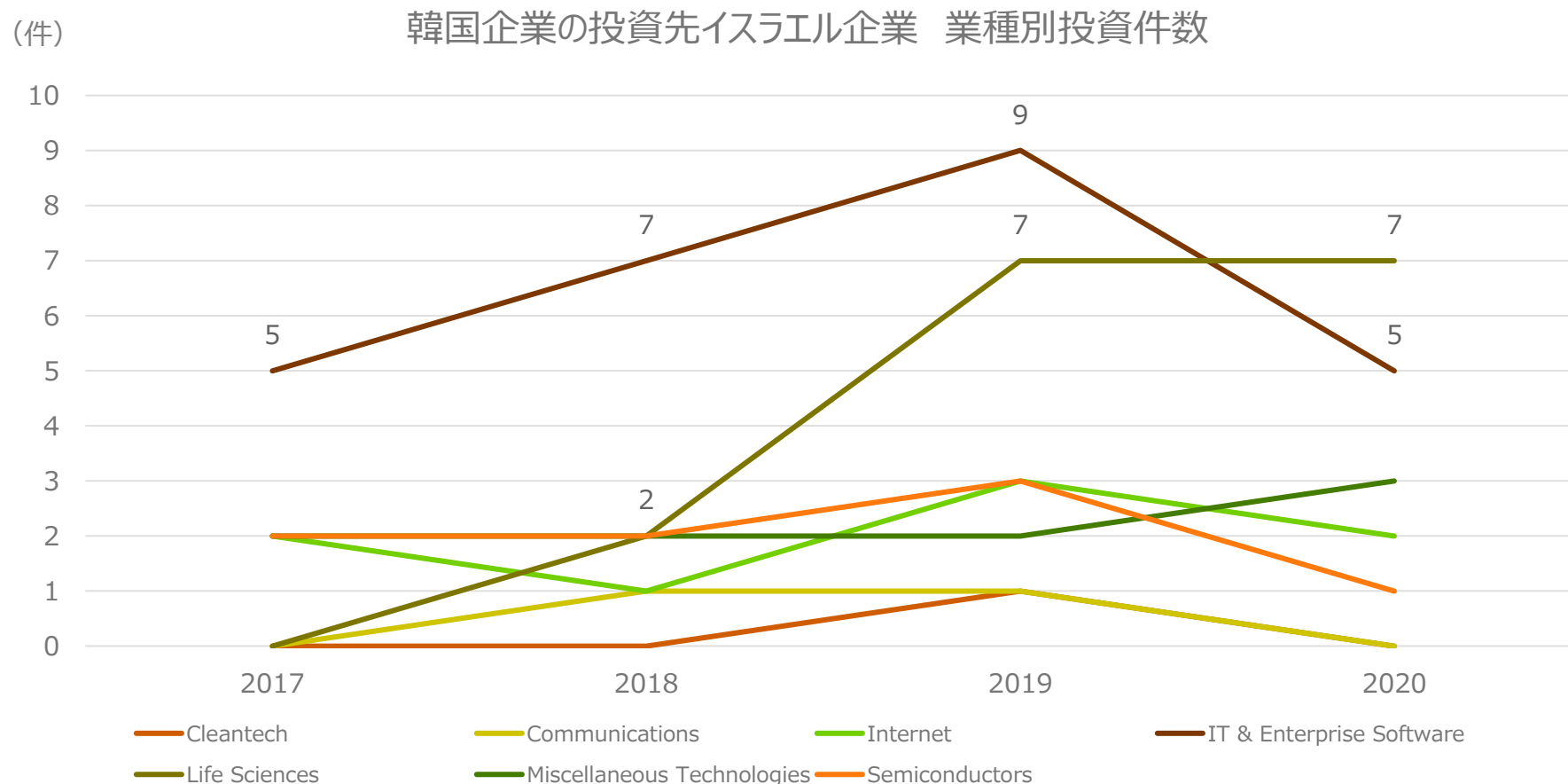
(0) 韓国企業からイスラエルスタートアップへの投資 全体像

- 韓国企業からイスラエルのスタートアップへの投資について、2017年から2019年にかけて件数・金額ともに増加傾向であったが、2020年はいずれも減少している。
- 事業会社からの投資は、全体の中で比較的大きな割合を占め、韓国からの投資全体の傾向に影響を与えている。



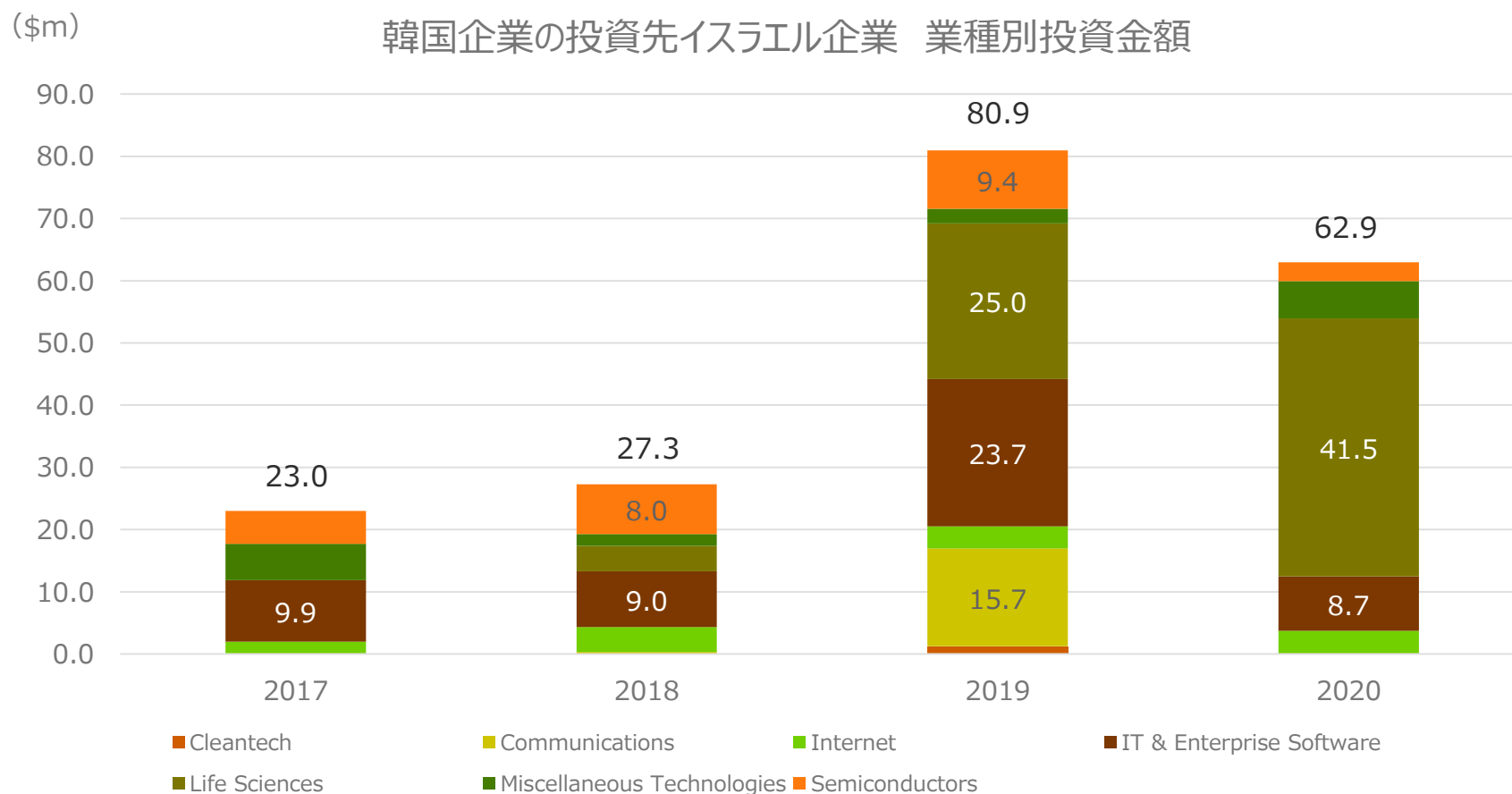
(1) 韓国企業の投資先企業の業種別投資件数（事業会社のみ）

- 韓国企業からの投資は、IT & Enterprise Software企業への投資が中心だが、近年Life Science企業への投資件数が増えている。



(1) 韓国企業の投資先企業の業種別投資金額（事業会社のみ）

- 投資件数と同様に、近年韓国企業からLife Science企業への投資金額が増えている。



(1) 韓国企業の投資先企業の業種別投資金額：各年の投資金額上位の投資案件

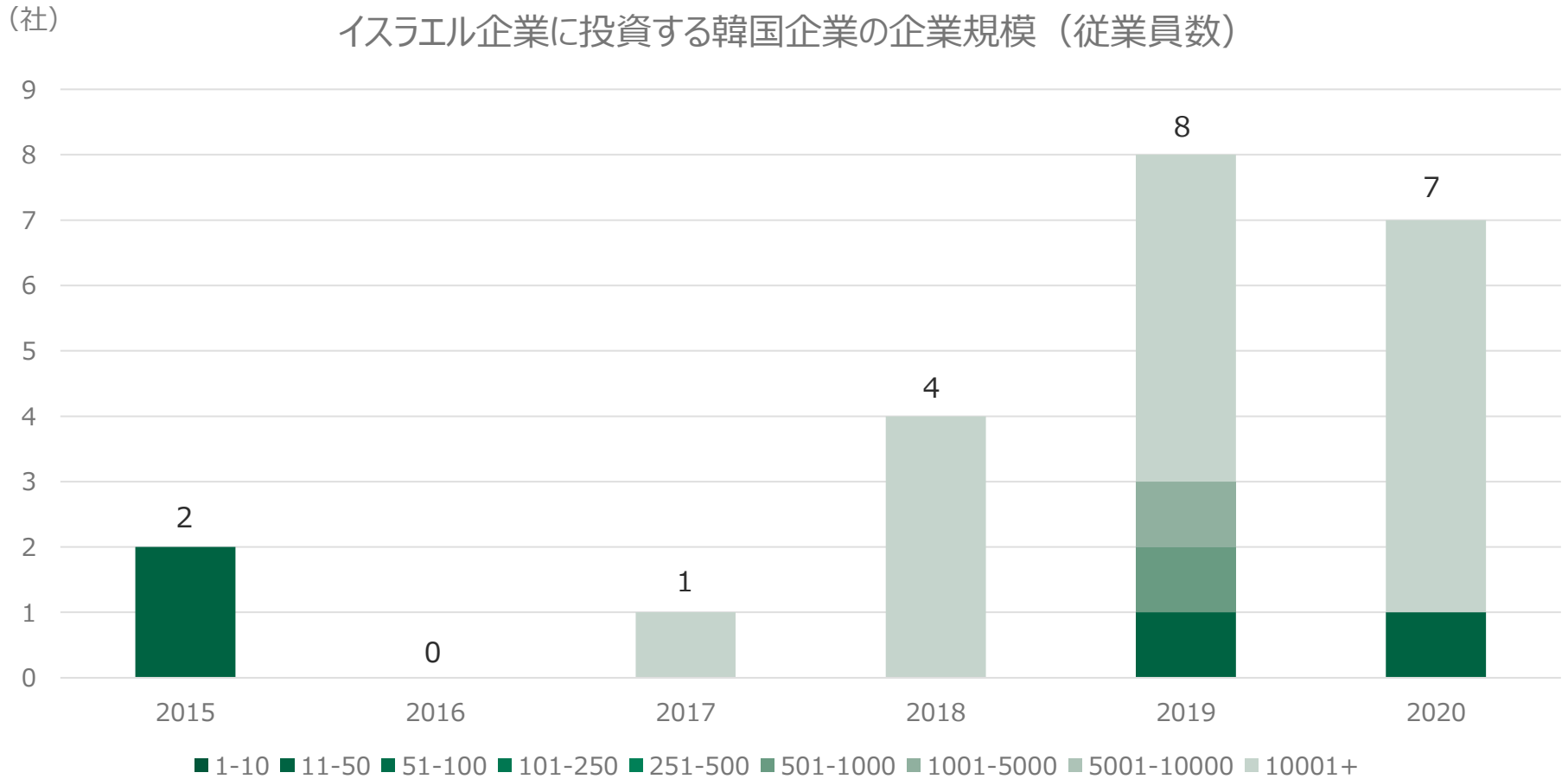
- 韓国からの投資の金額規模上位案件は、サムスンのような大企業からの投資が中心になっている。

		投資先企業名	投資先企業の業種	投資元企業名	投資元企業の業種	推計投資金額 (\$m)	案件投資総額 (\$m)
2017	①	StoreDot Ltd.	Miscellaneous Technologies	Samsung Venture Investment Corporation	Corporate VC	5.5	60
	②	Innoviz Technologies Ltd.	Semiconductors	Naver Corp.	HT	4.3	73
	③	ScyllaDB Ltd.	IT & Enterprise Software	Samsung Venture Investment Corporation	Corporate VC	2.3	16
2018	①	PlaySight Interactive Ltd.	Internet	Naver Corp.	HT	4	12
		Autotalks Ltd.	Semiconductors	Hyundai CRADLE	Holding Company	4	4
		Adasky Ltd.	Semiconductors	Sungwoo Hitech Co. Ltd.	Traditional Industry	4	100
2019	①	DriveNets Ltd.	Communications	Samsung Venture Investment Corporation	Corporate VC	15.7	110
	②	Sentinel Labs Inc. (SentinelOne)	IT & Enterprise Software	Samsung Venture Investment Corporation	Corporate VC	8.6	120
	③	Adicet Bio Inc.	Life Sciences	OCI Company Ltd.	Traditional Industry	6.2	80
				Samsung Venture Investment Corporation	Corporate VC	6.2	
				Handok Inc.	HT	6.2	
2020	①	NanoX Imaging Ltd.	Life Sciences	SK Telecom Ventures	Corporate VC	20	20
	②	NeoTX Therapeutics Ltd.	Life Sciences	NDFOS	Traditional Industry	7.5	45
	③	NanoX Imaging Ltd.	Life Sciences	SK Telecom Ventures	Corporate VC	4.9	59

※出現頻度の多い投資元企業を黄色でハイライトしている。

(2) 韓国企業の企業規模

イスラエルのスタートアップに投資する韓国企業は、多くが10000名以上の従業員を抱える大企業である。

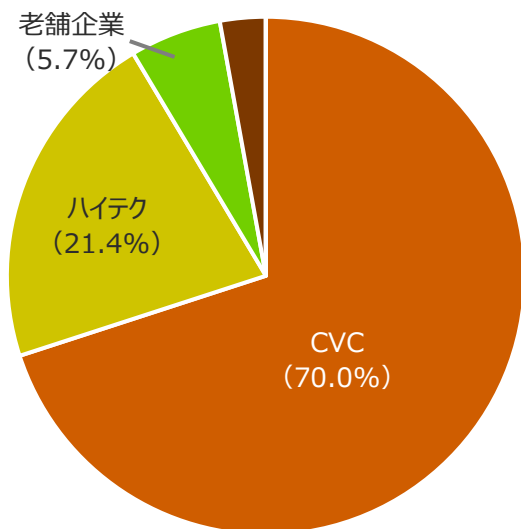


※Crunchbase上で、VCに分類される企業は対象から除外しているが、アクセラレータなどは含まれるため、小規模事業者の件数が比較的多く出やすい傾向がある。

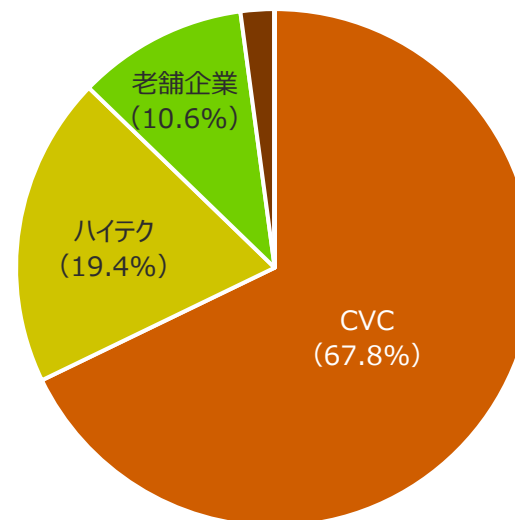
(3) 韓国企業の業種別投資動向（事業会社のみ）（2017年～2020年累計）

- イスラエルのスタートアップに投資する韓国企業は、CVCが7割を占め、米国企業と似た傾向である。

韓国企業の業種別 投資件数
(計70件)



韓国企業の業種別 投資金額
(計194百万ドル)



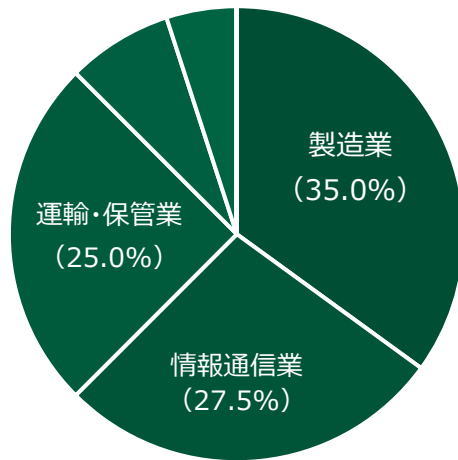
- Corporate VC
- Traditional Industry
- Telecom & Media
- Real Estate
- Services
- Professional Services Company
- HT
- Other
- Holding Company
- Bank/ Finance Company
- Insurance
- Retail

- Corporate VC
- Traditional Industry
- Telecom & Media
- Real Estate
- Services
- Professional Services Company
- HT
- Other
- Holding Company
- Bank/ Finance Company
- Insurance
- Retail

(参考) 韓国企業の業種別投資動向 (事業会社のみ)

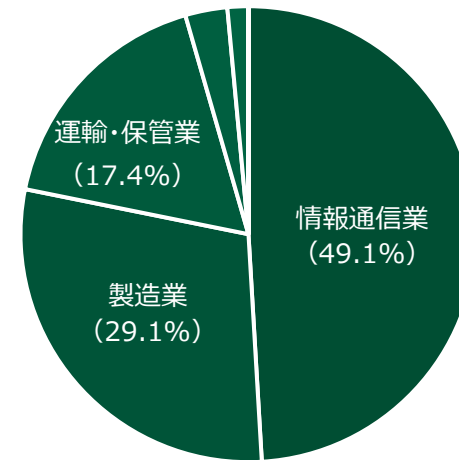
イスラエルのスタートアップに投資する韓国企業は、Samsung、Hyundaiなど製造業が比較的多い。

韓国企業の業種別 投資件数/2015年～2020年
(計40件)



- 製造業
- 運輸・保管業
- 保健衛生及び社会事業
- 金融・保険業
- 専門・科学・技術サービス業
- 宿泊・飲食サービス業
- 情報通信業
- 製造業 (エレクトロニクス)
- 管理・支援サービス業
- 芸術・娯楽及びレクリエーション
- 教育
- 農業・林業及び漁業

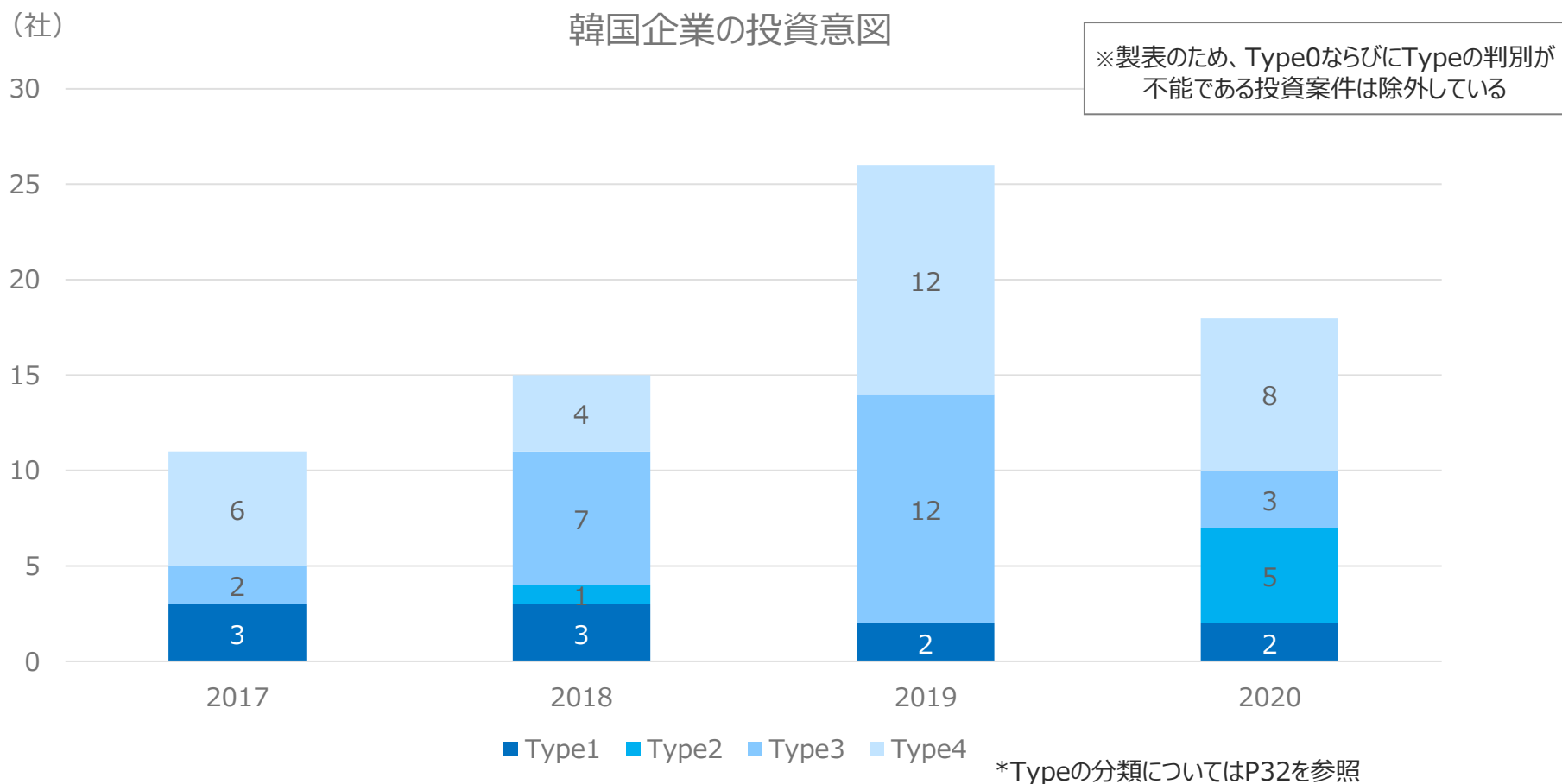
韓国企業の業種別 投資金額/2015年～2020年
(計107百万ドル)



- 情報通信業
- 運輸・保管業
- 製造業 (エレクトロニクス)
- 金融・保険業
- 環境・インフラ
- 分類不能
- 製造業
- 保健衛生及び社会事業
- 専門・科学・技術サービス業
- 不動産業、建設業
- その他のサービス業
- 卸売・小売業/自動車等

(4) 韓国企業の投資意図 (事業会社のみ)

- 韓国は大手財閥企業による投資の数が多いが、自社のビジョンの下で、必要となる技術を持った会社との長期的な連携を目的とした投資 (Type3と一部Type4に分類) が多い。

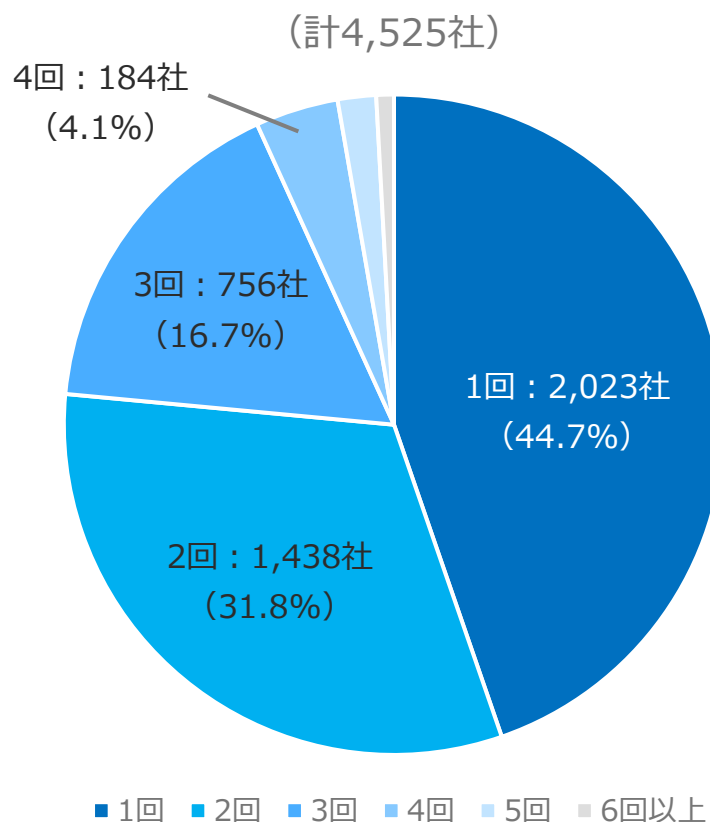


(参考) 同ースタートアップに対する複数回に渡る投資分析

(1) 同一のスタートアップへの複数回に渡る投資：スタートアップの調達回数

- 2017年から2020年に渡り、イスラエルのスタートアップの調達回数を調べたところ、44.7%のスタートアップの調達回数は1回であったが、残りは複数回の調達を実施している。

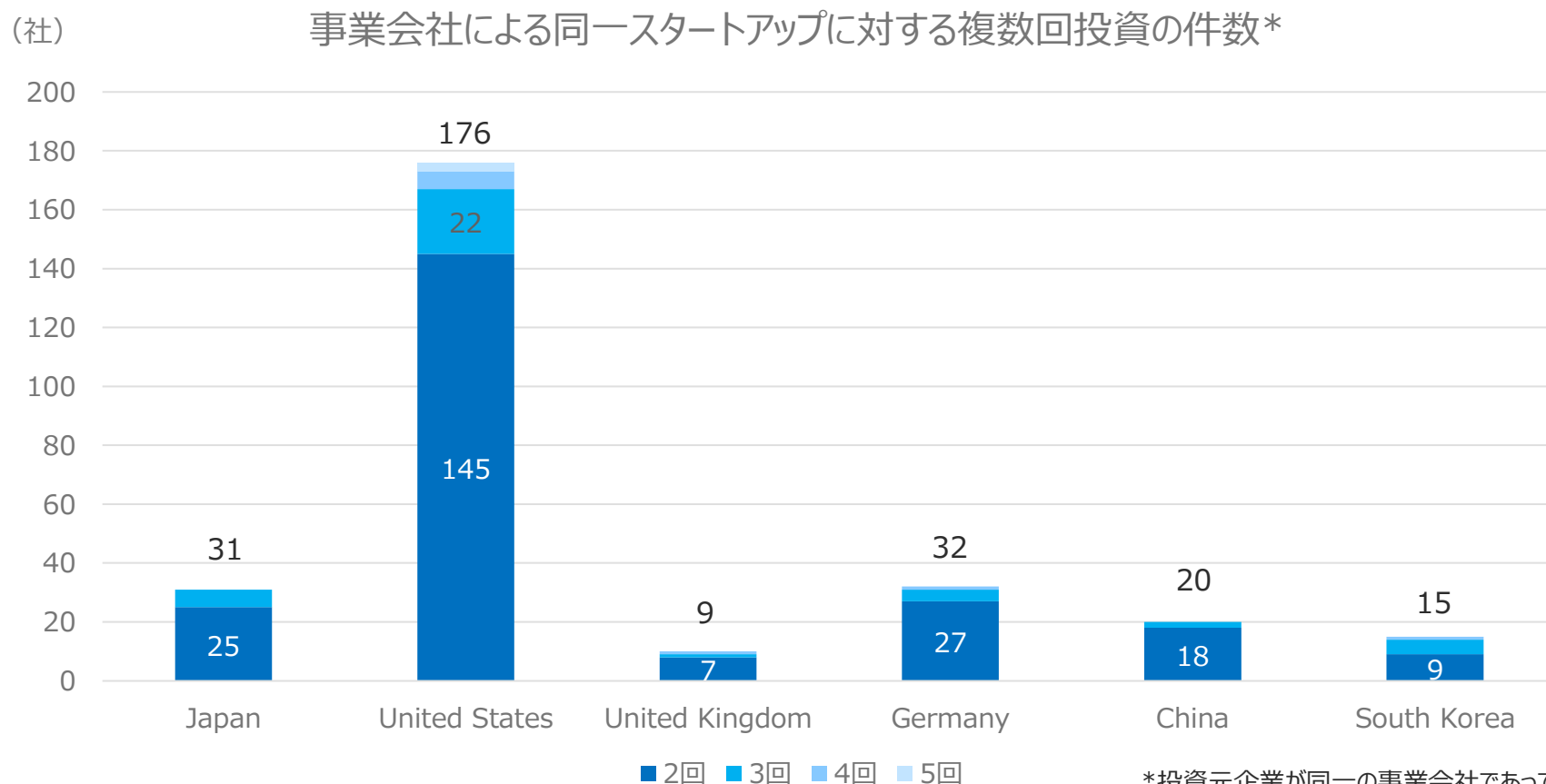
2017年～2020年におけるイスラエルスタートアップの調達回数*



*VCなどの事業会社以外からの投資を含め、全投資案件を対象にしている。

(2) 同一のスタートアップへの複数回に渡る投資：投資元国別件数（事業会社のみ）

- 日本、米国、英国、ドイツ、中国、韓国において、事業会社による同一のスタートアップに対する複数回投資の件数は、米国の件数が最も多いものの、日本も他国に比べてやや件数が多い。
- 概ね各国の事業会社のイスラエルのスタートアップ投資件数に比例している。



*投資元企業が同一の事業会社であっても、投資先企業が異なる場合は、複数社としてカウントしている。

(3) 同一のスタートアップへの複数回に渡る投資：傾向分析に用いる投資分類

- 事業会社による複数回に渡る投資の傾向を探るため、複数回に渡る投資を、同時に投資する投資家数の変化と、投資ラウンドの変化*で分類した。

同一スタートアップへの複数回に渡る投資の分類（自社の投資ラウンド間での比較）

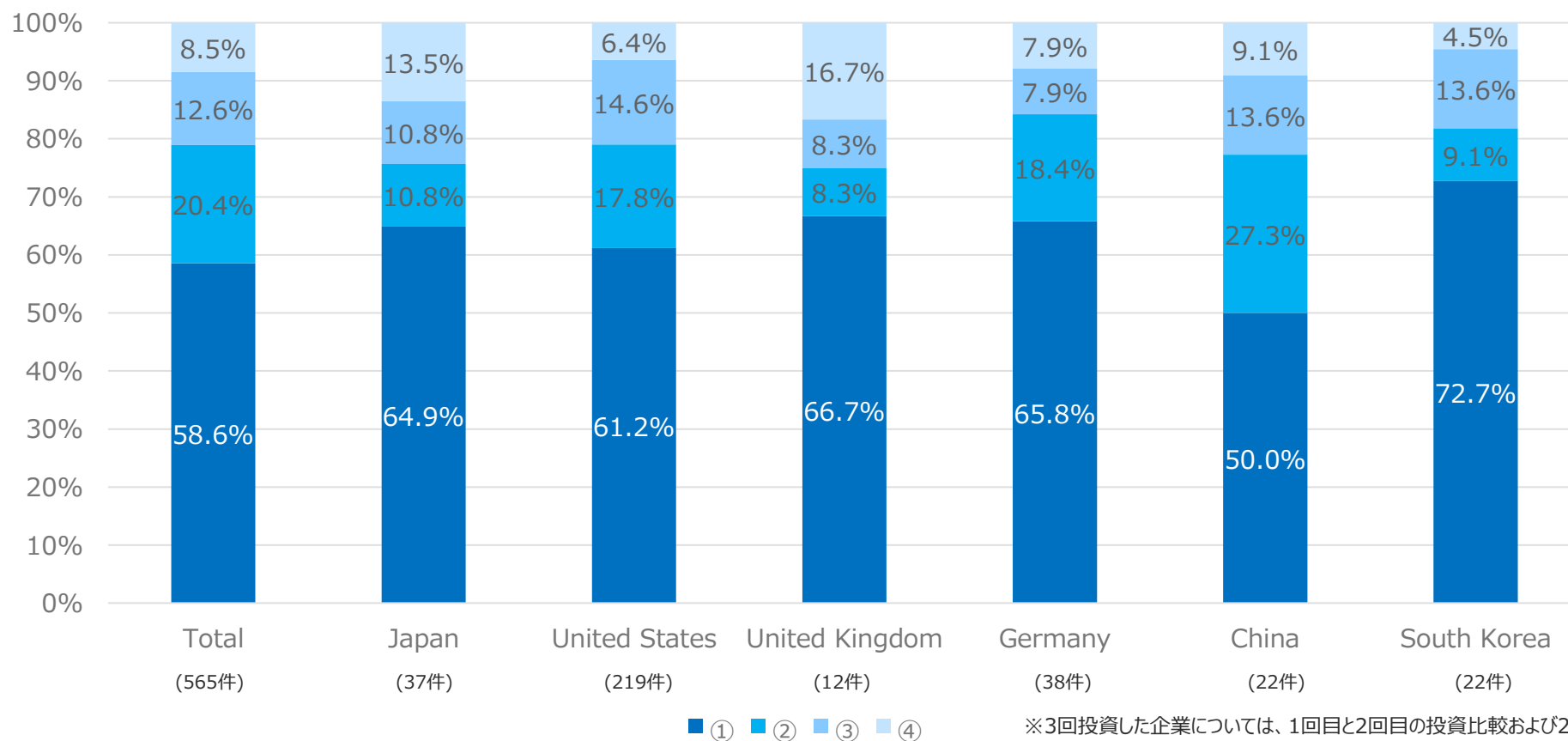
		同時に投資する投資家数	
		増加 又は 変化無	減少
投資ラウンドの変化*	有	分類①	分類②
	無	分類③	分類④

*IVCにおける分類が、FirstラウンドからSecondラウンドに変わった場合を「有」とし、同ラウンドで追加調達をしている場合を「無」としている。

(3) 同一のスタートアップへの複数回に渡る投資：投資分類による投資元国別比較

- 日本の事業会社は、他国に比べて、②の割合が少なく④の割合が多い。他国企業は投資ラウンドが変わるタイミングで持分比率を高めるケースが多いが、日本企業は、投資ラウンドと投資ラウンドの間に、持分比率を高めるケースが多いことが判明した。

同一スタートアップに対する複数回に渡る投資分析



※3回投資した企業については、1回目と2回目の投資比較および2回目と3回目の投資比較で2件としてカウントしているため、P84の件数と乖離が生じている。

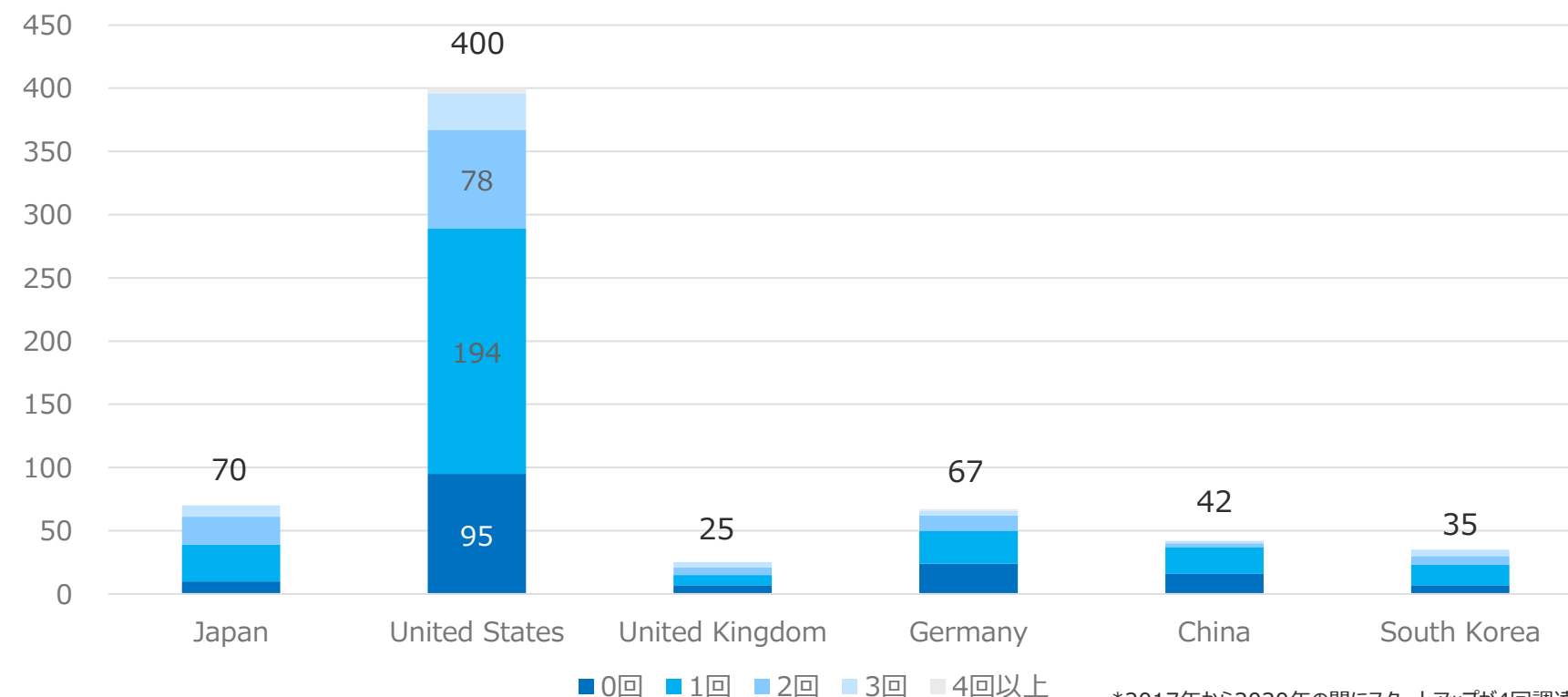
(4) 同一のスタートアップへの複数回に渡る投資：投資ラウンドに不参加の回数

- 2017年から2020年までに複数回調達しているイスラエルのスタートアップについて、その間に1度でも投資している各国の投資元事業会社が、当該スタートアップの調達に不参加の回数*を集計した。

2017年から2020年において投資先スタートアップの資金調達に不参加の回数*

(社)

(P84と異なり、複数回調達している投資先スタートアップに、1回しか投資していない事業会社も含む)

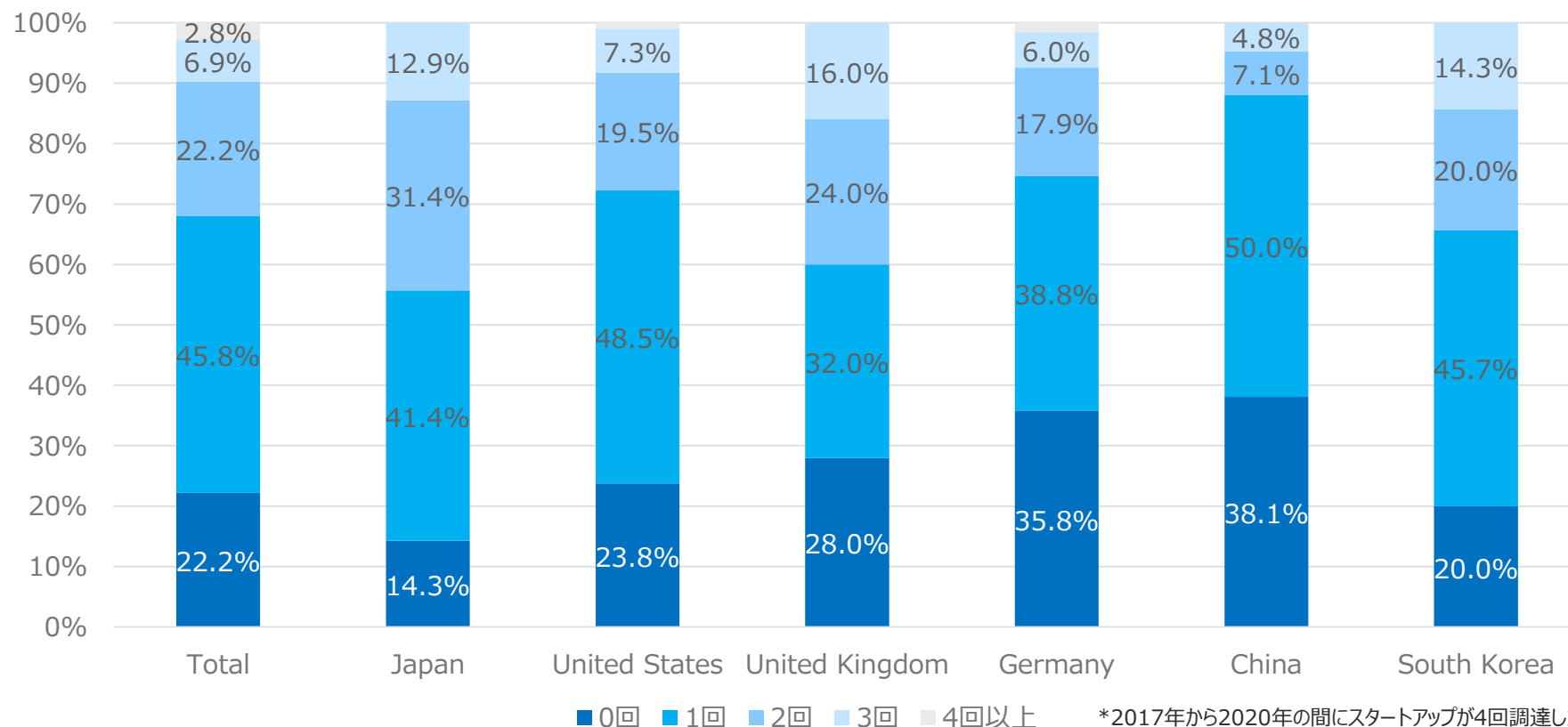


*2017年から2020年の間にスタートアップが4回調達した場合、そのうち1回の調達のみに参加した企業は、3回不参加とカウントした。

(4) 同一のスタートアップへの複数回に渡る投資：投資ラウンドに不参加の回数割合

- 2017年から2020年までに行われたイスラエルのスタートアップの調達に関して、日本の事業会社は、他国に比べて、全ての投資ラウンドに参加していない場合が多い。途中のラウンドから参加（追従）している場合、もしくは途中のラウンドで参加することを見送っている（離脱）場合の2パターンが考えられる。

投資先スタートアップの投資ラウンドに不参加の回数*

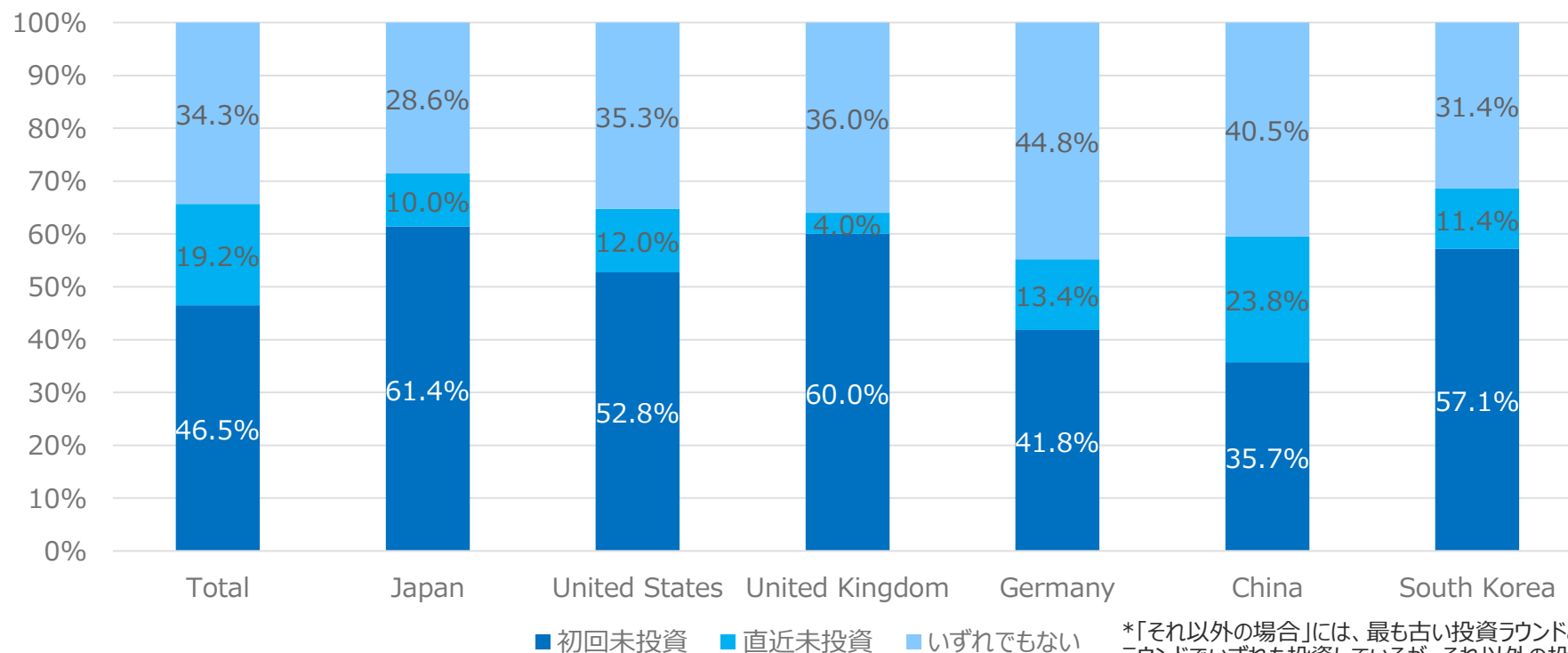


*2017年から2020年の間にスタートアップが4回調達した場合、そのうち1回の調達のみに参加した企業は、3回不参加とカウントした。

(5) 同一のスタートアップへの複数回に渡る投資：不参加の投資ラウンド分析

- 前頁の全ての投資ラウンドに投資していない企業について、参加していない投資ラウンドが、2017年以降で、最も古い投資ラウンドの場合（図表内「初回未投資」）、直近の投資ラウンドの場合（図表内「直近未投資」）、それ以外の場合*（図表内「いずれでもない」）の3つに分類した。
- 日本企業は、初回未投資の企業が61.4%と比較的多く、フォロワーとして他国企業に追従して投資する傾向が強いことが判明した。

不参加の投資ラウンド分析



*「それ以外の場合」には、最も古い投資ラウンドと最近の投資ラウンドでいずれも投資しているが、それ以外の投資ラウンドに不参加の場合、又は最も古い投資ラウンドと直近の投資ラウンドいずれも投資していない場合の2パターンが含まれる。

イスラエルスタートアップへの投資を通じた競争力強化の事例

事例調査の概要

- 事例の選定方法および選定した企業は下記のとおり。
- イスラエルのスタートアップ投資の特徴などの把握を目的に、VC、CVCへのヒアリング調査も実施。

事例の選定方法

- イスラエルのスタートアップへの投資件数、投資金額ともに上位の国より主要国である米国、ドイツ、中国、韓国企業を対象とした。
- データが入手できた2015年以降の投資案件のうち、2年以上前に投資を実施した事業会社による投資事例を抽出。
- 社会課題分類から「健康／福祉」、「食料確保／資源の有効活用」に着目し、医療・ヘルスケア分野および農業関連技術への投資事例を抽出。
- その他、先端技術別投資を踏まえ、モビリティ分野への投資事例を抽出。

選定した企業（Typeについてはp.32参照）

米国	Medtronic（医療・ヘルスケア）	Type 2, 3
	Nutrien Ag Solutions（農業）	Type 1
	Resonetics（医療・ヘルスケア）	Type 1
ドイツ	Porsche（モビリティ）	Type 1, 3
	Daimler（モビリティ）	Type 1, 3
	Continental（モビリティ）	Type 1, 3
中国	海思科医药集团股份有限公司（Haisco）（医療・ヘルスケア）	Type 2
韓国	現代自動車（モビリティ）	Type 1, 3
	ブグアン製薬（医療・ヘルスケア）	Type 4

ヒアリングを実施したVC、CVC

OurCrowd（イスラエル） Magenta Venture Partners（日本、イスラエル）
IN Venture（日本）

Daimlerについては、同社のイスラエルの拠点担当者による調査結果の精査を実施。

(1) ヒアリング調査の結果

Ourcrowd（イスラエル）

- 2013年にイスラエルで創業されたVC。自己資金を出資しながら、オンラインプラットフォームを利用したクラウドファンディング型の資金調達を行い、投資先や案件ごとに投資家を募るファンドを運営。日本企業からの調達実績も豊富。テクノロジー系スタートアップに強く、フィンテック、モビリティなど、多岐にわたる分野への投資を実施。
- イスラエルVCの目線からは、決定プロセスの刷新、CVCにVC経験豊富な外部人材を取り込むこと、リスクテイク型のメンタリティなどが日本企業に必要な要件だと考える。

日本企業のイスラエルスタートアップ投資の特徴

- ここ2～3年で日本企業のイスラエルのスタートアップへの投資件数が増加している。特に活発な動きを見せているのは商社のCVC。
- 5年前に比べて投資規模も拡大している。イスラエルのVCの目線では、中国よりも日本の方が投資規模が大きいと感じている。
- アメリカやイギリスからの投資は、VCが最も多く、次いでファミリーオフィスによるもの。日本は全く異なる傾向。
- 日本は企業および金融機関による投資が多いことが特徴で、両者ともCVCを通じたものが主流。その次にVC投資が来るが、他の国に比べて数が少ない。ファミリーオフィスによる投資は皆無。
- 一旦投資すると家族のような付き合いをし、他国の企業よりもスタートアップにしっかりコミットし支援するのも日本企業の特徴。

その他

- 日本は国内のスタートアップエコシステムが十分成長していない印象。イスラエルはエコシステムが充実している。
- 中国はもっとリスクテイク型の投資を行う。中国人の投資家の多くは米国の有名大学を卒業後、アメリカの一流VCに勤務して経験を積んだ後に中国に帰国してVCやCVCに入ってくる。そのためエコシステムをよく理解している。またCVC組織に権限が委譲されているケースが多い。

日本企業に必要な要件

- 日本企業による投資の課題は第1に、官僚的で意思決定に時間がかかり、リスク回避・コンセンサス重視の姿勢が強いこと。そのため様々なチャンスを逃しがち。まず決定プロセスを刷新することが必要。第2に、1件当たりの投資金額が少額であること。日本企業によるCVCの設立は、こうした課題の克服に向けたよい兆候。
- 日本企業はそもそもその企業の人材をCVC組織に異動させるが、あまり効果があるとは思えない。効果的なCVCにするためには、VCの経験が豊富な外部の人材も取り込むことが重要。
- 日本企業は、他国の企業と同じく戦略的リターンを主な目的にしている場合が多い。ただし、リスク中心のメンタリティであり、投資金を失うことはいつでも「失敗」とする。2回目の投資で価値を倍にして取り戻す、という考えが日本企業では通じない。このメンタリティを変えることが大事。
- スタートアップとの付き合いについても、スタートアップ側に裁量を与えるような付き合い方をすべき。もともと日本企業は決定プロセスが長すぎるが、すべてを整えてからスタートアップとコミュニケーションしようとしても、スタートアップのニーズと合致しない。また定例会議と称して2週間ごとに起業家を呼び出す必要はない。

IN Venture (日本)

- 住友商事グループがイスラエルに設立したCVC。2019年設立。CVCによるスタートアップへの投資を通じ、住友商事グループのデジタルトランスフォーメーションを推進し、事業の強化および高度化、新規事業の創出を目指す。
- イスラエルでは、特に意思決定の迅速化、ローカルマネジメントなどを意識した投資活動が重要。

投資に関する方針・投資にあたっての体制

- IN Ventureを特徴づけていることの一つは意思決定プロセス。投資判断を迅速に行うため、社内投資committeeが投資を決定。初回面談から投資実行まで2か月を切った案件もある。
- IN Ventureは他の住友商事のCVCと異なり、オペレーショントップがイスラエル人。優良なディールをソーシングするためには、現地に専門組織を設立し、イスラエル人がトップの体制を作ることを重視。
- 投資後により近いポジションで事業開発を進めていくべく、リードインバスターを取るケースが多いことも特徴。リードにもフォロワーにもなれる柔軟性があることは有効。
- 戦略的リターンと金銭的リターンの両方の目線で投資候補を見ている。オープンイノベーションを重視するあまり戦略的リターンだけでは期待する成果を出すまで支えきれない。
- 案件によって期間は異なるが、投資からExitまで3～5年程度を想定。

その他

- イスラエルのスタートアップはenabling technologyが多く、そのまま日本に持って行けるものではないケースも多い。総合会社だと技術やサービスの適用範囲が広く、複数のアプリケーションを提示できることが、スタートアップにとって魅力。
- イスラエルスタートアップは、投資が自分たちのビジネスに直結する期待感からCVCを好む傾向が強い。

案件探索、社内との連携

- 案件探索は基本的に独自で実施。イスラエル人メンバー5人、日本人2人のチームで、案件探索は比較的手厚かつきめ細かく行うことが可能。
- これまで1,000件ほどスクリーニングしているが、実際に投資を実行したのは65社。投資は厳選して行っている。
- 投資領域は住友商事の中長期の発展に寄与することが大前提。そのため投資前にDDの一環として、関連しそうな営業部門と面談を何度か実施し、事業展開の可能性や将来性などを議論する。
- 短期的な事業開発が見込めなくても、中長期的に住友商事の事業にインパクトを与えられるポテンシャルを見込めることが確認できれば投資するという考え方。アーリーステージが投資対象のため、今すぐに事業開発できるわけではない場合が多いことによる。

イスラエルスタートアップとの連携・コミュニケーション上の課題

- イスラエル人はせっかちであり、じっくり考える日本人とは正反対で、お互いの考えを理解することに労力がかかる。
- イスラエルはヘブライ語が公用語の国であり、英語を話せる人は多いものの、英語だけでは満足な活動はできないと感じている。スタートアップ側の意向を理解しようと思うと、イスラエル人同士でヘブライ語でコミュニケーションすることは重要。そのため、起業家の資質を判断する段階ではイスラエル人パートナーがヘブライ語でコミュニケーションするプロセスが必ず入る。

Magenta Venture Partners (日本)

- イスラエル人投資家と三井物産が対等なパートナーシップを組み運営するVC。
イスラエルおよびイスラエル関連のアーリーステージのテック系スタートアップ中心に投資を行う。2018年設立。
- 世界のマーケットニーズを持ち込んで、イスラエル側の技術を活用してマーケットに打ち出すという考え方が有効。

投資先探索～投資実行における留意点

- Magenta Venture Partnersは、日本人2名、イスラエル人2名の計4名のパートナー体制で運営している。投資案件は毎週のPartners Meeting中心に議論している。
- 投資先探索から投資実行まではケースバイケースではあるものの、概ね2～3か月程度の期間。投資実務はパートナー2名体制で推進し、投資判断はパートナー4名全員の一致を必要としている。
- アメリカには様々な国籍・人種の人がいるが、イスラエルはユダヤ人中心。英語も通じるが本音ベースのコミュニケーションはヘブライ語。結果、インサイダーとして良質のディールを得るには、イスラエル人ローカルとしての活動が重要。
- 日本企業側（事業会社側）の立場をよく理解したイスラエル人との協働が重要。Magentaのイスラエル人パートナー2名の人選に際しては、プロのVCとしての実績に加え、事業会社での勤務経験を重視。そして、欧米大企業CVC勤務経験をベースに、大企業としてスタートアップ協業に取り組む際の難しさを熟知している点等も決め手となった。また三井物産のテルアビブ事務所は現地で20年以上活動しており、現地人脈豊富。同事務所のイスラエル人スタッフの知見も活用し、パートナー候補人材の評価・人選を進めた。
- VCの世界はきわめて属人的で、個人的なつながりが重要。イスラエルではビザの関係で外国人は生涯累積で5年3か月以上は駐在できないため、長期にわたるコミットには限界がある。そのため、どの国のVCであっても現地イスラエル人パートナーを活用した取組が、実効性や継続性の観点からも重要となる。

イスラエルで活動する上での難しさ

- 国内市場が小さいため、ほとんどのスタートアップは海外市場をターゲット。結果、投資検討先製品の市場性評価に際しては、案件毎に様々な国での市場性評価を行う必要がある。ここで現場感ある評価が出来るかがポイント。
- イスラエル人は要求したいことや回避したいリスクの負担をすべてぶつけてくる上、大枠だけでなく細かい点での要求や確認も多い。「予定調和」ということがないので、日本企業にとっては、交渉時に話を詰めるのに苦労するのではないか。
- どうしても譲れないことを明確にすること、止めるという判断をするというオプションを持つ、ということが大事。日本企業は自社の能力も踏まえつつ、代替策も検討した上で交渉に当たることが大事。

投資後の協業段階における留意点

- 投資はあくまでも手段であり、投資を伴わない事業提携事例も多い。投資を行うのであれば、スタートアップの事業へのコミットメント、インサイダー化、将来の子会社化や買収への布石といった目的を明確にした上で取り組むべき。
- 企業がなすべきことを明確化し、実行に必要な要素を把握した上でその補完措置としてスタートアップに取り組むというのが正しい順番。仮に、なすべきことを考える為にスタートアップ情報の収集に取り組むとしても、案件具体化に際してはまずは自社の狙いを明確にする必要がある事に自覚的であるべき。
- 国内市場が小さい為、イスラエルのスタートアップは顧客課題に関する一次情報に乏しい。軍事由来の技術も多く民生転用ノウハウも限定的。多くの顧客を抱え、製品開発・量産ノウハウも豊富な日本企業と補完関係を構築可能。

Daimler AG (ドイツ)

Type 1、3

- 150年以上前からプレミアムカーや商用車の開発・製造を行う自動車メーカー。傘下にメルセデス・ベンツ・カーズ、ダイムラー・トラック、メルセデス・ベンツ・バン、ダイムラー・バスを持つ世界最大の商用車メーカー。
- イスラエルではコネクテッド・カー関連の研究開発事業、スタートアップイノベーションエコシステムに注目して活動。

投資に関する方針・投資にあたっての社内体制

- ダイムラーグループとして、革新的で環境に優しい技術と、人を魅了する安全で優れた自動車開発を重視。そのため、事故を起こさない運転システムや自律走行の実現の研究開発に注力。また、ハイブリッド車からバッテリーや燃料電池を搭載した電気自動車など、代替駆動系の開発に積極的に投資。
- イスラエルへの投資は、テルアビブにあるメルセデス・ベンツの開発センター（2017年設立）の支援を受け実施。2000年からダイムラーで複数の管理職を務めてきたイスラエル人がトップ。モビリティ、デジタル化、ユーザーエクスペリエンスの向上に関するスタートアップへの投資に注力。
- 投資と加えて戦略的パートナーとして、投資先の技術開発にダイムラーが参画する案件もある。例えば、StoreDot社への投資は、同社のFlashBattery技術の電気自動車市場への導入支援を目的とした戦略的パートナーシップを締結。ダイムラーとしては、自社が開発する電気自動車への適用の検討以外に、将来バッテリーサプライヤーとして市場参入も狙う。

期待される効果・得られた成果

- 可能性のある効果としては、電気自動車や自動走行車の移行に備え、投資先の技術をダイムラーおよびダイムラーグループの製品やサービスに取り込むことによって、市場に新しいソリューションを迅速に投入すること。製品シリーズの計画サイクルが長期であるため、（現時点では）どの投資も製品シリーズの製造などに明確に組み込まれているわけではない。

投資先企業との連携・協業内容（※）

- 2017年にStoreDot社、2018年にAnagog社に出資。
- StoreDot社はナノ材料と独自の有機化合物を使用したバッテリーを開発。同社のあらゆる電気自動車を5分でフル充電することが可能。同社の技術をトラックなどのバッテリーに搭載することが狙い。またダイムラーは、同社のFlashBattery技術の電気自動車市場への導入支援を目的とした戦略的パートナーシップも締結。将来バッテリーサプライヤーとして市場参入を狙う。
- Anagog社はスマートフォンを活用した位置・行動情報の解析ツールを開発。2017年にAnagog社とメルセデス・ベンツは、メルセデス・ベンツの顧客の移動パターンを分析。電気自動車やハイブリッド車と比較することで、ドライバーがより環境に優しい自動車技術に切り替えることを促進するための情報を提供するアプリ「EQ Ready」を共同開発。今回の出資は長期的な事業提携が狙い。

その他

- ダイムラーではイノベーションは体系的に開発される必要があり、そのためのオープンイノベーション推進は益々重要だと考えている。他の業界からインスピレーションを得ることは、望ましいことであり、また必要不可欠。スタートアップとの協業の本質はここにある。
- イスラエルのエコシステムには、スマートモビリティのエコシステムに取り組む500社以上のスタートアップが含まれており、ダイムラーに必要なすべての分野をカバーしている。また一流大学、軍隊経験者、起業家など多様な人材が課題解決に向けた議論やネットワーキングを積極的に実施しているだけでなく、特定技術に優れた人材を擁する点が魅力。

（※「投資先企業との連携・協業内容」に記載の情報は、公開されている記事などを参照して作成したものであり、ダイムラーの担当者のコメントではないことに留意。）



(2) 文献調査の結果

Medtronic, Inc. (米国)

Type 2, 3

- Medtronic社は慢性疾患を治療するための医療技術開発および医療サービスを提供する企業。主要事業領域は低侵襲治療、糖尿病、修復治療、心臓・血管の4つ。1949年創業。
- 2000年以降、68件の戦略的投資を実施（内3件がイスラエルスタートアップ）（※）し、自社の技術開発スピードアップや提供ソリューションの拡大を狙う。

投資先企業と協業連携の内容

- イスラエルでは、2015年にDread Med Diabetes社、2016年にMazor Robotics社、2020年にTriple Jump Medical社に出資。
- Dread Med Diabetes社は糖尿病治療のためのインスリンデリバリーシステムを開発し、これを主力サービスとして医療機関に提供。Medtronic社は出資に加えて、自社の糖尿病向けの製品にDread Med Diabetes社の技術を活用。製品を販売するごとにMedtronic社からDread Med Diabetesにロイヤルティを支払う契約も同時に締結。
- Mazor Robotics社は脊椎手術支援ロボットの製造・開発企業。Medtronic社は出資と共に同社のロボットの独占販売権を獲得。また2018年にはMazor Robotics社を買収。
- Triple Jump Medical社は患者の体に貼る独自の小型インスリンポンプパッチを開発。Medtronic社が開発中の人口膵臓システムに搭載される予定。

期待される効果・得られた成果

- Medtronic社は現在人口膵臓システムの開発に注力しており、Dread Med Diabetes社やTriple Jump Medical社への戦略的投資により、開発スピードアップを図ることを期待。
- Mazor Robotics社への出資・買収により、主要事業領域における製品ラインナップを拡充し、主要市場である欧州や米国での事業拡大を実現。

Nutrien Ag Solutions Ltd. (米国) Type 1

- Nutrien Ag Solutions社は農業用資材・農業ソリューションを提供するNutrien社の小売専門事業会社。Nutrien社の4社M&Aによって2018年に設立。農業コンサルタントのネットワークを通じて、各農業生産者に適した技術やソリューションを提供。
- 戦略的投資を通じて、自社のデジタルソリューションの拡充し、顧客（農業生産者）の作業効率向上を図る。

投資先企業と協業連携の内容

- 2018年にTaranis社のSeriesBの調達に参画。
- Taranis社は航空画像解析技術で特許を有しており、またディープラーニング技術を用いて、最大0.5mm大の画像拡大して雑草、昆虫、病気などの作物被害を識別する技術を開発。この技術によって収集したデータを基に、農業生産者が適切に農地をモニタリングするための情報サービスを提供。
- Nutrien Ag Solution社は、Taranis社の技術を自社の農業生産者向けのデジタルプラットフォームや既存の製品・サービスに組み入れることを目的とする戦略的投資を実施。

期待される効果・得られた成果

- Nutrien Ag Solutions社は肥料・農薬などの農業資材や農業ソリューションを提供していた4つの企業を合併・吸収して設立されたため、もともとの企業が持つ製品やサービスを効果的に組み合わせ、提供するソリューション構築に注力していた。Taranis社の技術を自社のデジタルソリューションに組み入れることで、顧客の作業効率向上や簡便なリスクモニタリングの実現を図る。

Resonetics, LLC (米国)

Type 1

- Resonetics社はレーザーによる微細加工技術を有し、ライフサイエンス領域で製造受託サービスを提供。ステントや低侵襲性治療デバイスなど、精密さを求められる複雑な医療機器製造を支援している。1987年創業。
- 買収と戦略的投資を通じて、イスラエルでの製品加工能力の拡充と、製品の開発・製造のスピードアップを図る。

投資先企業と協業連携の内容

- 2018年10月にSTI Lasor Industries社を買収、翌11月にMedibrane社に追加出資および融資を提供。
- STI Lasor Industries社は医療機器・デバイスなどのレーザー加工、ニチノールの形状設定と電解研磨、組立とパッケージングを行う企業。Resonetics社による買収で、イスラエルに試作品や量産品を製造する拠点を拡大。
- Medibrane社はステントなど心臓や神経筋の手術や、その他の低侵襲治療などに使用される素材「ニチノール」を使用した製品向けのポリマーベースのコーティング技術を開発。買収されたSTI Lasor Industries社の拠点を活用しながら、開発した製品の商業化を加速させる。

期待される効果・得られた成果

- Resonetics社はレーザー微細加工技術を用いたニチノール加工製品の製造を行っており、STI Lasor Industries社買収によって、加工能力の拡大を図る。STI Lasor Industries社の既存製品に、Resonetics社の技術を付加することで、製品ラインナップを拡充し、市場競争力を高める。
- またニチノール加工製品のコーティング技術をResonetics社の製品に取り込むことで、医療機関の多様な要求にこたえる製品の開発・製造のスピードアップを実現を目指す。

Porsche AG (ドイツ)

Type 1、3

- 自動車の開発・製造を行うドイツ企業。1931年に設立。輸送物流や交通計画・管理のためのソフトウェア・ソリューション開発や、自動車関連のファイナンス・リースサービスをはじめとするファイナンス事業、モビリティサービスなどの提供の実績も豊富。
- 自社製品・サービスだけでなく、自社組織運営のDX化を強力に推進するための投資に注力。

投資先企業と協業連携の内容

- 2018年にAnagog社、2020年にAurora Labs社に出資。
- Anagog社はスマートフォンを活用した位置・行動情報の解析ツールを開発。ポルシェのモビリティ分野におけるAI技術開発を促進し、市場に新しいソリューションを迅速に投入することを目指す。
- Aurora Labs社は次世代コネクテッド・カー向けにソフトウェアの欠陥を検出、修復し、シームレスに自己修復するソフトを開発。ポルシェの次世代コネクテッド・カーの性能の差別化を図るため、Aurora Labs社のソフトを製品開発に組み込む。
- ポルシェデジタルで出資先企業の技術に関するPOCや既存事業への適用を検討・実施。必要な技術開発については、ポルシェの該当部門とスタートアップと連携させながら実施。

期待される効果・得られた成果

- Anagog社やAurora Labs社の技術サービスを活用し、新しいデジタル製品を開発を推進。市場に新しいソリューションを迅速に投入することを目指している。
- ビジネスオペレーションのDX化。効率的なオフィス設計・運営や、部門横断での新たな事業開発、様々な組織の機能などをDX対応させるために必要な技術やノウハウの獲得を目指す。

Continental AG (ドイツ)

Type 1、3

- Continental社は、タイヤを含むラバー事業、自動車システムを手がけるオートモーティブ事業、パワートレイン事業の3つの事業グループを有する自動車サプライヤー。1871年創業。
- 戦略的投資を通じて、スタートアップと共同でソリューションを直接開発し、顧客へのソリューション提供力の強化を狙う。

投資先企業と協業連携の内容

- 2019年にCartica AI社、2020年にAnagog社に出資。
- Cartica AI社は物体認識における機械学習を加速させるソリューションを提供。Continental社では運転支援システムにおける物体認識にすでにAI技術を活用しているが、Cartica AI社の技術を活用し、自社ソリューションの性能を向上させる狙い。
- Anagog社はスマートフォンを活用した位置・行動情報の解析ツールを開発。Continental社のモビリティサービスの高度化や安全性能向上に活用する狙い。

期待される効果・得られた成果

- 高度運転支援システムの世界的な広がりや相まって、事故を起こさない運転システムの構成要素となる技術やサービス（自動運転のためのAI技術、サイバーセキュリティなど）を拡充し、市場に投入することで自社のビジネス成長に結びつけることが狙い。特にAI分野についてはContinental社の将来のビジネスの柱の一つとして、投資以外に大学などと連携し、製品・サービスの開発基盤強化を図っている。
- M&Aにも積極的であり、戦略的投資を通じて、スタートアップと自社の研究開発部門が協業することにより、ソリューションを直接開発し、顧客へのソリューション提供力の強化を狙う。

海思科医药集团股份有限公司 (Haisco) (中国)

Type 2

- Haisco社は中国トップクラスの医薬品メーカー。特に非経口栄養剤では国内市場最大シェアを有し、肝疾患用医薬品分野でもトップメーカー。2000年創業。
- 戦略的出資を通じて、投資先製品の中国での販売権を獲得。市場に投入する製品ラインナップの拡充を図る。

投資先企業と協業連携の内容

- 2015年にMST Medical Surgery Technology社とEndoSpan社、2016年にRegentis Biomaterials社、2017年にLaminate Medical Technologies社に出資。
- MST Medical Surgery Technology社は低侵襲手術市場向けの画像誘導式腹腔鏡位置決めシステムを開発。Haisco社は出資の一環として、同システムの中国における独占販売代理店となる契約を締結。
- Endospan社は大動脈ステントを開発・製造。競合他社に比べて低侵襲性の低さが特徴。Haisco社は出資によってEndospan社製品の中国での販売権を獲得。
- Regentis Biomaterials社は損傷した損傷や病変によって傷ついた軟骨治療向けのハイドロゲルを開発・製造。Haisco社は出資によって同ハイドロゲル製品の中国での独占販売権を獲得。
- Laminate Medical Technologies社は透析を必要とする患者に埋め込む血管サポート装置を開発。Haisco社は出資によって同装置の中国での販売権を獲得。

期待される効果・得られた成果

- Haisco社は出資先製品の販売権を獲得することで、中国市場に提供する製品ラインナップを拡充。これにより、常に安定した売り上げ獲得を実現。

現代自動車株式会社（韓国） Type 1,3

- 現代自動車は韓国を代表する自動車メーカー。1967年創業。世界初の水素専用SUVであるNEXOなど、より持続可能な未来に向けたソリューションの構築に貢献する車両で、製品ラインアップの強化を続ける。
- CVC会社であるHyundai CRADLEのテルアビブ事務所を2017年に設立し、モビリティ・ソリューションの付加価値を向上するスタートアップの投資を加速。

投資先企業と協業連携の内容

- 2017年にAutotalks社、2018年にDe-Identification(D-ID)社（2020年に追加出資）とAllegro.AI社、2019年にAudioburst社などに出資。
- Autotalks社はV2X（Vehicle to Everything）通信技術を提供。V2X技術は、自動車が相互に、他の道路利用者や道路インフラと通信することを可能にし、道路の安全性とモビリティを向上するシステム。現代自動車のコネクテッド・カー向け次世代チップセットの開発加速を狙う。
- D-ID社はプライバシー規制を遵守しつつ、生体情報を盗難などから守る顔面の非識別化ソリューションを開発。現代自動車グループの各企業で研究開発中の技術と組み合わせたソリューション開発などを行う。
- Allegro.AI社はエンドツーエンドの深層学習ライフサイクル管理ソリューションを提供。同社の技術を活用し、現代自動車の多くの事業分野におけるAI技術開発加速させる。
- Audioburst社はAI搭載音声検索プラットフォームを提供。現代自動車の次世代コネクテッド・カーに搭載することで、車内で画面を使わない音声体験や音声情報提供サービスを提供。

期待される効果・得られた成果

- 研究開発が開発・製造する自動走行を含む次世代コネクテッド・カーに搭載する機能の獲得や、迅速な技術開発を期待。

ブグアン製薬株式会社（韓国） Type 4

- ブグアン製薬は肝臓、代謝、呼吸器など様々な治療に用いられる薬の開発・製造メーカー。1960年創業。研究開発に多大な資源を投入し、中枢神経系疾患、腫瘍、免疫系疾患の治療のための新薬開発に一貫して注力。
- 即座の技術開発での連携を目指すのではなく、情報収取を目的とした投資を実施。

投資先企業と協業連携の内容

- 2019年にProtekt Therapeutics社に出資。
- Protekt Therapeutics社はアルツハイマー病を含む神経変性疾患のための新しい治療法や診断法を開発。資金調達により、必要神経炎症抑制剤の選択と検証を行う他、開発中の診断法の臨床開発を開始。
- ブグアン製薬はProtekt Therapeutics社の神経変性疾患の治療法開発に関する情報を取得し、必要に応じて自社の新規薬剤開発に活用する。

期待される効果・得られた成果

- もともと中枢神経系疾患治療のための新薬研究開発に注力しており、研究開発体制や技術力に定評がある企業。将来の製品ラインナップの拡充を目指し、Protekt Therapeutics社から自社の新薬開発に有益な情報獲得を期待。

文献調査 参照資料

Medtronic

- Medtronic teams with DreaMed Diabetes on artificial pancreas (<https://en.globes.co.il/en/article-medtronic-teams-with-dreamed-diabetes-on-artificial-pancreas-1001026536>)
- DreaMed Diabetes and Medtronic Enter Strategic Collaboration (<https://www.businesswire.com/news/home/20150406005229/en/DreaMed-Diabetes-and-Medtronic-Enter-Strategic-Collaboration>)
- Medtronic investing \$20 million in Israeli insulin pump startup Triple Jump (<https://www.calcalistech.com/ctech/articles/0,7340,L-3851090,00.html>)
- Medical device giant Medtronic buys Israeli med-tech company for 30 mln USD (http://www.xinhuanet.com/english/2019-10/11/c_138461846.htm)
- Medtronic invests \$40m in Mazor Robotics (<https://en.globes.co.il/en/article-medtronic-invests-40m-in-mazor-robotics-1001203101>)
- Medtronic to acquire Israel's Mazor Robotics for \$1.64 billion (<https://www.israel21c.org/medtronic-to-acquire-israels-mazor-robotics-for-1-64-billion/>)
- Medtronic to set up Israeli R&D centers (<https://en.globes.co.il/en/article-medtronic-to-set-up-israeli-rd-centers-1001204748>)
- Medtronic eyes more investment in Israel (<https://www.massdevice.com/medtronic-eyes-more-investment-in-israel/>)

Nutrien Ag Solutions

- Agtech intelligence company Taranis raises \$30 million (<https://taranis.ag/2020/07/21/taranis-secures-30m-in-funding/>)
- Precision Agriculture Leader Taranis Reaps \$20 Million in Funding (<https://taranis.ag/2018/11/06/precision-agriculture-leader-taranis-reaps-20-million-in-funding/>)
- FMC Corporation Partners with Nutrien Ag Solutions to Deploy Arc™ Farm Intelligence Platform in the U.S. (<https://www.prnewswire.com/news-releases/fmc-corporation-partners-with-nutrien-ag-solutions-to-deploy-arc-farm-intelligence-platform-in-the-us-301090829.html>)

Resonetics

- Resonetics expands Medibrane investment (<https://www.medicaldesignandoutsourcing.com/resonetics-expands-medibrane-investment/>)
- Medibrane Receives Investment and Debt Financing from Resonetics (<https://www.finsmes.com/2019/06/medibrane-receives-investment-and-debt-financing-from-resonetics.html>)
- Resonetics Expands Investment in Medibrane (<https://en.globes.co.il/en/article-resonetics-expands-investment-in-medibrane-1001290649>)
- RESONETICS ANNOUNCES ACQUISITION OF STI LASER INDUSTRIES (<https://resonetics.com/wp-content/uploads/2019/01/Resonetics-Press-Release-STI-Laser-Industries-Acquisition-FINAL-1.pdf>)

Porsche

- Porsche invests in Israeli start-up Anagog (https://www.volkswagenag.com/en/news/2018/04/Porsche_invests_in_Israeli_start-up_Anagog.html)
- Porsche invests in Israeli start-up Anagog (<https://www.anagog.com/project/porsche-invests-israeli-start-anagog/>)
- Porsche invests in start-up Evopark (<https://newsroom.porsche.com/en/company/porsche-digital-gmbh-investment-evopark-12669.html>)
- Porsche invests eight-figure sum in Israel (<https://newsroom.porsche.com/en/company/porsche-innovation-office-tel-aviv-israel-technology-trends-talent-meschke-13791.html>)
- Porsche, Toyota Invest in Auro Lab's "Self-Healing" Automotive System (<https://nocamels.com/2020/09/porsche-toyota-aurora-labs-self-healing-automotive/>)
- Israeli car software co Aurora Labs raises \$23m (<https://en.globes.co.il/en/article-israeli-car-software-co-aurora-labs-raises-23m-1001343439>)

Daimler

- Daimler invests in fast-charging electric battery firm StoreDot (<https://www.reuters.com/article/us-storedot-daimler-fundraising-idUSKCN1BP1I0>)

文献調査 参照資料

- Daimler Trucks Backs StoreDot Fast-Charging Battery Startup (<https://www.industryweek.com/technology-and-iiot/emerging-technologies/article/22024181/daimler-trucks-backs-storedot-fastcharging-battery-startup>)
 - Mercedes owner Daimler drives electric truck push with multi-million dollar investment in StoreDot (<https://www.store-dot.com/post/2017/10/01/mercedes-owner-daimler-drives-electric-truck-push-with-multi-million-dollar-investment-in>)
 - German Automaker Daimler Leads \$60m Investment Into Israeli Startup StoreDot (<https://www.haaretz.com/israel-news/business/german-automaker-daimler-leads-60m-investment-into-israeli-startup-storedot-1.5451063>)
 - Daimler, MizMaa invest in Israeli tech startup Anagog (<https://jp.reuters.com/article/us-israel-tech-anagog-daimler/daimler-mizmaa-invest-in-israeli-tech-startup-anagog-idUSKCN1GA1FE>)
 - Daimler invests in Anagog's \$10m financing round (<https://en.globes.co.il/en/article-daimler-to-invest-in-israeli-co-anagog-1001225454>)
 - Daimler Leads a \$10 Million Investment in Mobility Analytics Startup Anagog (<https://www.calcalistech.com/ctech/articles/0,7340,L-3732761,00.html>)
 - Daimler to open Israeli R&D center (<https://en.globes.co.il/en/article-daimler-to-open-israeli-rd-center-1001159576>)
 - Mercedes-Benz Techcenter in Tel Aviv (Israel) (<https://www.daimler.com/magazine/work-life/techcenter-tel-aviv-site.html>)
- Continental
- Israel's Cortica teams with Toyota, BMW in autonomous AI car tech (<https://jp.reuters.com/article/us-autonomous-cortica/israels-cortica-teams-with-toyota-bmw-in-autonomous-ai-car-tech-idUSKCN1VO2SO>)
 - Continental Continues to Invest in Artificial Intelligence (<https://www.continental.com/en/press/press-releases/continental-continues-invest-in-artificial-intelligence-186034>)
 - Anagog Raises \$10M in Series C Funding Round (<https://www.businesswire.com/news/home/20200331005138/en/Anagog-Raises-10M-in-Series-C-Funding-Round>)
- Anagog Raises \$10M in Series C Funding Round (<https://www.anagog.com/project/anagog-raises-10m-in-series-c-funding-round/>)
 - Israeli On-Device, AI Insights Firm Anagog Raises \$10M (<https://nocamels.com/2020/04/israeli-ai-insights-anagog-raises-10m/>)
 - Sumitomo leads \$10m backing of edge AI startup Anagog (<https://www.eenewseurope.com/news/sumitomo-leads-10m-backing-edge-ai-startup-anagog>)
 - Continental in talks to buy Israeli autos cyber firm Argus: reports (<https://jp.reuters.com/article/us-argus-m-a-continental/continental-in-talks-to-buy-israeli-autos-cyber-firm-argus-reports-idUSKBN1CZ0NO>)
 - Continental buys Israeli co Argus Cyber Security (<https://en.globes.co.il/en/article-continental-buys-israeli-co-argus-cyber-security-1001210311>)
 - Continental Invests in Cartica AI- Israeli Startup (<http://bwautoworld.businessworld.in/article/Continental-Invests-in-Cartica-AI-Israeli-Startup/04-09-2019-175680/>)
- 海思科医药集团股份有限公司(Haisco)
- MST (Medical Surgical Technologies) (<http://www.ngt3vc.com/mst-medical-surgical-technologies/>)
 - MST – Medical Surgery Technologies Closes \$12.5M Series C Funding Round (<https://www.finsmes.com/2015/07/mst-medical-surgery-technologies-closes-12-5m-series-c-funding-round.html>)
 - MST Raises Investment for Market Expansion (<https://www.businesswire.com/news/home/20150701005614/en/MST-Raises-Investment-for-Market-Expansion>)
 - Xizang Haisco Pharma Invests \$10 Million In Endospan Of Israel (<https://www.biospace.com/article/releases/-b-xizang-haisco-pharma-b-invests-10-million-in-endospan-of-israel/>)
 - EndoSpan (https://finder.startupnationcentral.org/company_page/endospan)
 - Chinese Group Haisco Pharmaceutical To Invest \$10 million in Israeli Company Endospan (<http://www.israel-vc.com/2015/10/chinese-group-haisco-pharmaceutical-to.html>)

文献調査 参照資料

- Haisco connects to Regentis for \$15m series D (<https://globalcorporateventuring.com/haisco-connects-to-regentis-for-15m-series-d/>)
 - Chinese pharmaceutical group Haisco led the investment in the Israeli cartilage treatment startup. (<https://en.globes.co.il/en/article-cartilage-treatment-co-regentis-biomaterials-raises-15m-1001101278>)
 - Xizang Haisco Pharma Invests In Regentis Biomaterials, An Israeli Device Maker (<https://www.biospace.com/article/releases/-b-xizang-haisco-pharma-b-invests-in-regentis-biomaterials-an-israeli-device-maker-/>)
 - Regentis Biomaterials Company Profile (<http://www.regentis.co.il/about.asp>)
 - Israeli medtech company Laminate Medical raises \$8 million for dialysis device (<https://tech.eu/brief/israeli-medtech-company-laminate-medical-raises-8-million-dialysis-device/>)
 - Laminate Medical Receives Investment from Valiance (<https://www.finsmes.com/2019/10/laminate-medical-receives-investment-from-valiance.html>)
 - Laminate Medical, Developer of the VasQ™ External Vascular Support Device, Has Completed an Investment from Valiance (<https://www.prnewswire.com/news-releases/laminate-medical-developer-of-the-vasq-external-vascular-support-device-has-completed-an-investment-from-valiance-300943779.html>)
 - Laminate Medical Technologies raises \$8m (<https://en.globes.co.il/en/article-laminate-medical-technologies-raises-8m-1001176025>)
 - Laminate Medical Receives Investment from Valiance (<https://www.finsmes.com/2019/10/laminate-medical-receives-investment-from-valiance.html>)
 - Israeli medtech company Laminate Medical raises \$8 million for dialysis device (<https://tech.eu/brief/israeli-medtech-company-laminate-medical-raises-8-million-dialysis-device/>)
- 現代自動車
- Hyundai invests in Israeli auto tech firm Autotalks (<https://jp.reuters.com/article/us-autos-hyundai-israel/hyundai-invests-in-israeli-auto-tech-firm-autotalks-idUSKBN1JT15J>)
 - Hyundai invests in Autotalks to develop Connectivity Technology (<https://www.auto-talks.com/hyundai-motor-company-partners-with-autotalks-to-develop-connectivity-technology-for-increased-road-safety/>)
 - Upstream Security Closes \$30 Million Series B Investment from Renault, Volvo Group, Hyundai, Nationwide (<https://upstream.auto/news/round-b-pr/>)
 - Upstream – \$30M Series B for Shifting into High Gear (<https://upstream.auto/blog/yoav-levy/>)
 - Renault, Volvo and Hyundai Invested in Upstream Security (<https://techtime.news/2019/10/22/upstream-security/>)
 - Israeli automotive cybersecurity company closes \$30M Series B from Renault, Volvo Group, Hyundai, Nationwide (<https://www.greencarcongress.com/2019/10/20191022-upstream.html>)
 - Hyundai Motor Launches CRADLE Tel Aviv, Israel Innovation Hub (<https://www.hyundai.com/worldwide/en/company/newsroom/hyundai-motor-launches-cradle-tel-aviv%2C-israel-innovation-hub-0000016063>)
 - D-ID (<https://www.hyundai.news/eu/brand/cradle-start-ups-de-identification-ltd/>)
 - Israeli Privacy Protection Startup D-ID Raises \$13.5 Million (<https://www.calcalistech.com/ctech/articles/0,7340,L-3827550,00.html>)
 - CRADLE Start-Ups: Audioburst (<https://www.hyundai.news/eu/brand/cradle-start-ups-audioburst/>)
 - Hyundai partners Audioburst for in-car voice-based experience and advertising (<https://www.autocarpro.in/news-international/hyundai-partners-audioburst-for-incar-voicebased-experience-and-advertising-42795>)
 - Israeli AI-powered voice search co Audioburst raises \$10m (<https://en.globes.co.il/en/article-israeli-ai-powered-voice-search-co-audioburst-raises-10m-1001283350>)
 - Hyundai Invests in Deep Learning Computer Vision Startup allegro.ai (<https://news.hyundaimotorgroup.com/MediaCenter/News/Press-Releases/hmc-ai-181106>)

文献調査 参照資料

- Hyundai invests in deep learning company allegro.ai
(<https://www.vision-systems.com/boards-software/article/16751681/hyundai-invests-in-deep-learning-company-allegroai>)
- ブグアン製薬
- ProteKt Therapeutics Raises \$3.6 Million in Post-Incubation Financing
(<https://carmel-ltd.haifa.ac.il/index.php/carmel-news/315-protekt-therapeutics-raises-3-6-million-in-post-incubation-financing>)
- Israeli co ProteKt Therapeutics raises \$3.6m
(<https://en.globes.co.il/en/article-israeli-co-protekt-therapeutics-raises-36m-1001307001>)
- ProteKt Therapeutics Raises \$3.6 Million in Post-Incubation Financing
(<https://www.prnewswire.com/il/news-releases/protekt-therapeutics-raises-3-6-million-in-post-incubation-financing-300957246.html>)
- ProteKt Therapeutics Secures \$3.6M in Financing
(<https://www.finsmes.com/2019/11/protekt-therapeutics-secures-3-6m-in-financing.html>)
- 부광약품, 이스라엘 벤처 프로텍트 테라퓨틱스에 투자
(https://biz.chosun.com/site/data/html_dir/2019/11/13/2019111302264.html)
- 부광약품, 치매약 개발 이스라엘 제약사에 투자
(<http://www.dailypharm.com/Users/News/NewsView.html?ID=258873>)

【お問い合わせ先】
日本貿易振興機構（ジェトロ）
対日投資部 対日投資課
DX推進チーム
東京都港区赤坂1-12-32
Tel. 03 3582 5571
Email: dxpt@jetro.go.jp

★本書で提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本書で提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益を被る事態が生じたとしても、ジェトロは一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。